

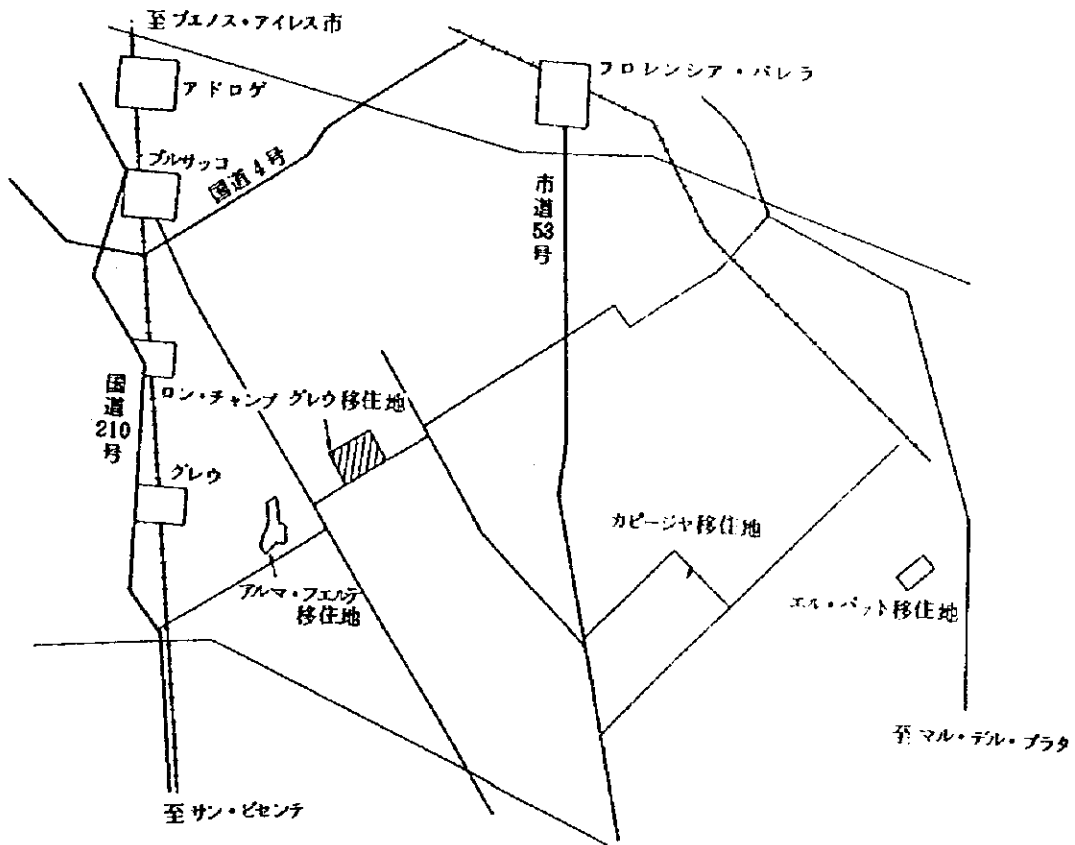
# グレウ移住地

所在地	ブエノス・アイレス州アルミランテ・ブロン郡 Glew, Partido de Almirante Brown, Pcia. Buenos Aires	
面積	全移住地面積 75ha. 1区画平均 ha.	
沿革	<p>エスペランサ移住地と同様の経緯・目的で設立された第9号の移住地で、入植開始は1977年である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電気 79年度に入る。</li> <li>2. 電話 92年、93年度にかけて入る。</li> <li>3. コロニア内の道路補修年に1、2度している。</li> </ol>	
自然環境	地形	中心よりやや西寄りを頂点として眼を伏せたような形で、四方に緩やかな斜面をなす平坦地である。標高平均 29m。
	地質・土壌	沖積土壌地帯で、表土は黒色を呈し、かなり有機質に富み肥沃である。表土は40cmを有しそれに続く下層は、良質の粘土層となり花卉栽培に適した土地である。
	植生・林相	牧草原野。自然育成の樹木はない。
	気候	年間平均気温 16.1℃。最高平均気温 22.0℃、最低平均気温 10.5℃。平均年間降雨量 1,016mm。降霜 5月～9月の間に平均 18回程度。
社会環境	最寄都市(1) (該当するもの■)	<p>名称：グレウ市</p> <p>距離：5km (うち未舗装 0.2km) 交通手段：<input type="checkbox"/>鉄道■定期バス ■自家用車 所要時間：10分 人口：約 万人</p>
	最寄都市(2) (該当するもの■)	<p>名称：市</p> <p>距離：km (うち未舗装 km) 交通手段：<input type="checkbox"/>鉄道<input type="checkbox"/>定期バス <input type="checkbox"/>不定期バス 所要時間：分 人口：約 万人</p>
	大都市 (該当するもの■)	<p>名称：ブエノス・アイレス市</p> <p>距離：42m (うち未舗装 0.2km) 交通手段：■鉄道<input type="checkbox"/>定期バス <input type="checkbox"/>不定期バス 所要時間：40分 人口：1,259万人 (首都圏)</p>
	行政インフラ	<p>役所 (グレウ市)                      公証人役場 (グレウ市)</p> <p>警察 (グレウ市)                      交通警察 ( )</p> <p>郵便局 (グレウ市)                      電話局 (グレウ市)</p>

社 会 環 境	社会インフラ (該当するもの■)	<p>[公共施設]  <input type="checkbox"/>公民館 <input type="checkbox"/>体育館 <input type="checkbox"/>運動場 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[教育]  <input type="checkbox"/>保育園 <input type="checkbox"/>幼稚園 <input type="checkbox"/>小 <input type="checkbox"/>中 <input type="checkbox"/>高 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[日語校]  教師数 人、生徒数 人、教室 (<input type="checkbox"/>専用 <input type="checkbox"/>共用 <input type="checkbox"/>個人宅)  教室数 室、学級 (<input type="checkbox"/>単式 <input type="checkbox"/>複式)</p> <p>[保健・医療]  <input type="checkbox"/>保健所 <input type="checkbox"/>診療所 <input type="checkbox"/>病院 <input type="checkbox"/>薬局 <input type="checkbox"/>検査所  ・医 師：<input type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤  ・看護婦：<input type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤  ・その他 ( )</p> <p>[警察]  <input type="checkbox"/>派出所 <input type="checkbox"/>定期巡回 <input type="checkbox"/>不定期 <input type="checkbox"/>その都度</p>
	産業インフラ (該当するもの■)	<p>[農業用水]  <input type="checkbox"/>公営灌漑用水 <input type="checkbox"/>域内灌漑用水 <input type="checkbox"/>河川水 ■地下水 <input type="checkbox"/>溜池 <input type="checkbox"/>天水</p>
	生活インフラ (該当するもの■)	<p>[移住地内幹線道路]  <input type="checkbox"/>舗装 <input type="checkbox"/>一部舗装 <input type="checkbox"/>砂利舗装 <input type="checkbox"/>盛土道路 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[電気]  <input type="checkbox"/>全戸電化 <input type="checkbox"/>一部電化 <input type="checkbox"/>自家発電 <input type="checkbox"/>なし</p> <p>[飲料水]  <input type="checkbox"/>水道 <input type="checkbox"/>井戸水 <input type="checkbox"/>雨水 <input type="checkbox"/>市販水  (水質：<input type="checkbox"/>飲用可 <input type="checkbox"/>要煮沸 <input type="checkbox"/>飲用不可)</p> <p>[電話]  <input type="checkbox"/>普通電話 <input type="checkbox"/>携帯電話 <input type="checkbox"/>公衆電話 <input type="checkbox"/>なし</p>
入 植 者 状 況	入植者戸数	直接入植者戸数 戸 (うち非居住者 戸) 現地入植者戸数 (日系人) 17戸 (うち非居住者9戸) (非日系人) 戸 *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者
	日系人入植者	農業専業 5戸 商業：3戸
農 業 現 況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)
	花卉	カーネーション0.07ha、菊0.01ha、カスミ草0.17ha、フリージア0.05ha

その他	主生産物販売 取扱機関	
	金融機関	
支援事業	移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。	

### 移住地略図



## 第2エル・パット移住地

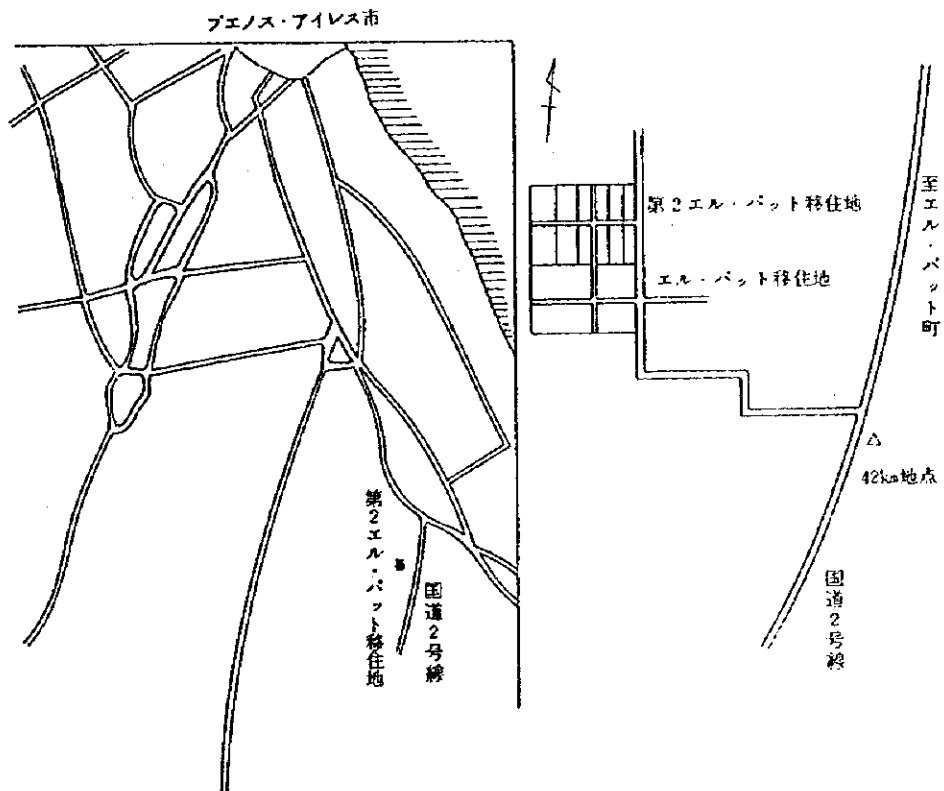
所在地	ブエノス・アイレス州ベラサテギ郡 Ruta 2 de Nacional, Partido de Berazategui, Pcia. Buenos Aires	
面積	全移住地面積 37ha. 1区画平均 2.5ha.	
沿革	エスペランサ移住地と同様の経緯・目的で設立された第10号の移住地である。	
自然環境	地形	全体的に見て、やや波状形の平坦地で南方に向かって緩やかに傾斜している。標高平均 28m。
	地質・土壌	沖積土地帯であり、表土は若干粘土性のある黒色壤土で、有機質に富み極めて肥沃である。表土の深さは平均 40cm, 50cm 以下は良質の粘土性を帯びた黒色土で花卉栽培に適している。
	植生・林相	樹木の植生は見られない。
	気候	1～2月頃が最も暑く、最高平均気温 28.4℃。 6～7月頃が最も寒く、最低平均気温 6.0℃。 平均年間降雨量 893 mm。
社会環境	最寄都市(1) (該当するもの■)	名称：エル・パット市 距離：4km (うち未舗装 2km) 交通手段：■鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：15分 人口：約1万人
	最寄都市(2) (該当するもの■)	名称：ベラサテギ市 距離：20km (うち未舗装 2km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：30分 人口：約5万人
	大都市 (該当するもの■)	名称：ブエノス・アイレス市 距離：40km (うち未舗装 2km) 交通手段：■鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：1時間30分 人口：1,259万人 (首都圏)
	行政インフラ	役所 (ベラサテギ市)      公証人役場 (エル・パット市) 警察 (エル・パット市)      交通警察 (アルバラガッタ市) 郵便局 (エル・パット市)      電話局 (エル・パット市)
	社会インフラ (該当するもの■)	[公共施設] <input type="checkbox"/> 公民館 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> その他 (      ) [教育] <input type="checkbox"/> 保育園 <input type="checkbox"/> 幼稚園 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> その他 (      )

社 会 環 境	社会インフラ (該当するもの■)	<p>【日語校】</p> <p>教師数 人、生徒数 人、教室 (□専用 □共用 □個人宅)</p> <p>教室数 室、学級 (□単式 □複式)</p> <p>【保健・医療】</p> <p>□保健所 □診療所 □病院 □薬局 □検査所</p> <p>・医師：□常勤 □非常勤</p> <p>・看護婦：□常勤 □非常勤</p> <p>・その他 ( )</p> <p>【警察】</p> <p>□派出所 □定期巡回 □不定期 □その都度</p>
	産業インフラ (該当するもの■)	<p>【農業用水】</p> <p>□公営灌漑用水 □域内灌漑用水 □河川水 ■地下水 □溜池 □天水</p>
	生活インフラ (該当するもの■)	<p>【移住地内幹線道路】</p> <p>□舗装 □一部舗装 □砂利舗装 ■盛土道路 □その他 (石灰岩)</p> <p>【電気】</p> <p>■全戸電化 □一部電化 □自家発電 □なし</p> <p>【飲料水】</p> <p>□水道 ■井戸水 □雨水 □市販水</p> <p>(水質： ■飲用可 □要煮沸 □飲用不可)</p> <p>【電話】</p> <p>■普通電話 ■携帯電話 □公衆電話 □なし</p>
入 植 者 状 況	入植者戸数	<p>直接入植者戸数 戸 (うち非居住者 戸)</p> <p>現地入植者戸数 (日系人) 12戸 (うち非居住者 8戸)</p> <p>(非日系人) 0戸</p> <p>*非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者</p>
	日系人入植者	<p>農業専業 2戸</p> <p>商業：1戸</p>
農 業 現 況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)
	花 卉	バラ 0.072ha、カーネーション 2ha、菊 0.048ha
	畜 産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 養鶏 (鶏卵) 20,000羽
そ の 他	主生産物販売 取扱機関	農業協同組合、生産農家自身 (卸売市場)、生産農家自身 (小売)
	金 融 機 関	事業団、農業協同組合

支援事業

移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。

移住地略図



## バラデー口移住地

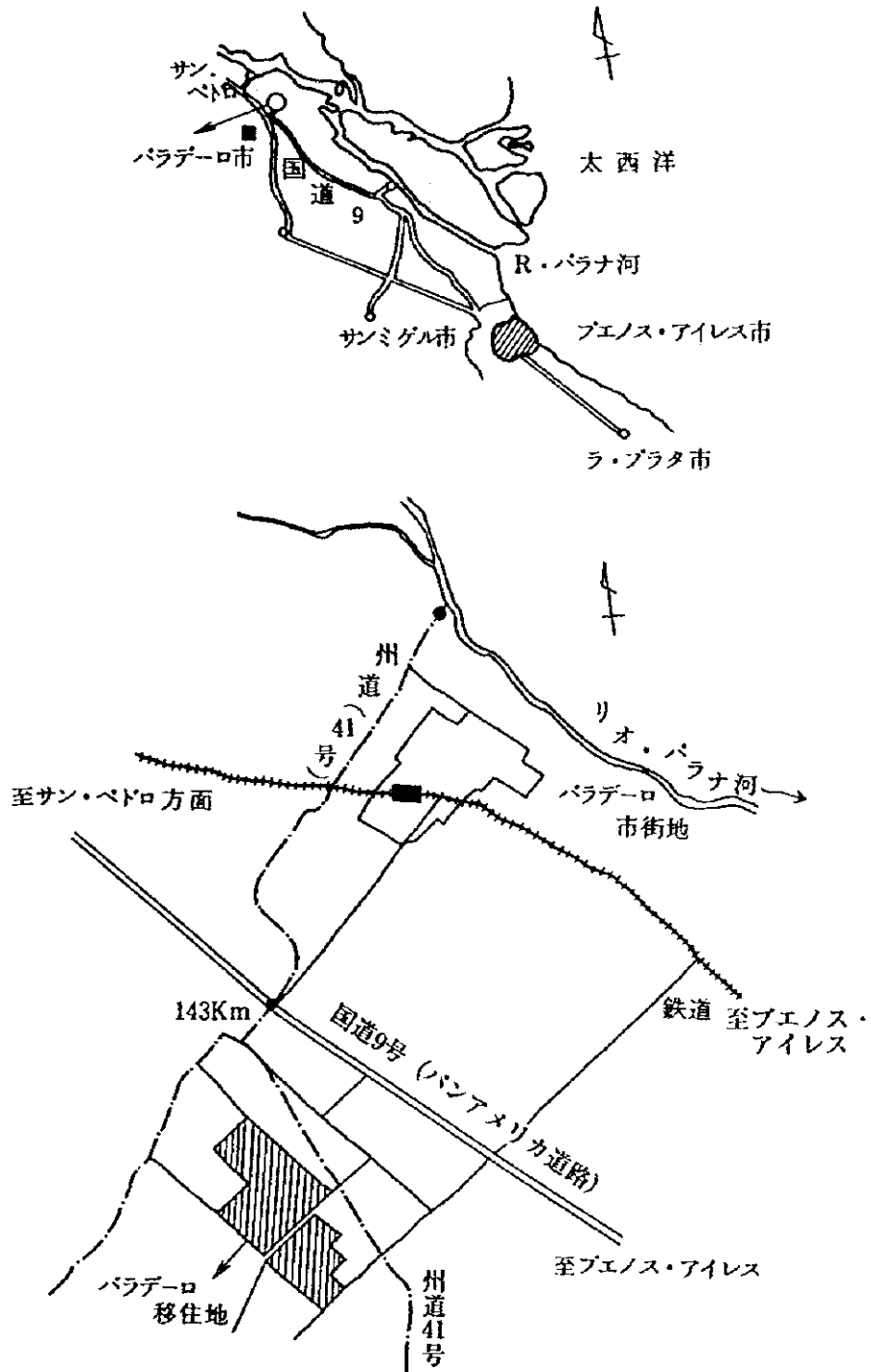
所在地	ブエノス・アイレス州バラデー口郡 Baradero, Partido Baradero, Pcia. Buenos Aires	
面積	全移住地面積 407ha. 1 区画平均 15ha.	
沿革	<p>当事業団では、これまで花卉栽培を主体とする小規模移住地を 10カ所設置し、既に、アルゼンティンに移住していた花卉農業青年を主体とする自営独立希望者に対する農地分譲として便宜をはかってきたが、従来の花卉主体の営農から一歩進めた果樹栽培を目的として、1982年3月第11号の小移住地として本入植地を設定し、1983年7月から分譲を開始した。</p> <p>分譲地は 26 区画制となっている。内 22 区画は分譲済みである。</p> <p>主体栽培作物は果樹の梅、柿、日本梨、ペカン、クルミ、みかん等であるが、その生育・管理上穀物栽培の面積とは未だ比較にならないが栽培中である。</p> <p>また一部家畜のニワトリ、豚、肉牛等の飼育も見られる。</p>	
自然環境	地形	対象地はバンパ・オンドラーダ (波状) の一部であり、その 75% は波状の丘の上にあつて、標高 32.5 ~ 35.0m 前後で概ね平坦である。残り 25% はパラナ河の支流アレシーフェス川右岸に続く湿地に向かって、北西の方向へ緩い 1 ~ 2 度の勾配の斜面をなして標高 17.5m に達している。
	地質・土壌	土壌は亜熱帯プレーリーの帯赤黒色土壌またはパラナ河による沖積土からなり、粒状構造をもった厚い (30 ~ 75cm) 暗色の肥沃な腐植層をもっている。酸性がかなり強い。土性については、バンパシルトに象徴される如く、シルト質に富む A 層はローム、B 層は粘土質ロームまたは粘土が強い。
	植生・林相	バンパ平原特有の草原地帯で自然林は見られない。
	気候	月平均気温 10.8 ~ 23.6℃。年平均気温 16.9℃。平均最高気温 15.7 ~ 30.1℃、平均最低気温 5.5 ~ 16.9℃。絶対最高気温 27.6 ~ 40.7℃、絶対最低気温 -6.7 ~ 6.7℃。年平均相対湿度 66 ~ 83%。月平均降雨量 52.4 ~ 333.3mm。年平均降雨量 1,037.7mm。降霜期間は 4 月末 ~ 10 月中旬であるが、パラナ河の影響もあつて降霜は少ない。高さ 2 m における月平均風速 9.0 ~ 11.9km/hr。
社会環境	最寄都市 (1) (該当するもの■)	<p>名称：バラデー口市</p> <p>距離：6km (うち未舗装 1.5km) 交通手段：□鉄道□定期バス</p> <p>■自家用車 所要時間：10分 人口：約 3 万人</p>
	最寄都市 (2) (該当するもの■)	<p>名称：サン・ベード口市</p> <p>距離：26km (うち未舗装 1.5km) 交通手段：□鉄道□定期バス</p> <p>■自家用車 所要時間：35分 人口：約 4.5 万人</p>

社 会 環 境	大 都 市 (該当するもの■)	名称：ブエノス・アイレス市 距離：146km (うち未舗装 1.5km) 交通手段：■鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：3時間 分 人口：1,259万人 (首都圏)
	行政インフラ	役 所 (バラデーロ市) 公証人役場 (バラデーロ市) 警 察 (バラデーロ市) 交 通 警 察 (バラデーロ市) 郵便局 (バラデーロ市) 電 話 局 (バラデーロ市)
	社会インフラ (該当するもの■)	[公共施設] <input type="checkbox"/> 公民館 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 運動場 ■その他 (果樹試験園場) [教育] <input type="checkbox"/> 保育園 <input type="checkbox"/> 幼稚園 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> その他 ( ) [日語校] 教師数 人、生徒数 人、教室 ( <input type="checkbox"/> 専用 <input type="checkbox"/> 共用 <input type="checkbox"/> 個人宅) 教室数 室、学級 ( <input type="checkbox"/> 単式 <input type="checkbox"/> 複式) [保健・医療] <input type="checkbox"/> 保健所 <input type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 薬局 <input type="checkbox"/> 検査所 ・医師： <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 ・看護婦： <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 ・その他 ( ) [警察] <input type="checkbox"/> 派出所 <input type="checkbox"/> 定期巡回 <input type="checkbox"/> 不定期 <input type="checkbox"/> その都度
	産業インフラ (該当するもの■)	[農業用水] <input type="checkbox"/> 公営灌漑用水 <input type="checkbox"/> 域内灌漑用水 <input type="checkbox"/> 河川水 ■地下水 <input type="checkbox"/> 溜池 ■天水
	生活インフラ (該当するもの■)	[移住地内幹線道路] <input type="checkbox"/> 舗装 <input type="checkbox"/> 一部舗装 <input type="checkbox"/> 砂利舗装 ■盛土道路 <input type="checkbox"/> その他( ) [電気] <input type="checkbox"/> 全戸電化 ■一部電化 <input type="checkbox"/> 自家発電 <input type="checkbox"/> なし [飲料水] <input type="checkbox"/> 水道 ■井戸水 <input type="checkbox"/> 雨水 <input type="checkbox"/> 市販水 (水質： ■飲用可 <input type="checkbox"/> 要煮沸 <input type="checkbox"/> 飲用不可) [電話] ■普通電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 公衆電話 <input type="checkbox"/> なし
入 植 者 状 況	入 植 者 戸 数	直接入植者戸数 戸 (うち非居住者 戸) 現地入植者戸数 (日系人) 22戸 (うち非居住者 20戸) (非日系人) 10戸 *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者
	日 系 人 入 植 者	農業専業 22戸 (うち日本滞在中 1戸)



農 業 現 況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積(単位:ha)
	雑穀	小麦9ha(大豆、とうもろこし等の輪作)、その他(ひまわり)
	果樹	柑橘(オレンジ/みかん)0.8ha、柿1.0ha、梅7.5ha、ペカン2.0ha、日本梨1.0ha、クルミ2.0ha
	畜産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 養鶏(鶏肉)500羽、養豚50頭、肉牛20頭、乳牛3頭
そ の 他	主生産物販売 取扱機関	加工業者、生産農家自身(小売)
	金融機関	事業団、民間銀行
支 援 事 業	移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。	

移住地略図



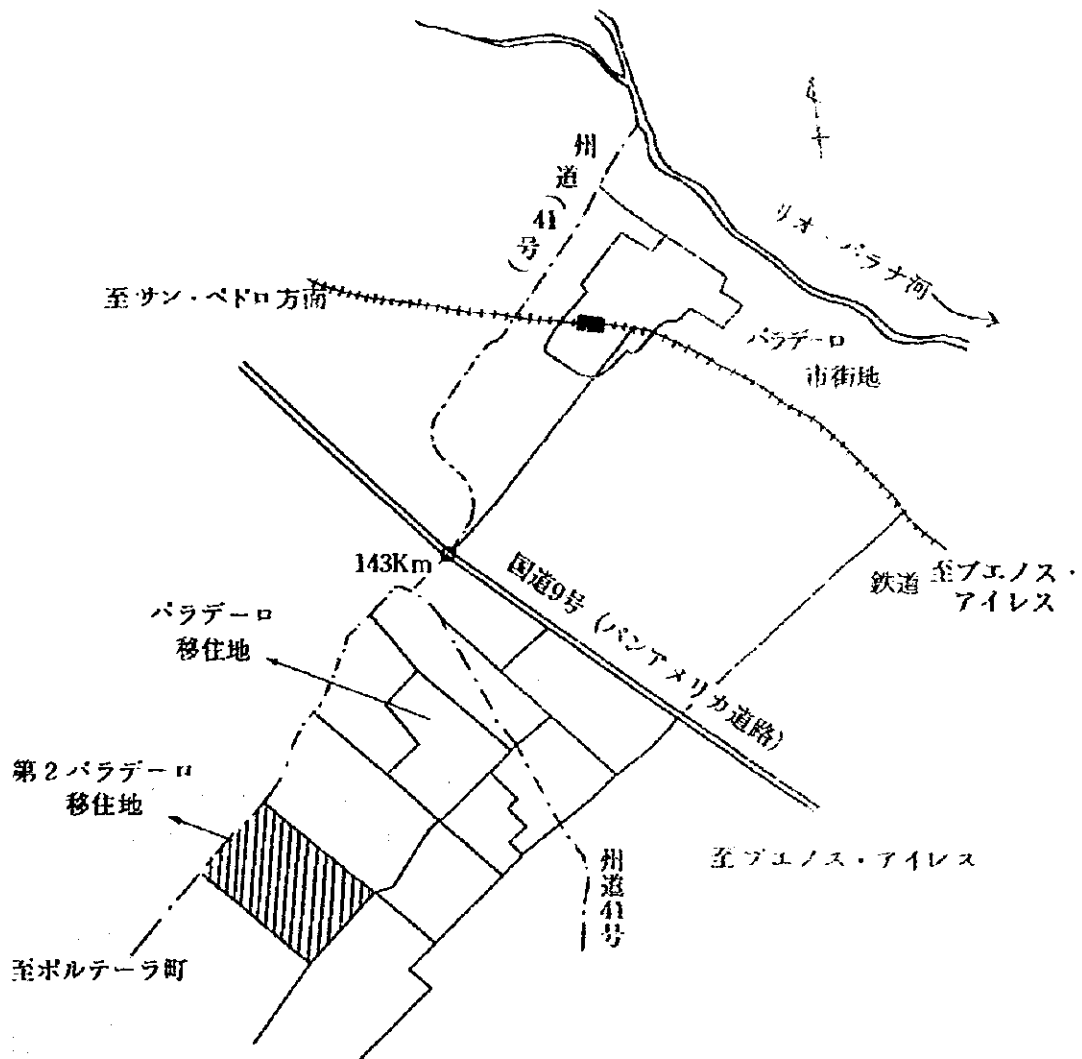
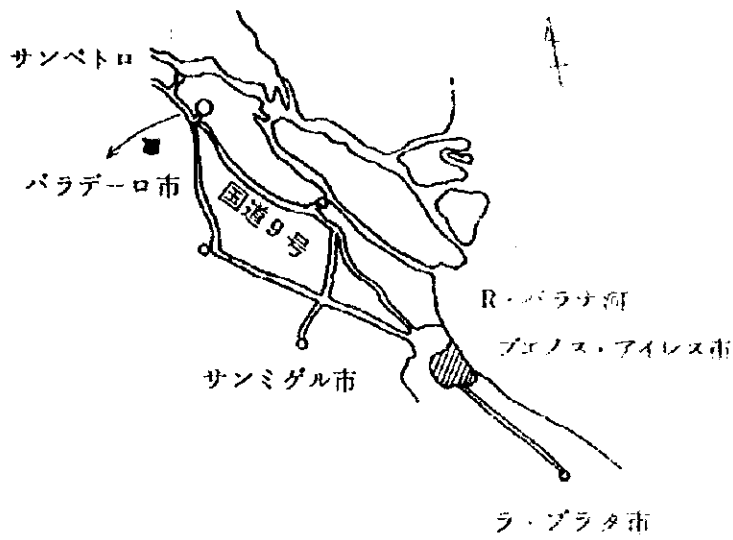
## 第2 バラデーロ

所在地	ブエノス・アイレス州バラデーロ郡 Baradero, Partido Baradero, Pcia. Buenos Aires	
面積	全移住地面積 438ha. 1区画平均 15ha.	
沿革	<p>バラデーロ移住地と同様の目的・経緯で第12号移住地として、1984年3月本入植地を設置した。1985年8月から分譲開始。</p> <p>分譲地は28区画割となっているが1区画にJICA園芸総合試験場の果樹試験圃場があるほか、10区画が分譲済みである。</p> <p>入植者の主体作物は穀物類の栽培面積とは比較にならないが、キウイ、柑橘、柿、日本梨、その他、温室ブドウの栽培も行われている。</p>	
自然環境	地形	対象地はパンパ・オンドラーダ（波状）の一部であり、その75%は波状の丘の上にあつて、標高32.5～35.0m前後で概ね平坦である。残り25%はパラナ河の支流アレシーフェス川右岸に続く湿地に向かつて、北西の方向へ緩い1～2度の勾配の斜面をなして標高17.5mに達している。
	地質・土壌	土壌は亜熱帯プレーリーの帯赤黒色土壌またはパラナ河による沖積土からなり、粒状構造をもった厚い（30～75cm）暗色の肥沃な腐植層をもっている。酸性がかなり強い。土性については、パンバシルトに象徴される如く、シルト質に富むA層はローム、B層は粘土質ロームまたは粘土が強い。
	植生・林相	パンパ平原特有の草原地帯で自然林が見られない。
	気候	月平均気温 10.8～23.6℃。年平均気温 16.9℃。平均最高気温 15.7～30.1℃、平均最低気温 5.5～16.9℃。絶対最高気温 27.6～40.7℃、絶対最低気温 -6.7～6.7℃。年平均相対湿度 66～83%。月平均降雨量 52.4～333.3mm。年平均降雨量 1,037.7mm。降霜期間は4月末～10月中旬であるが、パラナ河の影響もあつて降霜は少ない。高さ2mにおける月平均風速 9.0～11.9km/hr。
社会環境	最寄都市（1） （該当するもの■）	<p>名称：バラデーロ市</p> <p>距離：9km（うち未舗装4km） 交通手段：□鉄道□定期バス</p> <p>■自家用車 所要時間：15分 人口：約3万人</p>
	最寄都市（2） （該当するもの■）	<p>名称：サン・ベードロ市</p> <p>距離：29km（うち未舗装4km） 交通手段：□鉄道□定期バス</p> <p>■自家用車 所要時間：40分 人口：約4.5万人</p>

社 会 環 境	大 都 市 (該当するもの■)	名称：ブエノス・アイレス市 距離：149km (うち未舗装4km) 交通手段：■鉄道■定期バス □不定期バス 所要時間：3時間 人口：1,259万人 (首都圏)
	行政インフラ	役 所 (バラデーロ市) 公証人役場 (バラデーロ市) 警 察 (バラデーロ市) 交 通 警 察 (バラデーロ市) 郵便局 (バラデーロ市) 電 話 局 (バラデーロ市)
	社会インフラ (該当するもの■)	[公共施設] □公民館 □体育館 □運動場 ■その他 (果樹試験圃場) [教育] □保育園 □幼稚園 □小 □中 □高 □その他 ( ) [日語校] 教師数1人、生徒数9人、教室(□専用 □共用 □個人宅) 教室数1室、学級(□単式 □複式) [保健・医療] □保健所 □診療所 □病院 □薬局 □検査所 ・医師：□常勤 □非常勤 ・看護婦：□常勤 □非常勤 ・その他 ( ) [警察] □派出所 □定期巡回 □不定期 □その都度
入 植 者 状 況	産 業 イ ン フ ラ (該当するもの■)	[農業用水] □公営灌漑用水 □域内灌漑用水 □河川水 ■地下水 □溜池 ■天水
	生 活 イ ン フ ラ (該当するもの■)	[移住地内幹線道路] □舗装 □一部舗装 □砂利舗装 ■盛土道路 □その他 ( ) [電気] □全戸電化 ■一部電化 □自家発電 □なし [飲料水] □水道 ■井戸水 □雨水 □市販水 (水質： ■飲用可 □要煮沸 □飲用不可) [電話] ■普通電話 □携帯電話 □公衆電話 □なし
入 植 者 状 況	入 植 者 戸 数	直接入植者戸数 戸 (うち非居住者 戸) 現地入植者戸数 (日系人) 10戸 (うち非居住者9戸) (非日系人) 0戸 *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者
	日 系 人 入 植 者	農業専業 8戸 (うち日本滞在中1戸)

農 業 現 況	日系人入植者	農業兼業：(被雇用者) 1戸 商業：1戸
	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)
	雑穀	小麦 12ha (大豆、とうもろこし等の輪作)、その他 (ひまわり)
	果樹	ブドウ 0.2ha、柑橘 0.8ha、柿 1.0ha、キウイ 1.5ha、日本梨 1.0ha
そ の 他	主生産物販売 取扱機関	生産農家自身 (小売)
	金融機関	事業団、民間銀行
支 援 事 業	移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。	

移住地略図



## 第2ラ・プラタ移住地

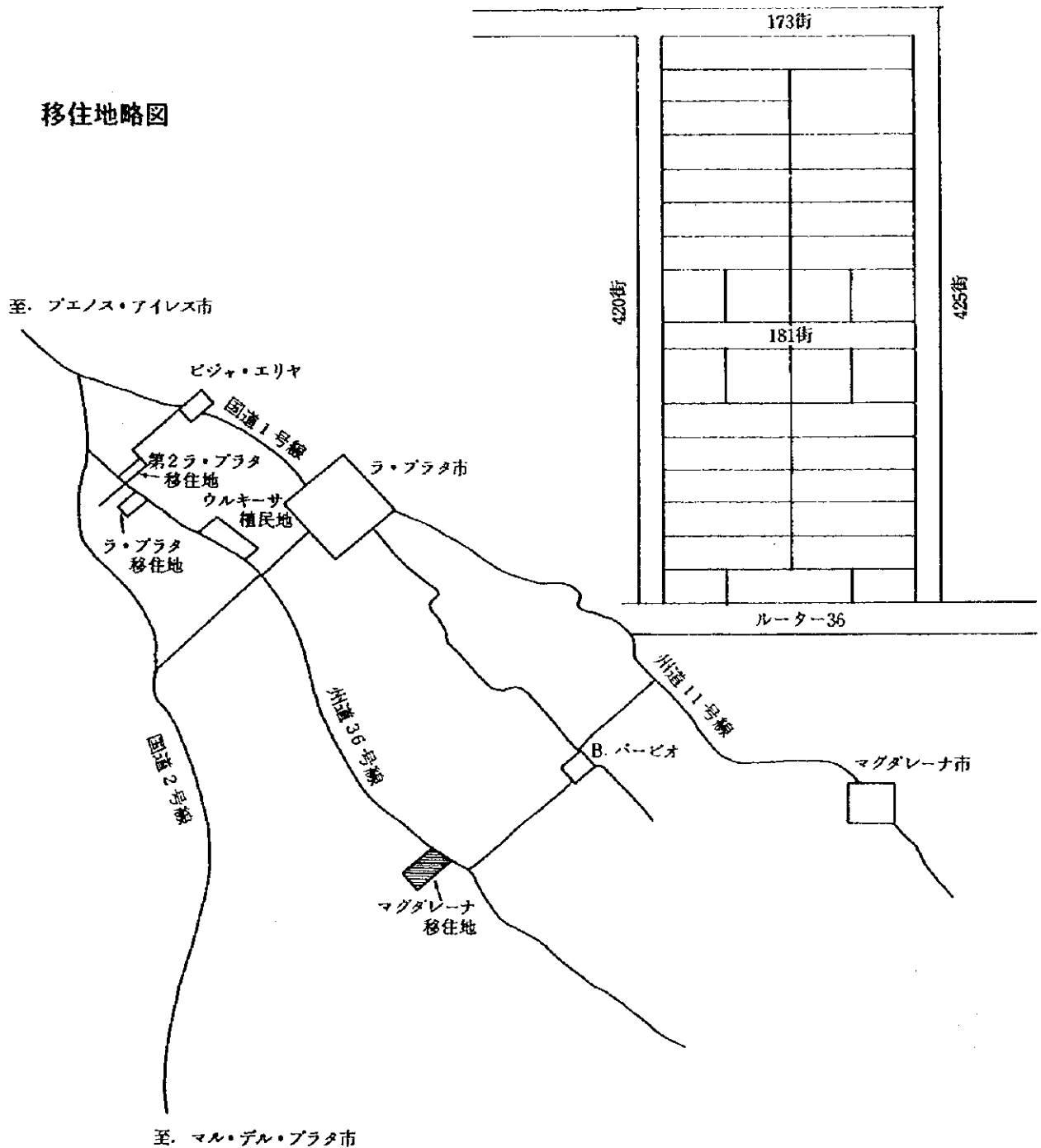
所在地	ブエノス・アイレス州ラ・プラタ郡 Lugar El Peligro, Partido La Plata, Pcia. Buenos Aires	
面積	全移住地面積 144ha. 1区画平均 4ha.	
沿革	エスペランサ移住地と同様の経緯・目的で 1985 年 3 月第 13 号移住地として設置した。 入植開始は 1987 年である。	
自然環境	地形	ウルキッサ移住地に隣接する肥沃な土地で全体的に西北西に向かって緩い傾斜があるが、ほぼ平坦地で標高 28m である。 全体的にほぼ平坦であるが、北東側と西南西側には排水溝を有し、余剰雨水及び花卉栽培用の必要水は十分である。
	地質・土壌	沖積土地帯で表土は黒色をし、相当の有機質に富み肥沃である。表土は 20cm を有し、それに続く下層は良質の粘土層となり花卉栽培に適した土地である。
	植生・林相	2 年前までは乳牛飼育の放牧場として利用し、購入時までにはトウモロコシの耕作をしていた。
	気候	1～2 月が最も暑く、最高平均気温 21.2℃。6～7 月が最も寒く、最低平均気温 11.7℃。年平均気温 15.8℃。平均年間降雨量 1,076 mm。5～9 月の間に降霜 5～7 回程度。
社会環境	最寄都市 (1) (該当するもの■)	名称：ロメロ町 距離：15km (うち未舗装 2km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：20 分 人口：約 1 万人
	最寄都市 (2) (該当するもの■)	名称：ビジャ・エリサ町 距離：10km (うち未舗装 4km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：10 分 (自家用車) 人口：約 1 万人
	大都市 (該当するもの■)	名称：ラ・プラタ市 距離：35km (うち未舗装 2km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：1 時間 分 人口：約 50 万人
	行政インフラ	役所 (ロメロ町) 公証人役場 (ロメロ町) 警察 (ロメロ町) 交通警察 (ロメロ町) 郵便局 (バット村、ビジャ・エリサ町) 電話局 (エル・バット市)

社 会 環 境	社会インフラ (該当するもの■)	<p><b>【公共施設】</b>  <input type="checkbox"/>公民館 <input type="checkbox"/>体育館 <input type="checkbox"/>運動場 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p><b>【教育】</b>  <input type="checkbox"/>保育園 <input type="checkbox"/>幼稚園 <input type="checkbox"/>小 <input type="checkbox"/>中 <input type="checkbox"/>高 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p><b>【日語校】</b>  教師数 人、生徒数 人、教室 (<input type="checkbox"/>専用 <input type="checkbox"/>共用 <input type="checkbox"/>個人宅)  教室数 室、学級 (<input type="checkbox"/>単式 <input type="checkbox"/>複式)</p> <p><b>【保健・医療】</b>  <input type="checkbox"/>保健所 <input type="checkbox"/>診療所 <input type="checkbox"/>病院 <input type="checkbox"/>薬局 <input type="checkbox"/>検査所  ・医 師：<input type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤  ・看護婦：<input type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤  ・その他 ( )</p> <p><b>【警察】</b>  <input type="checkbox"/>派出所 <input type="checkbox"/>定期巡回 <input type="checkbox"/>不定期 <input type="checkbox"/>その都度</p>
	産業インフラ (該当するもの■)	<p><b>【農業用水】</b>  <input type="checkbox"/>公営灌漑用水 <input type="checkbox"/>域内灌漑用水 <input type="checkbox"/>河川水 ■地下水 <input type="checkbox"/>溜池 <input type="checkbox"/>天水</p>
	生活インフラ (該当するもの■)	<p><b>【移住地内幹線道路】</b>  <input type="checkbox"/>舗装 <input type="checkbox"/>一部舗装 <input type="checkbox"/>砂利舗装 ■盛土道路 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p><b>【電気】</b>  ■全戸電化 <input type="checkbox"/>一部電化 <input type="checkbox"/>自家発電 <input type="checkbox"/>なし</p> <p><b>【飲料水】</b>  <input type="checkbox"/>水道 ■井戸水 <input type="checkbox"/>雨水 <input type="checkbox"/>市販水  (水質： ■飲用可 <input type="checkbox"/>要煮沸 <input type="checkbox"/>飲用不可)</p> <p><b>【電話】</b>  ■普通電話 ■携帯電話 <input type="checkbox"/>公衆電話 <input type="checkbox"/>なし</p>
入 植 者 状 況	入植者戸数	<p>直接入植者戸数 戸 (うち非居住者 戸)  現地入植者戸数 (日系人) 32戸 (うち非居住者 19戸)  (非日系人) 2戸  *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者</p>
	日系人入植者	<p>農業専業 11戸  農業兼業：(修理業) 1戸、(日本への出稼ぎ) 1戸</p>
農 業 現 況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)
	果 樹	ブドウ 0.1ha
	花 卉	バラ 0.05ha、カーネーション 0.08ha、菊 0.05ha、鉢物 0.08ha、その他 (切り花用1年草) 0.05ha



その他	主生産物販売取扱機関	農業協同組合、商社等仲買業者、生産農家自身（卸売市場）
	金融機関	事業団、公営銀行、民間銀行
支援事業	移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。	

### 移住地略図



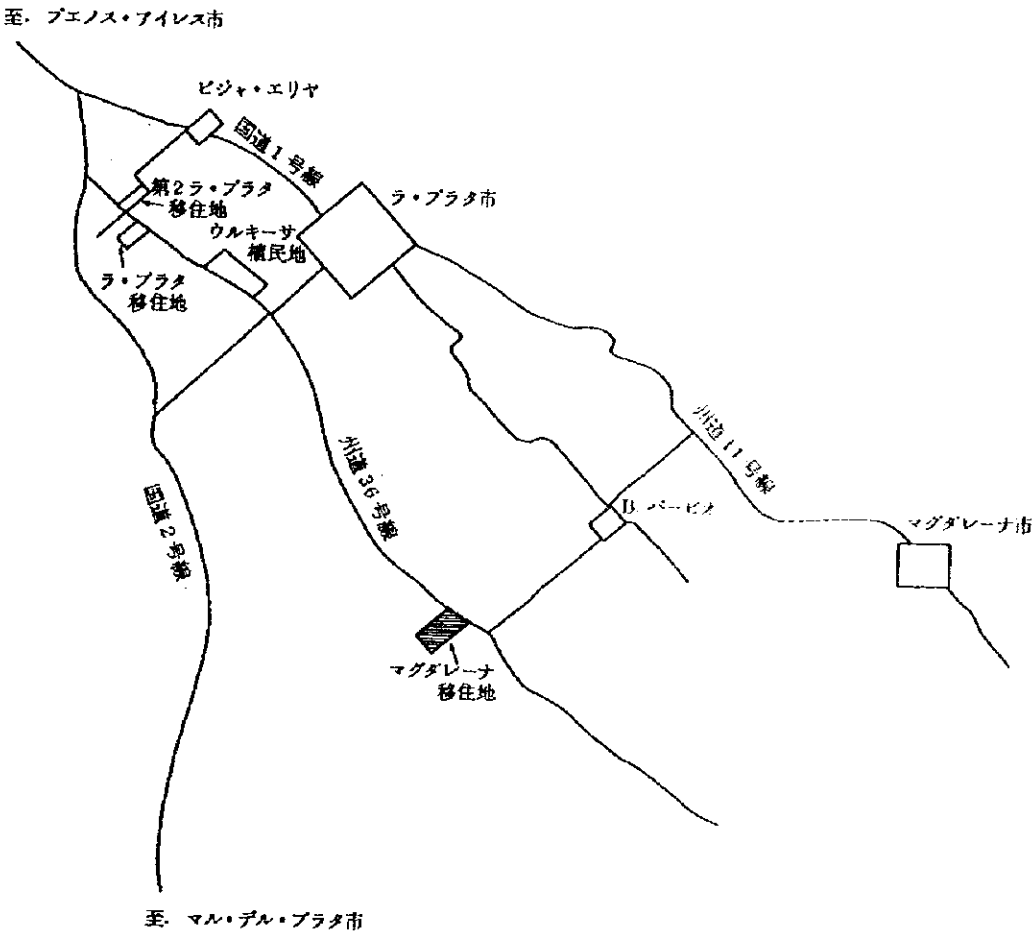
# マグダレーナ移住地

所在地	ブエノス・アイレス州 Lugar Oliden, Partido Magdalena, Pcia. Buenos Aires	
面積	全移住地面積 166.45ha. 1 区画平均 5.2ha.	
沿革	エスペランサ移住地と同様の経緯・目的で 1988 年 3 月第 14 号の移住地として設置した。 1988 年 7 月から分譲を開始した。	
自然環境	地形	全体的にはほぼ平坦であるが、わずかに北東から南西に向かって緩やかな傾斜を呈している。標高平均 20m。
	地質・土壌	沖積土地帯で、表土は黒色を呈し、かなりの有機質に富み肥沃である。表土は 30～40cm を有し、それに続く下層は良質の粘土層となり花卉栽培等に最適な土地である。
	植生・林相	購入時までは、一部トウモロコシ、一部牛飼育の放牧場として利用していた。
	気候	年間平均気温 16.0℃。最高平均気温 21.5℃。 平均年間降雨量 1,022 mm。降霜 5 月～8 月の間に平均 10 回程度。
社会環境	最寄都市 (1) (該当するもの■)	名称：バルトロメ・バヴィオ町 距離：15km (うち未舗装 km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：20 分 人口：約 0.3 万人
	最寄都市 (2) (該当するもの■)	名称：ラ・プラタ市 距離：50km (うち未舗装 km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：1 時間 20 分 人口：約 30 万人
	大都市 (該当するもの■)	名称：ブエノス・アイレス市 距離：100km (うち未舗装 0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：2 時間 分 人口：1,259 万人 (首都圏)
	行政インフラ	役所 (マグダレーナ市)      公証人役場 (B. バヴィオ市) 警察 (B. バヴィオ市)      交通警察 (B. バヴィオ市) 郵便局 (B. バヴィオ市)      電話局 ( )

社 会 環 境	社会インフラ (該当するもの■)	<p><b>【公共施設】</b>  <input type="checkbox"/>公民館 <input type="checkbox"/>体育館 <input type="checkbox"/>運動場 <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p><b>【教育】</b>  <input type="checkbox"/>保育園 <input type="checkbox"/>幼稚園 <input type="checkbox"/>小 <input type="checkbox"/>中 <input type="checkbox"/>高 <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p><b>【日語校】</b>  教師数 人、生徒数 人、教室 (<input type="checkbox"/>専用 <input type="checkbox"/>共用 <input type="checkbox"/>個人宅)  教室数 室、学級 (<input type="checkbox"/>単式 <input type="checkbox"/>複式)</p> <p><b>【保健・医療】</b>  <input type="checkbox"/>保健所 <input type="checkbox"/>診療所 <input type="checkbox"/>病院 <input type="checkbox"/>薬局 <input type="checkbox"/>検査所  ・医師：<input type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤  ・看護婦：<input type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤  ・その他( )</p> <p><b>【警察】</b>  <input type="checkbox"/>派出所 <input type="checkbox"/>定期巡回 <input type="checkbox"/>不定期 <input type="checkbox"/>その都度</p>
	産業インフラ (該当するもの■)	<p><b>【農業用水】</b>  <input type="checkbox"/>公営灌漑用水 <input type="checkbox"/>域内灌漑用水 <input type="checkbox"/>河川水 <input type="checkbox"/>地下水 <input type="checkbox"/>溜池 <input type="checkbox"/>天水</p>
	生活インフラ (該当するもの■)	<p><b>【移住地内幹線道路】</b>  <input type="checkbox"/>舗装 <input type="checkbox"/>一部舗装 <input type="checkbox"/>砂利舗装 ■盛土道路 <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p><b>【電気】</b>  <input type="checkbox"/>全戸電化 <input type="checkbox"/>一部電化 <input type="checkbox"/>自家発電 ■なし</p> <p><b>【飲料水】</b>  <input type="checkbox"/>水道 ■井戸水 <input type="checkbox"/>雨水 <input type="checkbox"/>市販水  (水質：<input type="checkbox"/>飲用可 <input type="checkbox"/>要煮沸 <input type="checkbox"/>飲用不可)</p> <p><b>【電話】</b>  <input type="checkbox"/>普通電話 <input type="checkbox"/>携帯電話 <input type="checkbox"/>公衆電話 ■なし</p>
入 植 者 状 況	入植者戸数	直接入植者戸数 戸 (うち非居住者 戸) 現地入植者戸数 (日系人) 戸 (うち非居住者 戸) (非日系人) 戸 *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者
	日系人入植者	農業専業 戸
農 業 現 況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)
	雑穀	その他45ha
そ の 他	主生産物販売 取扱機関	
	金融機関	

支援事業	<p>移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。</p>
------	---

移住地略図



団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
ガルアペー日本人会 ASOCIACIÓN JAPONESA DE GARUHAPÉ	会長 永江久利 1998年3月まで (1年間)	C.C.13(3334) PUERTO RICO, MISIONES 0743(21)308 なし なし	18才以上の日系人 75名 有 1986年11月 4名(役員)	公民館、隣接する運動 場	日語校、青年部、婦人 部、運動部	日会主催の運動会、新 年会。青年部による盆 踊り。婦人部による料理 等講習会、旅行、墓 地掃除。運動部(野球、 ゲートボール)の練習、 試合。日語校の毎 土曜日午後4時間の日 本語教育ほか課外授 業。	
ガルアペー農業協同組合 COOPERATIVA DE AGRÍCOLA GARUHAPÉ LTD	理事長 村上延徳 1998年7月まで (2年間)	C.C. 13 (3334) PUERTO RICO, MISIONES なし なし なし	原則として移住地内 での農業生産者 15名 有 1963年7月 3名(役員)			JICA, INTAの専門家に よる営農・技術指導。 情報の収集並びに情報 交換 etc.	
ガルアペー農業有限会社 AGRICOLA GARUHAPÉ SRL	代表者 菊江 明	C.C. 13 (3334) PUERTO RICO, MISIONES 0743 (20) 589 なし なし	有 1981年 2名(役員)	選果場		集荷、選果、梱包、販 売 etc.	
ガルアペー日本語学校 IDEOMA JAPONES DE GARUHAPÉ	維持会長 木村順任 1999年4月まで(2 年間)	C.C. 13 (3334) PUERTO RICO, MISIONES	14名(生徒数) 無 2名(役員)	公民館内の2部屋使用		毎週土曜日午後4時間 の日本語教育、教運へ の作文の応募。課外授 業としてキャンプ、絵 画、習字 etc. ミシオネ ス州内各日語校連合運 動会への参加。	

団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
コロニア・アンデス協会 COLONIA ANDES ASOCIACIÓN	会長 野田保民 1998年3月まで(2 年間)	C.C. 92 (5620) GRF GENERAL ALVEAR MENDOZA (0625) 22162 なし なし	移住内土地所有者 30名 無 2名(役員)	会議室、集会所	婦人部、水利部、イチ ゴ部	忘新年会、餅つき会、 飲み会(9月)、水利協 会、幹線水路清掃管理 (冬期・7月、夏期・12 月)	
ニスコバル日本語学園 ACADEMIA JAPONES DE ESCOBAR	会長 1年間	CESAR DIAZ 1178 ESCOBAR (1625) (0488) 21775 なし なし	日本人会会員 無 3名(職員)	2教室、教職員室、食堂		日本教育、学芸会、運 動会	機関誌： 伝書鳩 173部
エスコバル日本人会 ASOCIACIÓN JAPONESA DE ESCOBAR	会長 小池ウンベルト 1998年7月まで(1 年間)	CESAR DIAZ 1178 ESCOBAR (1625) (0488)21399 なし なし	460名 有 1955年	会館、運動場	文化部、運動部、娯楽 部、管理部、婦人部、 ゲートボール部	敬老娯楽大会、新年 会、運動会、ゲート ボール大会、料理講習 会、魚釣り大会	機関誌： 会報 173部
マルコス・パス日本人会 ASOCIACIÓN JAPONESA DE MARCOS PAZ	会長 藤沼正志 1998年5月まで(1 年間)	CASILLA DE CORREO N° 8, MARCOS PAZ (1727) PROV. BUENOS AIRES (020) 772-720 なし なし	満18才以上の男女 110名 有 1988年3月	会館(サロン、日本語学 校教室、調理場、トイ レ)、運動場 8名(役員)	日本語校、青年部、婦人 部、ゲートボール部	定期総会、バザー(日 語校を後援)、娯楽大 会、新年会、運動会(日 語校を後援)	
マルコス・パス日本語学校 ACADEMIA DE IDIOMA JAPONES DE MARCOS PAZ	維持会長 比嘉盛繁 1997年12月まで(1 年間)	CASILLA DE CORREO N° 8, MARCOS PAZ (1727) PROV. BUENOS AIRES (020) 772-066 なし なし	10家族	日本人会会館内の2教 室、図書室、運動場 3名、(教師)3名(役 員)		在日日本語教育連合会 の諸行事に参加する。 運動会、ピンポン大 会、バザー、修卒業式、 学芸会	

団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
エル・パット日本人会 EL PATO NIHONYINKAI	会長 末長明夫 1997年12月まで(1 年間)	RUTA 2KM, 41, EL PATO C/P 1893 PROVINCIA BUENOS AIRES ARGENTINA (022) 991-135 なし なし	15名 無	青年部			
ラプラタ日本語校 LA PLATA NIHONGO GAKO	校長 西沢上子						
コロニア ラ・プラタ クラブ	会長 森田博 1998年6月まで(1 年間)	RUTA 36KM 38500 EL PATO (1893) 0229-91260 なし なし	44名 無 5名(役員)	青年部、婦人部、運動 部、ピンポン、空手、 ゲートボール、カラオ ケ		エアロビック、各愛好 会	
コマウエ日系人会 ASOCIACIÓN JAPONESA DEL COMAHUE	会長 林 利明 1998年4月まで	CHANETON 2199 (8300) NEUQUEN PROV. DE NEUQUEN 099-439-144 なし なし	170名 有 1993年11月	会館用地約1000m <sup>2</sup>	日語校、青年部	定期総会、年2度の懇 親会、スポーツ大会  1週間1日(約8時 間)授業	
コマウエ果樹研究会	会長 林 修 1998年6月まで(2 年間)	BARRIO PUENTE CERO, CERVANTES, PROV. DE RIO NEGRO 068-340-864 なし なし	10名 無				

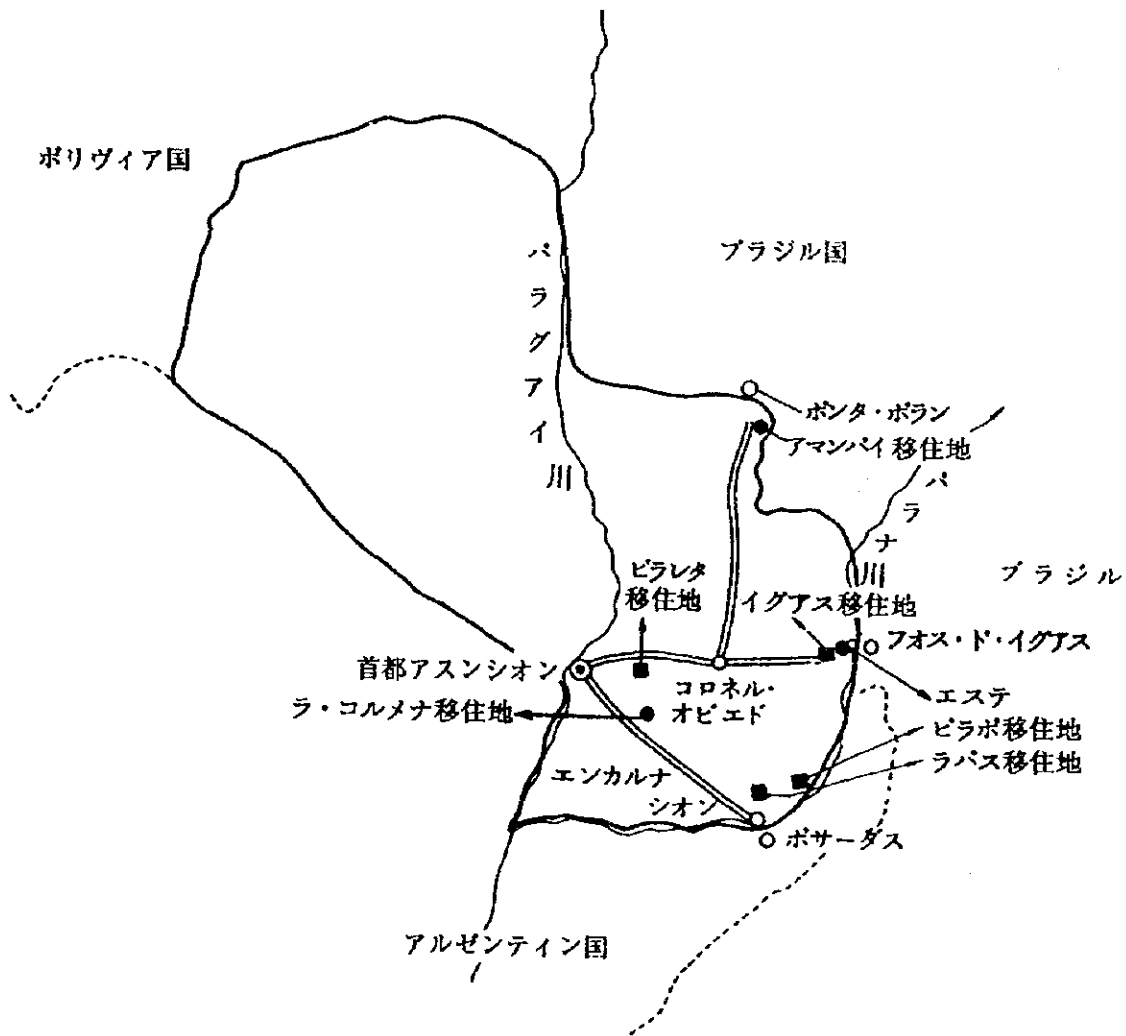
団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先（手紙）： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得（有無）： 年月（日） 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
コマウニ日本語学校	維持会長 森山 博 1998年5月まで(1 年間)	J.J.LASTRA 7356 NEUQUEN C/C 227, PROV. DE NEUQUEN 099-465-766 なし なし	無		生徒9名		
フーズ・オリエンターレス アル ヘンティーノス K.K. FOODS ORIENTALES ARGENTINOS S.A.	社長 斎藤正雄 1999年8月まで	A/C ITALIA 1151 ESCOBAR (1625) PCIA BUENOS AIRES 0488-93558 0488-93558	生産者 13名 有 1985年11月 5名(役員)	事務、試験室1棟、加工 倉庫(40m×15m)3棟、 乾燥場(自然)アスファ ルト(60m×60m)、管 理人(農場)宿舎3棟		梅栽培(100ha)、輸出用 加工及び至国内での製 品加工開発普及	
グレウ日本人会	会長 北林一久 1997年12月まで(1 年間)	0224-21742 なし なし	8名 無				
バラデーロ果樹研究会(任意団 体)	会長 1998年4月まで	NEUQUEN 3650, SANTOS LUGARES 1676, PCIA.BUENOS AIRES 757-1358 757-1358 なし	別に資格なし自由 32名 無 5名(役員)		バラデーロ、第2バラ デーロ入植者の栽培 果樹等の一般的な研 究会。入植地のインフ ラ対策及び親睦と活 性化の研究、その他。		
在亜日系団体連合会 FEDERACIÓN DE ASOCIACIONES DE NIKKEI ARGENTINA	会長 饒平名知秀	AV. INDEPENDENCIA 732(1099) CAP. FED. 307-2026 なし なし	22団体 有 1994年3月15日	事務室		日系団体間の融和を計 り、全日系団体に関わ る共通の課題に対応 し、解決を計る	



団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
アルゼンチン花卉産業協同組合 COOPERATIVA ARGENTINA DE FLORICULTORES LTD.	会長 JOSÉ LUIS LEIVA 1998年8月まで(1 年間)	AVENIDA CORRIENTES 4062, (1194) CAP. FED. BUENOS AIRES, ARGENTINA 862-6806 862-3620 なし	組合の株取得者 花卉栽培者 600名 有	花市場			
在亜日本語教育連合会 CENTRO DE CULTURA E IDIOMA JAPONES EN LA ARGENTINA	会長 松谷暁芸 1998年6月まで(1 年間)	DR. ENRIQUE PINOCHIETTO 840 (1274) BUENOS AIRES 01-362-8893 なし なし	有	会館、学生センター		運動会、ピンポン大 会、書道コンクール、 スピーチコンテスト、 中学生弁論大会、日本 語力だめし、作文大 会、話し方大会	

パラグアイ共和国





※ ●は非直営移住地

# 1. 移住先国別データ

## (1) 基礎指標

正式国名	パラグアイ共和国
首都	アスンシオン
面積	406,752km <sup>2</sup>
人口	4,960,000人 (95年国連)
独立年月日	1811年5月15日
政体	立憲共和国
宗教	カトリック
言語	スペイン語、グアラニー語
民族・人種構成	混血系(白人、インディオ)97%、白人系2%、その他1%

## (2) 経済指標

年度	1993	1994	1995
GNP (世銀・百万ドル)	6,995	7,606	N.A.
一人当たりGNP (世銀・ドル)	1,510	1,570	N.A.
GDP成長率 (国連・%)	4.1	2.9	4.9
インフレ率 (国連・%)	20.4	18.3	10.5
失業率 (国連・%)	5.1	4.4	5.3
対外債務残高 (IMF・百万ドル)	1,597	1,979	N.A.
経常収支 (IMF・百万ドル)	▲834	▲749	N.A.
通貨・交換レート (IMF・グアラニー)	1,880.0	1,940.0	1,955.0
輸出 (IMF・百万ドル)	725	817	1,180
輸入 (IMF・百万ドル)	1,722	2,245	5,826
商品別貿易実績 (92年IMF・百万ドル)	(輸出) 綿花209、大豆種子137、工業製品96、畜産物85、 油かす54、材木53 (輸入) 一般消費財364、資本財352、原材料・中間財206、 食料・飲料170、燃料・潤滑油145		

(出典：1997年度版中南米諸国便覧(外務省中南米局監修) p.106～p.107. 社団法人ラテンアメリカ協会)

## 2. パラグアイへの日本人移住の歴史

パラグアイへの日本人集団移住は、1934年ブラジルで外国移民2分制限法が制定され、ブラジルへの移住が制限されたことがきっかけとなり、新たな日本人移住先国として、パラグアイ政府の許可を取り、アスンシオン市東南132kmのラ・コルメナに土地を購入、1936年ブラジルからの指導移住者の入植に引き続き、1936年8月日本からの第一陣11家族81名が入植したことに始まる。ラ・コルメナ移住地には、第2次大戦により移住が中断されるまでの間123家族790名が入植した。

戦後は、1954年ラ・コルメナに3家族193名が入植することにより移住が再開され、またパラグアイ東南部のエンカルシオン市に近い国営チャベス入植地にも入植した。1955年に設立された日本海外移住振興株式会社（事業団の前身）は、当時の日本国内の海外移住熱に呼応して1956年フラム移住地（16,057ha）、1958年アルト・バラナ移住地（83,580ha）、1960年にイグアス移住地（87,763ha）とあいついで移住地を購入取得し、入植地造成を進めた。一方、1956～58年にかけて、パラグアイ北部、ブラジル国境に近いペドロ・ファン・カバリエーロ市近郊のアメリカ人経営のコーヒー園に雇用農として日本から137戸単身7名が入植するなど、1950年後半から1960年前半にかけ、パラグアイ移住は盛況を極めた。この間において、わが国は移住協定の締結（1959年）により30年間にわたり85,000人の日本人移住者の受入れ枠を得たが、我が国の経済の急速な成長に伴い移住者の送出国は激減し、今日に至っている。

なお、戦後当国へ9,612名（平成元年12月末現在外務省旅券発給統計）が移住した。

追記：各移住地のうち、次の2移住地名が、行政区画の変更等の事由により、平成3年度から改称された。

- ・フラム移住地                      → ラ・バス移住地
- ・アルト・バラナ移住地           → ビラボ移住地

## パラグアイ在留邦人及び日系人数統計

総数 (1+2)			1. 長期滞在者			2. 永住者			3. 日系人推定数 (注1)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2,057	1,899	3,956	178	167	345	1,879	1,732	3,611			7,700

出典：平成9年版海外在留邦人数調査統計（平成8年10月1日現在）

（注1）日系人推定数は永住者+2世以降の日系人で、各種統計等より推定。（平成10年1月、外務省領事移住部）

## ラ・パス移住地

所在地	イタプア県ラパス移住地 Distrito La Paz, Departamento de Itapúa	
面積	全移住地面積 15,952ha。1 区画平均（農耕地）25.7ha,（市街地）1.6ha。	
沿革	<p>旧日本海外移住振興株式会社が、1956年（昭和31年）に現地のフラム土地会社所有のうち15,952haを分割購入して造成した移住地である（購入価格26,600千円）。</p> <p>この地域への邦人入植は、1955年（昭和30年）フラム土地会社の分譲地に、6家族が入植したのがはじまりである。</p> <p>その後、1956年（昭和31年）末には広島県沼隈町を中心とした分村的移住、更には1957年（昭和32年）に、高知県大正町を中心とした数か村からなる集団移住が行われる等、5ヶ年間で371戸を迎え、1960年（昭和35年）代にほぼ満植となった。しかし、その後経済の低迷、土地不足等により約半数が国内他地区、アルゼンティン等へ転住し、残留者がその跡地を購入して面積拡張を計り今日に至っている。</p> <p>入植者のうち、一部はアベレア地方のロシア人移住地の古い耕地を入手し落ち着いたものもある。</p> <p>現在158戸が入植定住している。</p>	
自然環境	地形	パラナ河より奥地に向かい緩やかな傾斜で高くなり移住地内は比較的起伏に富み、波状形を呈している。移住地内には、数本の小川が流れており、標高は最高200m、最低180mで、平均標高は190mである。
	地質・土壌	玄武岩を母岩とした風化土壌で、一般にブラジルでいうテラロッサといわれ、赤褐色を呈し、表層は埴壤土または埴土、下層は埴土で地味は肥沃である。地層は低湿地では薄く、斜面にあつては礫層岩盤が散見される。土壌構造がよく発達しており透水性は粘土含量が多いにもかかわらず一般に良い。phは5.5程度の弱酸性である。
	植生・林相	高地は亜熱帯植林（グワタンブ、カナフィスト、ラオ等）が続き、低地は湿地性灌木林及び耐湿草木が繁茂している。有用材はすでにそのほとんどが資材として伐りだされておりその量はわずかである。
	気候	最高平均気温29.5℃、最低平均気温15.3℃、年間平均気温22.6℃である。乾期は12月～2月の最夏期、雨期は9月～11月の春先から初夏とされているが、特に明瞭な区分はない。年間平均降雨量は2,000mm程度。 降霜・降雹等 降霜：冬期7回～12回（強度の降霜は年2～3回） 降雹：9月～11月の春期に2～3回軽度の降雹あり。但し10年に1度程度の頻度で大降雹あり。

社 会 環 境	最寄都市(1) (該当するもの■)	名称：エンカルナシオン市 距離：50km (うち未舗装0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：50分 人口：約10万人
	最寄都市(2) (該当するもの■)	名称：オブリガード(オエナウ)市 距離：50km (うち未舗装0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：50分 人口：約1万人
	大都市 (該当するもの■)	名称：アスンシオン市 距離：415km (うち未舗装0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：6時間 人口：約70万人
	行政インフラ	役所(ラパス市) 公証人役場(エンカルナシオン市) 警察(ラパス市) 交通警察(エンカルナシオン市) 郵便局(エンカルナシオン市) 電話局(ラパス市)
	社会インフラ (該当するもの■)	[公共施設] ■公民館 <input type="checkbox"/> 体育館 ■運動場 <input type="checkbox"/> その他( ) [教育] <input type="checkbox"/> 保育園 ■幼稚園 ■小 ■中 ■高 <input type="checkbox"/> その他( ) [日語校] 教師数9人、生徒数77人、教室(■専用 <input type="checkbox"/> 共用 <input type="checkbox"/> 個人宅) 教室数3室、学級(■単式 <input type="checkbox"/> 複式) [保健・医療] <input type="checkbox"/> 保健所 ■診療所 <input type="checkbox"/> 病院 ■薬局 <input type="checkbox"/> 検査所 ・医師：■常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 ・看護婦：■常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 ・その他(事務員、レントゲン技師) [警察] ■派出所 <input type="checkbox"/> 定期巡回 <input type="checkbox"/> 不定期 <input type="checkbox"/> その都度
	産業インフラ (該当するもの■)	[農業用水] <input type="checkbox"/> 公営灌漑用水 <input type="checkbox"/> 域内灌漑用水 <input type="checkbox"/> 河川水 ■地下水 ■溜池 <input type="checkbox"/> 天水
	生活インフラ (該当するもの■)	[移住地内幹線道路] <input type="checkbox"/> 舗装 ■一部舗装 <input type="checkbox"/> 砂利舗装 ■盛土道路 <input type="checkbox"/> その他( ) [電気] ■全戸電化 <input type="checkbox"/> 一部電化 <input type="checkbox"/> 自家発電 <input type="checkbox"/> なし [飲料水] ■水道 ■井戸水 <input type="checkbox"/> 雨水 <input type="checkbox"/> 市販水 (水質： ■飲用可 <input type="checkbox"/> 要煮沸 <input type="checkbox"/> 飲用不可) [電話] ■普通電話 ■携帯電話 <input type="checkbox"/> 公衆電話 <input type="checkbox"/> なし



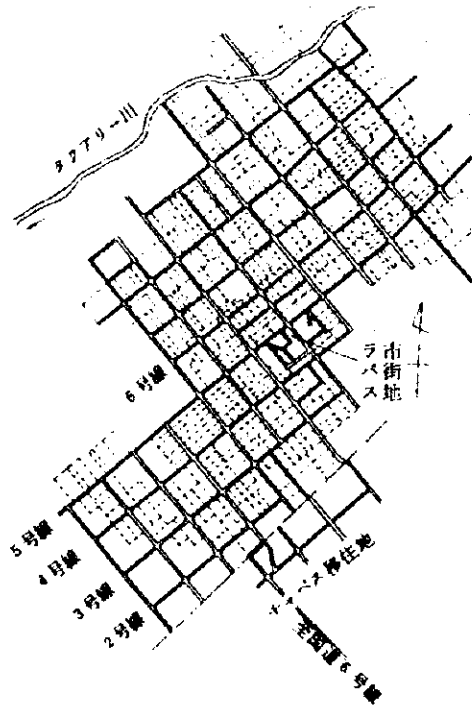
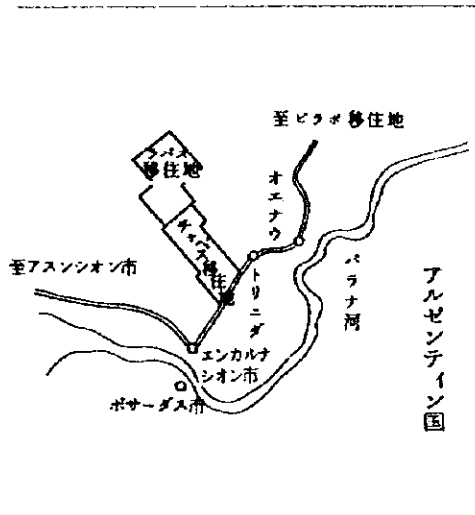
入植者状況	入植者戸数	直接入植者戸数 136戸（うち非居住者15戸） 現地入植者戸数（日系人）22戸（うち非居住者 戸） （非日系人）約500戸 ＊非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者
	日系人入植者	農業専業 128戸 農業兼業：（修理業）1戸、（商業）6戸、（被雇用者）5戸、（その他）12戸 修理業：2戸、商業：4戸
農業現況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積（単位：ha）
	雑穀	稲（水稲、陸稲）0.4ha、小麦96.9ha、ソルガム1.4ha、大豆121.6ha、とうもろこし4.5ha、ヒマワリ1.8ha
	果樹	自家用果樹類（ミカン、柿、バナナ、桃等）0.4ha
	畜産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 養鶏（鶏卵）80羽、肉牛51.3頭、乳牛0.5頭
	林業	松類1.0ha、台湾桐0.6ha
その他	主生産物販取扱機関	農業協同組合、商社等仲買業者
	金融機関	事業団、農業協同組合、民間銀行
支援事業	主な支援事業は131～132頁参照。その他に、移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。	

ラ・パス移住地向け事業団支援事業

事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
農業基盤整備	試験農場	昭和38～39年	フラム農場	
	本邦農業専門家派遣事業	昭和49～61年		
	営農改善特別対策事業	昭和58年	生産振興必要設備整備 種子貯蔵用サイロ	2/3
生活環境整備	道路対策	昭和38年	域内道路補修工事	30%
		昭和43～44年	域外・域内道路工事	1/2
		昭和51～55年	域外・域内道路工事	金額
		昭和56～57年	域外・域内道路追加補修工事	金額
		平成4～8年	車輛・機械整備計画(6ヵ年計画)	金額
		昭和61～62年		2/3
医療衛生環境整備	電化対策	昭和63年	深井戸(1基)	金額
	飲料水対策	昭和46年		2/3
	公民館建設	昭和52年		
	自治体会有林造林事業	昭和43年	オートバイ1台	
	治安対策	昭和48年	治安事務所1棟、オートバイ(更新)1台	
		昭和53年	オートバイ(更新)1台	
		昭和38～49年	診療所、宿舎4棟、車庫、機器、車輛2台、発電機1基	
	診療施設・設備	昭和50～59年	診療所増築、宿舎2棟、給水施設、機器、車輛2台、焼却炉	
		昭和60～平成8年	診療所増築、機器、車輛1台、改築	
		昭和38～平成8年	本邦・現地医師派遣、運営費・看護婦給与助成	
教育環境整備	移住地内教育施設・設備	昭和38～44年	小学校校舎5棟、中学校校舎1棟、教員宿舎10棟、寄宿舎1棟、小学校改築	
		昭和45～46年	中学校増築、教員宿舎1棟、スクールバス1台	
		昭和51年	教員宿舎1棟、スクールバス1台	
		昭和54～56年	小学校増築、教員宿舎2棟	

事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
教育環境整備	移住地内教育施設・設備	昭和57～58年	教員宿舎2棟、給水施設1基	
		昭和63年 平成2年	教員宿舎1棟 小学校増築、教員宿舎1棟	
開発青年、 日系社会青年 ボランティア (派遣年度) 10名	農林水産	果樹(昭和61年)、畑作(平成元年)、営農指導(平成6年)		
	医療衛生・福祉	看護婦(昭和61年、平成3年、6年)		
	教育・文化・その他	日本語教師(昭和62年、平成3年、7年、8年)		
移住シニア専門家、 日系社会シニア ボランティア (派遣年度) 2名	日本語教育	平成6年(他校兼轄)、平成9年(他校兼轄)		
	医療衛生・福祉			
		(3名)		
		(3名)		
		(4名)		
		(2名)		
		(0名)		

# 移住地略図



## ピラポ移住地

所在地	イタプア県ピラポ移住地 Distrito de Pirapo (Colonia Pirapo) Dto. de Itapúa	
面積	全移住地面積 84,217ha. 1区画平均 (農耕地) 44.9ha. (市街地) 1.3ha.	
沿革	<p>事業団の前身日本海外移住振興株式会社は、パラグアイ国第2の移住地として、ラパス移住地の満植にともない、1958年3月アルカスツル植民会社より約23,095haを購入し、これに加えて翌年6月その北部に隣接するカレンズ地区さらに10月ピラポ地区の南部に接するアカカラジャ地区の私有地を購入し、現在の移住地全域の購入を完了した。1960年8月2日、アカカラジャ地区に、日本から第一陣移住者として26家族が入植した。</p> <p>今日のピラポ移住地は、南部パラグアイにおける大豆、小麦の一大生産地に発展、これら関連企業が原料を求めて移住地内およびその周辺に進出し、操業している。</p> <p>現在入植定住者は254戸であり、ほぼ満植の状況である。1990年市制が制定された。</p>	
自然環境	地形	大波状の比較的起伏に富む地形を示し、全体的に北西部からパラナ河のある南東部にかけて傾斜して低くなっている。標高は最高348m最低99m、地区内最大の標高差は250mであるが、全般的には比較的傾斜の多い地形といえる (平均標高約220m)。
	地質・土壌	当地区の高位部では、土層は一般に厚くブラジルでいうテラロッシヤ (玄武岩を母岩とする風化土壌である暗赤色ラテライト化土壌) が5m~10mに達し、低平な地域 (ピラポ川マンドビジュ川の沿岸など) では、一般にテラロッシヤの土層薄く、傾斜面にあつては表面近くに礫層、軽石または岩盤が散見される。なお概して森林下は膨軟、土壌構造も良く発達して角塊状を成し、そのため透水性は粘土含有が高いにもかかわらず一般に良い。土層は深く、通常4~5m以上であり表層は腐植3%位、phは5~6程度の弱酸性で、可溶性の燐酸の含有は低い、カリは一般に富む。
	植生・林相	高地は林層が厚く、中には周囲6m樹高20m近い巨木も存在する。樹種としてはグアタンブ・グワイカ、カナフィスト等が多く、用材としては有名なラバーチョを始めセドロ、ローロネグロ、インシエンソがあるがその量は少ない。グワタンブ・グワイカは軟材であるが、家具材、板材等に用いられる。
	気候	一般に6~9月の冬期が雨期、10~5月の夏・春が乾期とされているが特に明確な区分はできない。冬期の気温は大陸内陸部の三寒四温的な傾向をもって、日較差は10~15℃、冬期の平均降霜日数は7~15日位と見られる。年間降雨日数は60~90日、雨量は1,500~2,000mmであつて当国最多雨地域に属している。 最高平均気温26.6℃、最低平均気温15.0℃、平均気温21.1℃

社 会 環 境	最寄都市(1) (該当するもの■)	名称：オブリガード市 距離：40km(うち未舗装10km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：40分 人口：約1万人
	最寄都市(2) (該当するもの■)	名称：エンカルナシオン市 距離：70km(うち未舗装10km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：1時間20分 人口：約10万人
	大都市 (該当するもの■)	名称：アスンシオン市 距離：450km(うち未舗装10km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：7時間30分 人口：約70万人
	行政インフラ	役所(ピラボ市) 公証人役場(エンカルナシオン市) 警察(ピラボ市) 交通警察(エンカルナシオン市) 郵便局(ピラボ市) 電話局(ピラボ市)
	社会インフラ (該当するもの■)	[公共施設] ■公民館 <input type="checkbox"/> 体育館 ■運動場 ■その他(相撲場) [教育] <input type="checkbox"/> 保育園 ■幼稚園 ■小 ■中 ■高 <input type="checkbox"/> その他( ) [日語校] 教師数18人、生徒数213人、教室(■専用 <input type="checkbox"/> 共用 <input type="checkbox"/> 個人宅) 教室数16室、学級(■単式 <input type="checkbox"/> 複式) [保健・医療] <input type="checkbox"/> 保健所 ■診療所 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 薬局 <input type="checkbox"/> 検査所 ・医師：■常勤 ■非常勤 ・看護婦：■常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 ・その他(レントゲン技師、検査技師、運転手、炊事婦、事務員、掃除婦) [警察] ■派出所 <input type="checkbox"/> 定期巡回 <input type="checkbox"/> 不定期 <input type="checkbox"/> その都度
	産業インフラ (該当するもの■)	[農業用水] <input type="checkbox"/> 公営灌漑用水 <input type="checkbox"/> 域内灌漑用水 ■河川水 ■地下水 ■溜池 ■天水
	生活インフラ (該当するもの■)	[移住地内幹線道路] <input type="checkbox"/> 舗装 ■一部舗装 ■砂利舗装 ■盛土道路 <input type="checkbox"/> その他( ) [電気] ■全戸電化 <input type="checkbox"/> 一部電化 <input type="checkbox"/> 自家発電 <input type="checkbox"/> なし [飲料水] ■水道 ■井戸水 <input type="checkbox"/> 雨水 <input type="checkbox"/> 市販水 (水質： ■飲用可 <input type="checkbox"/> 要煮沸 <input type="checkbox"/> 飲用不可) [電話] ■普通電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 公衆電話 <input type="checkbox"/> なし

入植者状況	入植者戸数	<p>直接入植者戸数 148戸 (うち非居住者1戸)</p> <p>現地入植者戸数 (日系人) 106戸 (うち非居住者1戸)</p> <p>(非日系人) 1,100戸</p> <p>*非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者</p>
	日系人入植者	<p>農業専業：180戸</p> <p>農業兼業：(修理業) 1戸、(商業) 8戸、(サービス業) 1戸、(その他) 39戸、加工業：3戸、修理業：7戸、商業：12戸、サービス業：3戸</p>
農業現況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)
	雑穀	稲 (水稲、陸稲) 0.1ha、小麦 84.7ha、大豆 138.4ha、ソルガム 0.5ha、とうもろこし 0.6ha
	果樹	その他 (白家用果樹類、ミカン、柿、バナナ、桃等) 0.3ha
	畜産	<p>1戸当たりの平均飼養成頭羽数</p> <p>養鶏 (鶏卵) 40羽、肉牛 18.7頭、乳牛 1.1頭</p>
	林業	アメリカ松、パラナ松 1.9ha、台湾桐 3.6ha
その他	主生産物販売取扱機関	農業協同組合、スーパー等小売業者、商社等仲買業者、生産農家自身 (小売)
	金融機関	事業団、農業協同組合、公営銀行、民間銀行
支援事業	<p>主な支援事業は137～138頁参照。その他に、移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。</p>	

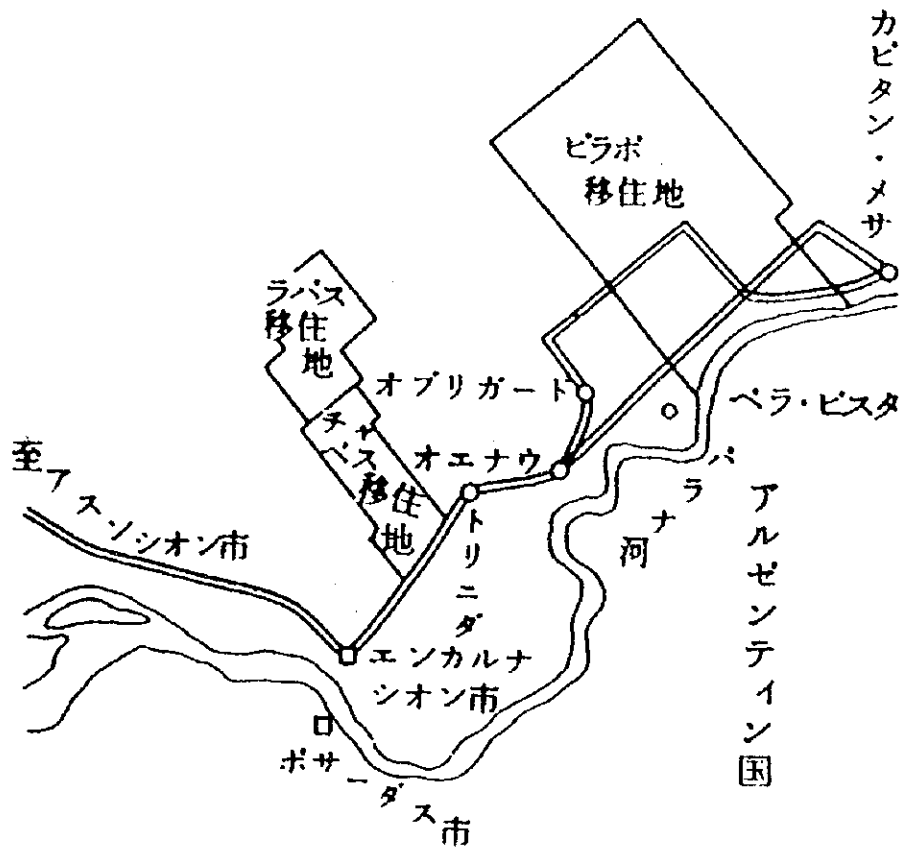
ピラポ移住地向け事業団支援事業

事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率	
農業基盤整備	試験農場	昭和38～48年	アルトバラナ試験場		
		昭和49～59年	アルトバラナ分場		
	本邦農業専門家派遣事業	昭和49～61年			
		昭和59年	生産振興必要設備装置 種子貯蔵用サイロ	購入費等	
	生活環境整備	道路対策	昭和58～62年	域内道路補修工事、域内道路補修工事用機械	全額
			平成4～8年	車輛・機械整備計画(6ヵ年計画)	全額
		電化対策	昭和59～60年		2/3
		飲料水対策	昭和62年	深井戸(1基)	全額
		公民館建設	昭和47年		2/3
		自治体会有林造林事業	昭和50年		
医療衛生環境整備	治安対策	昭和43年	オートバイ1台	20%	
		昭和46年	有線電話		
		昭和48年	オートバイ(更新)1台		
		昭和52年	警察屯所・宿舎1棟		
		昭和53年	オートバイ(更新)1台		
		昭和59年	オートバイ(更新)1台		
		昭和63年	警察官宿舎1棟		
	診療施設・設備	昭和38～49年	診療所、宿舎5棟、車庫、機器、車輛2台、発電機1基		
		昭和50～59年	診療所増築、宿舎1棟、機器、車輛1台、発電機1基		
		昭和60～平成8年	診療所増築、宿舎改築、機器、車輛2台		
診療所運営助成	昭和38～平成8年	本邦・現地医師派遣、運営費・看護婦給与助成			
	昭和38年	教員宿舎4棟			
教育環境整備	移住地内教育施設・設備	昭和38年	中学校校舎1棟、教員宿舎1棟、寄宿舎1棟		
		昭和40年			

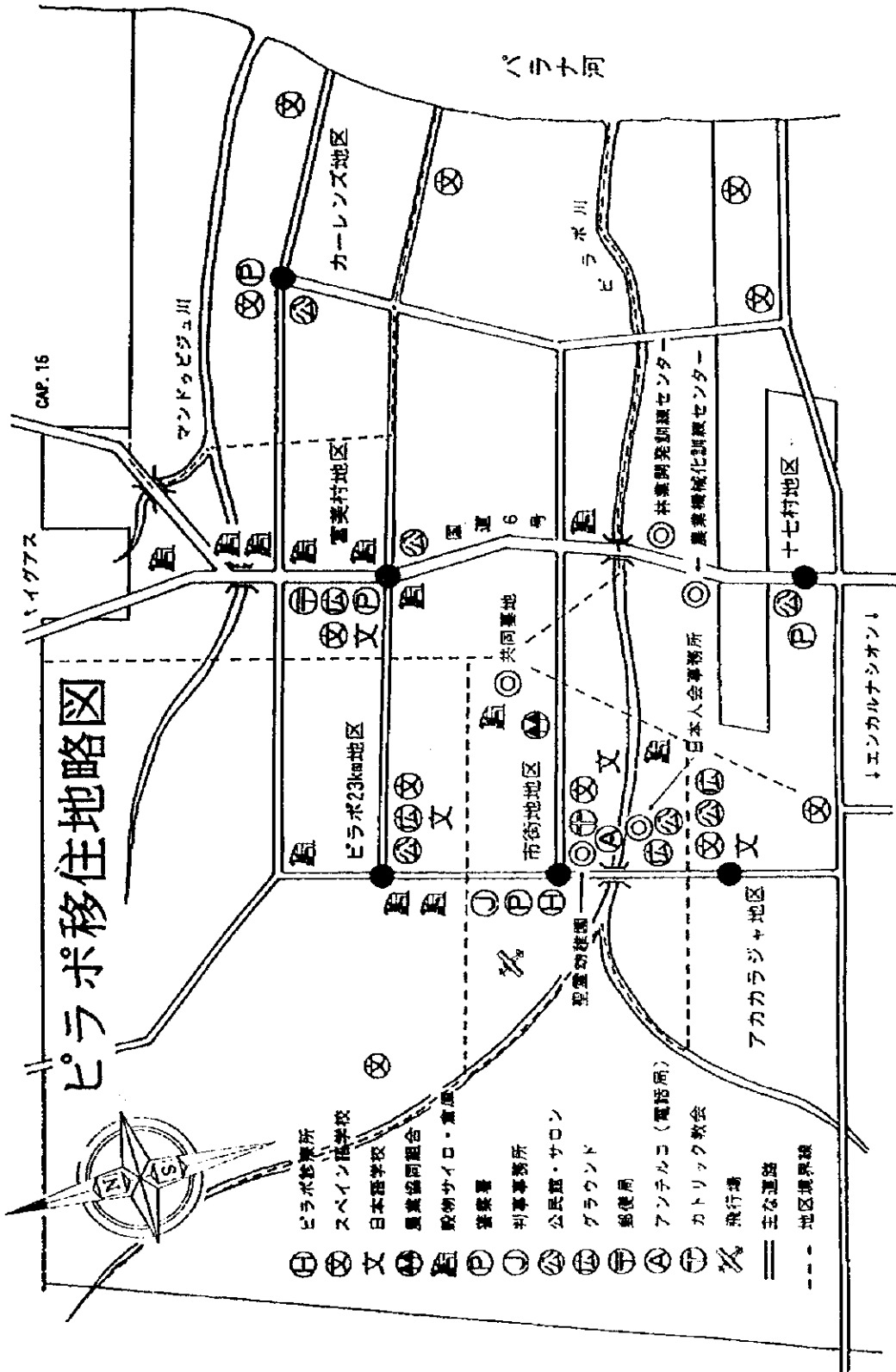


事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
教育環境整備	移住地内教育施設・設備	昭和45年	小学校改築、スクールバス2台	
		昭和47～49年	小学校校舎2棟、教員宿舎1棟	
		昭和55～57年	教員宿舎2棟、寄宿舎1棟	
		昭和59年	教員宿舎1棟	
		昭和62～63年	中学校改築、教員宿舎1棟	
開発青年、 日系社会青年 ボランティア (派遣年度) 6名	農林水産 (1名) 医療衛生・福祉 (4名) 教育・文化・その他 (1名)	家畜 (昭和63年) 看護婦 (昭和62年、平成4年)、臨床検査技師 (平成元年、5年) 日本語教師 (平成2年)		
移住シニア専門家、 日系社会シニア ボランティア (派遣年度) 2名	日本語教育 (2名) 医療衛生・福祉 (0名)	平成6年 (他校兼轄)、平成9年 (他校兼轄)		

移住地略図



# ピラポ移住地略図



# イグアス移住地

所在地	アルト・パラナ県イグアス市 Distrito de Yguazu (Colonia Yguazu), km41, S/Ruta Internacional, Dto. Alto Parana	
面積	全移住地面積 87,762ha. 1区画平均 (農耕地) 70ha. (市街地) 1.2ha.	
沿革	<p>1960年事業団の前身である日本海外移住振興株式会社がマルチン商会の所有地を購入、直ちに造成・区画割測量等入植造成工事が進められ、翌61年8月にフラム、チャベス両移住地より分家等14戸が第一陣として入植した。</p> <p>日本からの入植は、2年後の1963年第一陣の9戸が始まりで、以降、現地入植、内地入植が続き1997年1月1日現在、日系人189戸が、他にパラグアイ人1,400戸(推定)が入植している。</p>	
自然環境	地形	国際道路沿線で一般に標高が高く南北に次第に低くなっており、最高299m、最低182mである。地域の北端をイグアス河、南端近くをモンダウ河が流れており、いずれもパラナ河にそそいでおり、これら両河川の沿岸部は低地で東西に緩やかなスロープを描く丘陵地である。
	地質・土壌	表土はブラジルでいうテラ・ロッサと呼ばれる暗赤色のラテライト化土壌が100~150cmで、その下層は黄赤色または赤色となっている。粘土質が50%以上ある所が多く、適度の雨量がある場合は、土壌は植物にとって最高に良い状態であるが、3週間位雨が降らないと地表面は乾燥し通気性を欠くようになる。自然カンボ(草原の意)の土壌は、砂土、黒泥土で一般にカリ、リン酸が不足し強酸性である。
	植生・林相	亜熱帯性の樹高30m前後の樹木が密性しており、低位部の湿地付近は細く樹丈が低い雑木が粗生しているが、台地に向かい密生原生林へと変化していく。この亜熱帯林には各種の有用材がみられ、現地名セドロ、ラバーチョ、グワタンブ、ウピラロ、アレクリン、ガジャブイ、ウブラブタン、クルパウ、(実がなる) ティンボ、ピンロウ、ガアピラ、コクン、グアボウ、カンチャラーナなどがある。
	気候	大陸性亜熱帯気候で年間雨量は1,700mm内外で、降雨量は年間を通して大体均一である。夏期(10月~4月)の最高気温は40℃近くになることがしばしばある。冬期(5月~9月)の最低気温は4℃で降霜をみることがあるが、その頻度は年間5~10回程度である。最高平均気温26.6℃、最低平均気温15.8℃、平均気温20.5℃である。風は低気圧による突風が招くこともあるが風倒木の被害が生じる程度の突風は数十年に1回あるかないかである。しかし、近年は異常気象により、年に数度おこることもある。

社 会 環 境	最寄都市（１） （該当するもの■）	名称：シウダ・デル・エステ市 距離：41km（うち未舗装0km） 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：50分 人口：約 万人
	最寄都市（２） （該当するもの■）	名称： 市 距離：km（うち未舗装0km） 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間： 時間 分 人口：約 万人
	大 都 市 （該当するもの■）	名称：アスンシオン市 距離：285km（うち未舗装 km） 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：4時間30分 人口：約70万人
	行政インフラ	役 所（イグアス市） 公証人役場（イグアス市） 警 察（イグアス市） 交 通 警 察（ ） 郵便局（イグアス市） 電 話 局（イグアス市）
	社会インフラ （該当するもの■）	【公共施設】 ■公民館 ■体育館 ■運動場 ■その他（公共公園） 【教育】 <input type="checkbox"/> 保育園 ■幼稚園 ■小 ■中 ■高 <input type="checkbox"/> その他（ ） 【日語校】 教師数12人、生徒数218人、教室（■専用 <input type="checkbox"/> 共用 <input type="checkbox"/> 個人宅） 教室数6室、学級（■単式 <input type="checkbox"/> 複式） 【保健・医療】 <input type="checkbox"/> 保健所 ■診療所 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 薬局 <input type="checkbox"/> 検査所 ・医 師：■常勤 ■非常勤 ・看護婦：■常勤 ■非常勤 ・その他（検査技師、レントゲン技師） 【警察】 <input type="checkbox"/> 派出所 ■定期巡回 <input type="checkbox"/> 不定期 <input type="checkbox"/> その都度 ■警察署、警察分署
	産業インフラ （該当するもの■）	【農業用水】 <input type="checkbox"/> 公営灌漑用水 <input type="checkbox"/> 域内灌漑用水 ■河川水 <input type="checkbox"/> 地下水 ■溜池 ■天水
	生活インフラ （該当するもの■）	【移住地内幹線道路】 <input type="checkbox"/> 舗装 ■一部舗装 <input type="checkbox"/> 砂利舗装 <input type="checkbox"/> 盛土道路 <input type="checkbox"/> その他（ ） 【電気】 ■全戸電化 <input type="checkbox"/> 一部電化 <input type="checkbox"/> 自家発電 <input type="checkbox"/> なし 【飲料水】 ■水道 <input type="checkbox"/> 井戸水 <input type="checkbox"/> 雨水 <input type="checkbox"/> 市販水（水質：■飲用可 <input type="checkbox"/> 要煮沸 <input type="checkbox"/> 飲用不可） 【電話】 ■普通電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 公衆電話 <input type="checkbox"/> なし

入植者状況	入植者戸数	<p>直接入植者戸数 51戸（うち非居住者6戸）</p> <p>現地入植者戸数（日系人）136戸（うち非居住者9戸） （非日系人）約2,000戸</p> <p>*非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者</p>
	日系人入植者	<p>農業専業 162戸</p> <p>農業兼業：（加工業）2戸、（商業）2戸、（サービス業）3戸、（被雇用者）8戸、修理業：5戸、商業：3戸、サービス業：15戸</p>
農業現況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積（単位：ha）
	雑穀	稲（水稲、陸稲）1.5ha、小麦210ha、大豆257ha、とうもろこし3ha
	果樹	ブドウ0.1ha、柑橘（オレンジ／みかん）1.5ha、杏／スモモ3ha、バナナ（生食用、調理用）0.5ha、マカダミア3.5ha
	工芸作物	コーヒー0.5ha
	蔬菜	トマト0.1ha、メロン2ha、その他葉野菜0.1ha、キュウリ0.02ha、ニンジン0.04ha、ニラ類0.03ha
	花卉	蘭1,000鉢前後
	畜産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 養鶏（鶏卵）57羽、養豚5頭、肉牛35頭、乳牛3頭
その他	主生産物販売取扱機関	農業協同組合、スーパー等小売業者、加工業者、生産農家自身（小売）
	金融機関	事業団、農業協同組合、公営銀行
支援事業	<p>主な支援事業は144～145頁参照。その他に、移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。</p>	

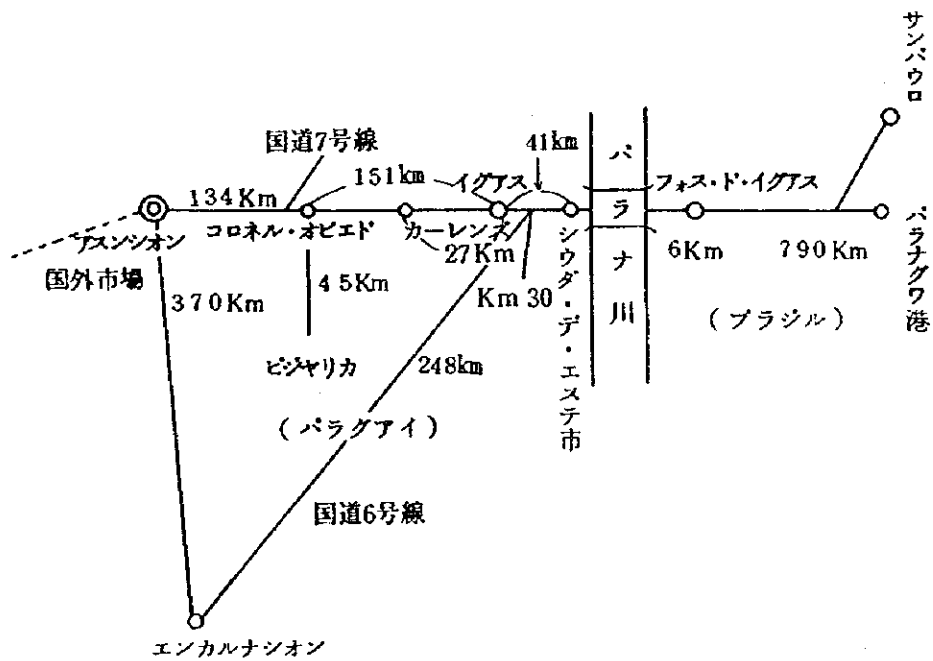
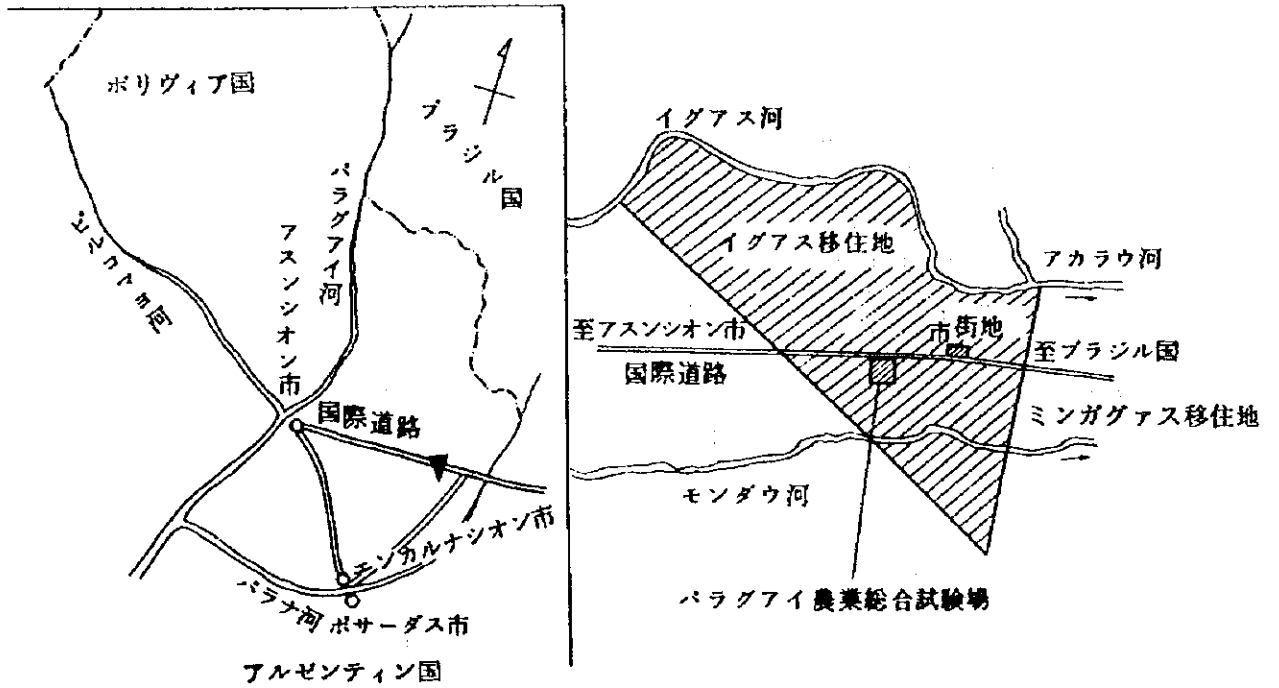
イグアス移住地向け事業団支援事業

事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率	
農業基盤整備	試験農場	昭和37～46年	イグアス試験場	購入貸与 2/3	
		昭和47年	ハラグアイ農業総合試験場		
	営農改善特別対策事業	昭和49～61年		2/3	
		昭和45～48年 昭和61年 昭和61～63年 平成2年	農地開発・整備基盤開発用機械(ブルドーザー、トラクター等) 生産振興必要設備整備 種子貯蔵用サイロ 生産振興必要設備整備 農業機械(ブルドーザー、トラクター、コンバイン等) 生産振興必要設備整備 保冷倉庫		
生活環境整備	道路対策	昭和58年	災害復旧工事	全額 全額 約1/2 2/3	
		昭和62～平成3年 平成4～8年 平成7年	域内道路改修工事 車輛・機械整備計画(6ヵ年計画) モンダウ橋建設		
		昭和48年			
		平成2年	深井戸・高架タンク各1基		
	治安対策	自治体会有林造林事業	昭和55年		全額 2/3
			昭和40年	警察宿舎1棟	
			昭和43年	オートバイ1台	
			昭和47年	警察屯所1棟	
			昭和48年	オートバイ(更新)1台	
			昭和49年	警察屯所・宿舎1棟	
昭和53年	オートバイ(更新)1台				
昭和57年	兵士宿舎1棟				
昭和59年	オートバイ(更新)1台				

事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
生活環境整備	治安対策	昭和63年	警察官宿舎1棟	
		昭和63年	無線装置1式	
		昭和38～49年 昭和50～59年 昭和60～平成3年	診療所、宿舎2棟(看護婦、運転手)、機器、車輛2台 宿舎1棟、診療所増設、深井戸1基、機器、車輛1台、発電機1基 診療所増築、看護婦宿舎、医師宿舎、機器、車輛2台	
医療衛生環境整備	診療施設・設備	昭和44～平成8年	本邦・現地医師派遣、運営費・看護婦給与助成	
		昭和38～39年	教員宿舎1棟	
		昭和41年	小学校校舎1棟、教員宿舎1棟	
		昭和47～48年	教員宿舎1棟、小学校増築	
		昭和55年	中学校校舎1棟、教員宿舎1棟	
		昭和57～58年	教員宿舎2棟	
		昭和60年	中学校増築、教員宿舎1棟	
		昭和62年	教員宿舎1棟	
		平成元年	小学校増築、中学校増築、教員宿舎2棟	
		開発青年、 日系社会青年 ボランティア (派遣年度) 14名	農林水産 (3名) 医療衛生・福祉 (2名) 教育・文化・その他 (9名)	家畜(昭和61、63年)、蔬菜(平成6年) 看護婦(昭和62年、平成2年)、臨床検査技師(平成元年、5年) 日本語教師(昭和63年、平成7、8年)、団体事務(昭和62年、平成5、6年)、土木施工(昭和63年)
移住シニア専門家、 日系社会シニア ボランティア (派遣年度) 2名	日本語教育	平成4、8年	日本語教師(昭和63年、平成7年)、生活改善(平成8年)	
			診療施設・設備	
			医療衛生・福祉	



移住地略図

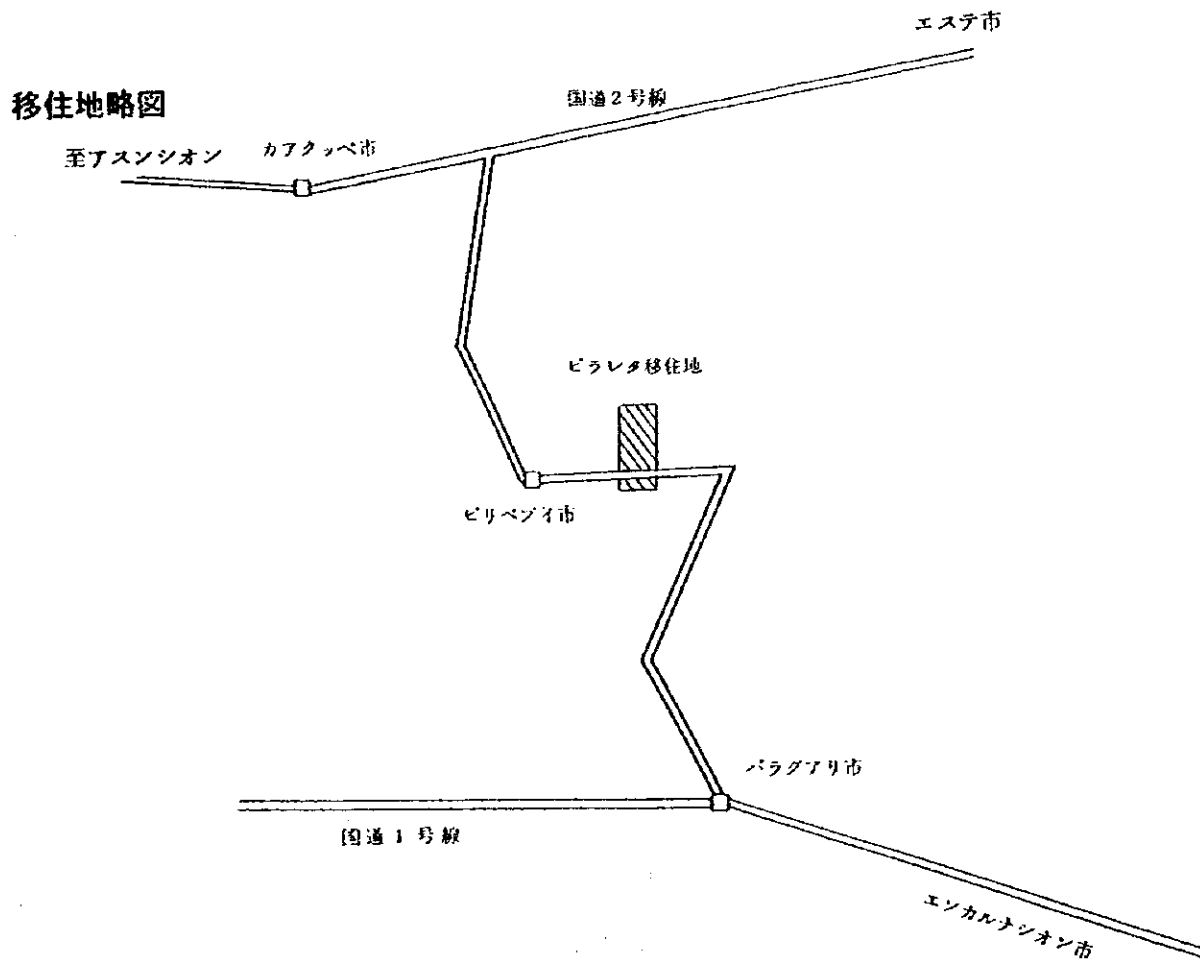


# ピラレタ移住地

所在地	コルディレラ県ピリベブイ郡ピラレタ移住地 Colonia Pirareta, Distrito de Piribebuy, Dto. Cordillera	
面積	全移住地面積 3,246ha. 1区画平均 30ha.	
沿革	1984年3月事業団がアスンシオン近郊そ業農家等の独立用地として、パコ政府既設のピラレタ移住地内に 533ha を購入。1 ロツテ 10～13ha として 45 ロツテを造成し、1984年8月から分譲を開始した。	
自然環境	地形	パラグアイ河の支流テブクアリ川とピリベブイ川の水源をなす標高 250～270m の高原地帯に位置し、全体的になだらかな波状起伏をなしている。移住地の南側はテブクアリ川上流のジャグイ川までの急下傾斜、北側はカアクッベ市まで続く山岳地帯、西側は標高 332m の山岳に区切られ、東側はなだらかな波状丘陵をなす高原地帯に属している。
	地質・土壌	砂、小石の混合した赤色砂質壤土。侵水性良く保水力、通気性に富む。
	植生・林相	急峻な山岳地帯を除き平坦地は大部分が開発されているため、自然林はごく一部残されているにすぎない。岩盤地帯のため自然林には喬木は少ない。
	気候	夏期の最高平均気温 37.5℃、冬期の最低平均気温 0.5℃、年間平均気温 22.5℃ で冬期（5月～9月）には降霜をみることもあり、その頻度は年間 3～5 回程度である。 年間平均降雨量は約 1,600mm、11月～4月は雨量が多く、6月～9月は少ない。 風は全体的に北東風が多く、8月～11月には南東風（寒風）が多いが、南方の山岳に遮られるため被害は少ない。移住地は高台にあり、風当たりが強いいためユーカリの防風林が整備されている。
社会環境	最寄都市（1） （該当するもの■）	名称：ピリベブイ市 距離：8km（うち未舗装 0km） 交通手段：□鉄道■定期バス □不定期バス 所要時間：10分 人口：約 0.7 万人
	最寄都市（2） （該当するもの■）	名称：カアクッベ市 距離：30km（うち未舗装 0km） 交通手段：□鉄道■定期バス □不定期バス 所要時間：45分 人口：約 1.3 万人
	大都市 （該当するもの■）	名称：アスンシオン市 距離：80km（うち未舗装 0km） 交通手段：□鉄道■定期バス □不定期バス 所要時間：1時間 30分 人口：約 70 万人

社 会 環 境	行政インフラ	役 所 (ピリベツイ市) 公証人役場 (ピリベツイ市) 警 察 (ピリベツイ市) 交 通 警 察 (カアクッベ市) 郵便局 (ピリベツイ市) 電 話 局 (ピリベツイ市)
	社会インフラ (該当するもの■)	<p><b>[公共施設]</b>  <input type="checkbox"/>公民館 <input type="checkbox"/>体育館 <input checked="" type="checkbox"/>運動場 <input checked="" type="checkbox"/>その他 (カトリック教会)</p> <p><b>[教育]</b>  <input type="checkbox"/>保育園 <input type="checkbox"/>幼稚園 <input checked="" type="checkbox"/>小 <input type="checkbox"/>中 <input type="checkbox"/>高 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p><b>[日語校]</b>  教師数 人、生徒数 人、教室 (<input type="checkbox"/>専用 <input type="checkbox"/>共用 <input type="checkbox"/>個人宅)  教室数 室、学級 (<input type="checkbox"/>単式 <input type="checkbox"/>複式)</p> <p><b>[保健・医療]</b>  <input checked="" type="checkbox"/>保健所 <input type="checkbox"/>診療所 <input type="checkbox"/>病院 <input type="checkbox"/>薬局 <input type="checkbox"/>検査所  ・医 師：<input type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤  ・看護婦：<input type="checkbox"/>常勤 <input checked="" type="checkbox"/>非常勤  ・その他 ( )</p> <p><b>[警察]</b>  <input checked="" type="checkbox"/>派出所 <input type="checkbox"/>定期巡回 <input type="checkbox"/>不定期 <input type="checkbox"/>その都度</p>
	産業インフラ (該当するもの■)	<p><b>[農業用水]</b>  <input type="checkbox"/>公営灌漑用水 <input type="checkbox"/>域内灌漑用水 <input type="checkbox"/>河川水 <input checked="" type="checkbox"/>地下水 <input checked="" type="checkbox"/>溜池 <input checked="" type="checkbox"/>天水</p>
	生活インフラ (該当するもの■)	<p><b>[移住地内幹線道路]</b>  <input type="checkbox"/>舗装 <input type="checkbox"/>一部舗装 <input type="checkbox"/>砂利舗装 <input checked="" type="checkbox"/>盛土道路 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p><b>[電気]</b>  <input checked="" type="checkbox"/>全戸電化 <input type="checkbox"/>一部電化 <input type="checkbox"/>自家発電 <input type="checkbox"/>なし</p> <p><b>[飲料水]</b>  <input type="checkbox"/>水道 <input checked="" type="checkbox"/>井戸水 <input type="checkbox"/>雨水 <input type="checkbox"/>市販水  (水質：<input checked="" type="checkbox"/>飲用可 <input type="checkbox"/>要煮沸 <input type="checkbox"/>飲用不可)</p> <p><b>[電話]</b>  <input type="checkbox"/>普通電話 <input checked="" type="checkbox"/>携帯電話 <input type="checkbox"/>公衆電話 <input type="checkbox"/>なし</p>
	入植者状況	<p>直接入植者戸数 戸 (うち非居住者 戸)  現地入植者戸数 (日系人) 6戸 (うち非居住者2戸)  (非日系人) 約50戸  *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者</p> <p>農業専業 4戸  農業兼業：(商業) 2戸、(その他) 2戸</p>
農業現況	主たる農業 1戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)	

農 業 現 況	果 樹	杏/スモモ 0.8ha、マンゴ 4ha、レモン 0.7ha
	工芸作物	砂糖キビ 6.6ha
	蔬 菜	トマト 0.3ha、その他葉野菜 0.3ha
	花 卉	観葉植物 0.2ha
	畜 産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 乳牛 3頭
そ の 他	主生産物販売 取扱機関	商社等仲買業者、生産農家自身（小売）
	金 融 機 関	事業団、民間銀行
支 援 事 業	移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。	



団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
ラパス日本人会 ASOCIACIÓN JAPENESA DE LA PAZ	会長 山神良貞 1998年12月まで (2年間)	CASILLA DE CORREO N° 4 ENCARNACIÓN, PARAGUAY 0763-20009 0763-20009 なし	ラパス市及び周辺に 居住する日系人 158名 有 1989年10月 12名、12名	会館467.5m <sup>2</sup> 、野外ス テージ1,055m <sup>2</sup> 、日語校 舎220m <sup>2</sup> 、宿舍(3棟) 220m <sup>2</sup> 、車庫(3棟) 656m <sup>2</sup> 、スクールバス1 台、パトロールカー1 台、單車2台(他道路重 機)	日語校、青年部、婦人 部、敬老会	年1回1月盆踊り、年 1回1月成人式、年1 回6月運動会、年1回 9月敬老会、学習発表 会	
ラパス農業協同組合 COOPERATIVA LA PAZ AGRÍCOLA LIMITADA	組合長理事 小倉正義 1998年2月まで (1年間)	CASILLA DE CORREO N° 4 ENCARNACIÓN, PARAGUAY 0763-20004 0763-20015 lapazcop@itacom.com.py	土地所有25町歩 108名 有 1972年7月 10名、19名	農協サイロ(収納能力 15,800トン)、種子サイ ロ(収納能力1,600ト ン)、購買倉庫(床面積 1,200m <sup>2</sup> )、機械車輛(ブ ルドーザー1台、ト ラック3台、小型車5 台)	販売、購買、サイロ、 ガソリン・ポスト、信 用、営農改善対策	(年1回)6月各農協 対抗ソフトボール大 会、(年1回)9月農協 祭、ソフトボール、 ゲートボール、パーク ゴルフ、(年6回)8月 ～9月農協婦人部によ る婦人学級を開催、 (年5回)9月～10月 農協青年社年大学を開催	機関紙： 農協だより 150部
ラパス日本語学校 ESCUELA IDIOMA JAPONÉS DE LA PAZ	会長 山神良貞 1998年12月まで (2年間)	CASILLA DE CORREO N° 4 ENCARNACIÓN, PARAGUAY 0763-20009 0763-20009 なし	無 5名、9名			小学校 火、金曜日 中学校 土曜日	機関紙： あけぼの 80部

団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
社団法人ピラポ日本人会 ASOCIACIÓN JAPONESA DE PIRAPO	会長 下副田健 1999年2月まで(2 年間)	CASILLA DE CORREO Nº 133 ENCARNACIÓN, PARAGUAY 0768-223/371 0768-371 なし	家長 254名 有 1978年12月 11名、21名	事務所、公民館、相撲 場、運動場、診療所	日語校、青年部、婦人 部、運動部(体育連 盟)、大鼓保存会、鬼剣 舞保存会、寿春会、治 安委員会、警察協力会	成人式、入植祭、敬老 会	機関誌： 日本人会だより 270部
ピラポ農業協同組合 SOCIEDAD COOPERATIVA PIRAPO AGRÍCOLA LIMITADA	理事長 小野寺憲一 1997年12月まで	CASILLA DE CORREO Nº 64 ENCARNACIÓN, PARAGUAY 0768-214/220 0768-210 Pirapo@mail.itacom.com.py	123名 有 1961年10月 10名、26名	事務所、生産資材店舗 倉庫、大型車庫、独身者 宿舍、給油所、商業用サ イロ、種子用サイロ、種 子用倉庫、購買倉庫			
ピラポ中央日本語学校 ESCUELA JAPONESA DE PIRAPO CENNTRO	校長 沢口吉治		無 3名、9名	教室、職員室、運動場		入学式、運動会、卒業 式、遠足、作文発表会、 体育祭、修学旅行	機関誌： ピラポだより 150部
富美村日本語学校 ESCUELA JAPONESA DE KM 13	校長 工藤悦子		無 3名、9名	教室、職員室、運動場		入学式、遠足、運動会、 体育祭、修学旅行、卒 業式	
社団法人イグアス日本人会 ASOCIACIÓN JAPONESA DE YGUAZU	会長 伊藤鷹雄 1998年2月まで(1 年間)	DISTRITO YGUAZU KM41 ALTO PARANA PARAGUAYま たはC.P.153 FOZ DO IGUAÇU. EST. PARANÁ, BRASIL 0632-20243,20468 0632-20243 なし	会費納入者 178名 有 1980年12月 12名、41名	日語学校、診療所、採石 場、本部事務局	日語校、婦人部、老人 会、運動部各種	成人式、紅白歌合戦、 入植慰霊祭、大運動 会、敬老会、カラオケ 大会、地区対抗各種ス ポーツ大会、もちつき 大会、学校関係各種行 事	機関誌： イグアス日本人 会だより 230部

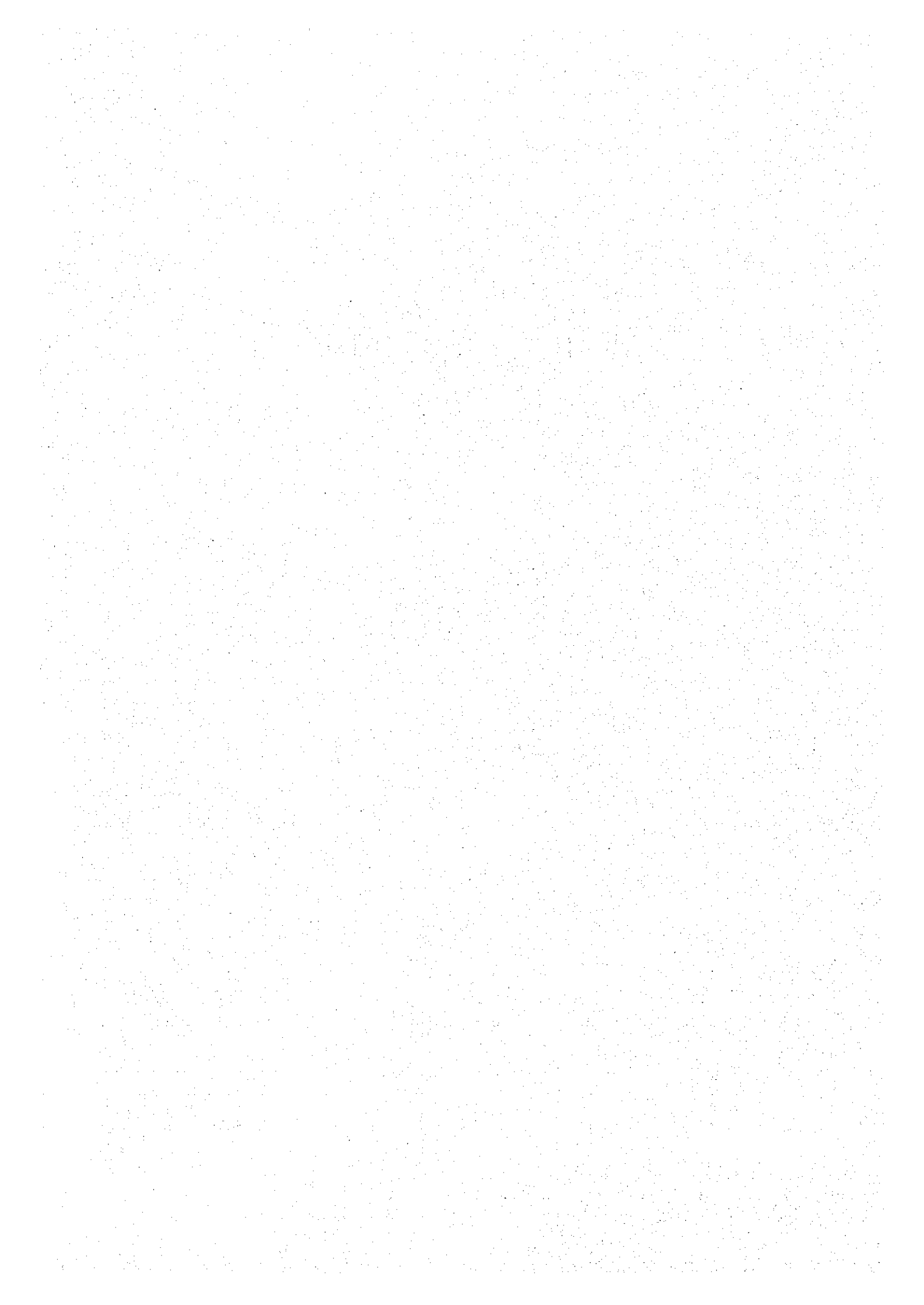
団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
イグアス日本語学校 日本語高等学校 ESCUELA IDIOMA JAPONESA DE YGUAZU	会長 伊藤鷹雄 1998年2月(1年間)	DISTRITO YGUAZU KM41 ALTO PARANA PARAGUAYま たはC.P. 153 FOZ DO IGUAÇU, EST. PARANÁ, BRASIL 0632-20243,20468 0632-20243					
イグアス農業協同組合 COOPERATIVA YGUAZU AGRÍCOLA LTD A	理事長 久保田洋史 1998年2月まで(1 年間)	DISTRITO YGUAZU KM41 RUTA 7 DEPTO ALTO- PARANÁ, PARAGUAY 0632-20-245/254 0632-20-479 coop.yg@foznet.com.br	81名 有 1965年6月 12名、22名		購買、サイロ、ガンリ ン・ポスト、その他 (製粉工場建設中)	生産物販売、生産資材 提供、購買ほか	機関誌： 組合だより 160部
パラグアイ日本人会連合会 FEDERACIÓN ASOCIACIÓN JAPONESA EN EL PARAGUAY	会長 豊成道之 1998年12月まで (2年間)	JULIO CORREA Y DOMINGO PORTILLO (VILLA-GUARANI) 021-607276 021-609328 なし	パ国内組織の日本人 会文化協会 9団体、1150名 有 1972年7月 10名、5名		アスンシオン、エンカ ルナシオン、イグア ス、シウダウデ・エス テ、ピラボ、ラバス日 本人会、ラ・コルメナ 文化協会、チャベス日 会	通常総会3月、理事 会、作文コンクール8 月、お話し大会9月	

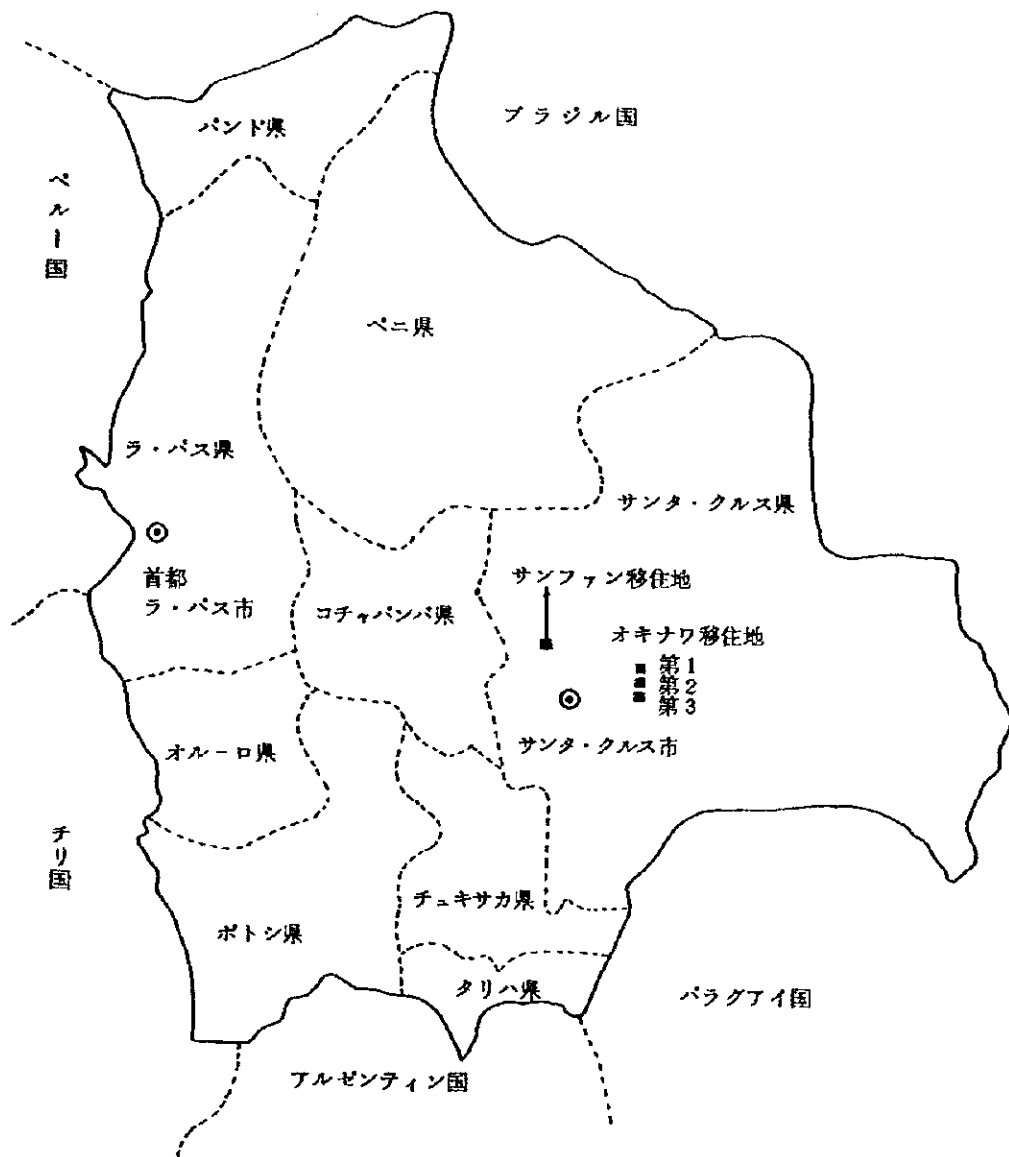
団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
日系農業協同組合中央会 CENTRAL COOPERATIVA NIKKEI AGRÍCOLA L.T.D.A.	会長 久保田洋史 1998年3月まで(1 年間)	MCAL LOPEZ Y 2ª PROYECTADA, FDO. DE LA MORA, PARAGUAY (021) 509525 (021) 509527 なし	協同組合総局によっ て正式に認可 6単協 有 1980年9月 10名、45名	事務所、販売所	ビラボ農協、ラパス農 協、イグアス農協、ア マンバイ農協、ラ・コ ルメナ農協、アスンセ ナ農協	年中行事(通常総会、 役員会議、業務監査、 親睦ソフトボール大 会) 活動内容(信用事業-- 預貯金の取扱、借入、 貸付業務。農産物取扱 業務--野菜、果樹、農 業資材の協同購入。加 盟農協の代行業務--農 業資金の借入手続き、 農業生産資材輸入手続 き、農産物販売代金の 回収)	





# ボリヴィア共和国





## 1. 移住先国別データ

### (1) 基礎指標

正式国名	ボリヴィア共和国
首都	ラ・パス
面積	1,098,581km <sup>2</sup>
人口	7,410,000人 (95年国連)
独立年月日	1825年8月6日
政体	立憲共和国
宗教	カトリック
言語	スペイン語 (他にケチュア語、アイマラ語)
民族・人種構成	原住民55%、混血系32%、白人等13%

### (2) 経済指標

年 度	1993	1994	1995
GNP (世銀・百万ドル)	5,472	5,601	N.A.
一人当たりGNP (世銀・ドル)	760	770	N.A.
GDP成長率 (国連・%)	4.2	4.8	3.7
インフレ率 (国連・%)	9.3	8.5	12.6
失業率 (国連・%)	5.8	3.1	3.6
対外債務残高 (IMF・百万ドル)	4,220	4,749	N.A.
経常収支 (IMF・百万ドル)	▲506	▲218	N.A.
通貨・交換レート (IMF・ボリヴィアーノ)	4.475	4.695	4.935
輸出 (IMF・百万ドル)	804	1,123	1,181
輸入 (IMF・百万ドル)	1,205	1,207	1,424
商品別貿易実績 (94年中銀・百万ドル)	(輸出) 宝飾品142、金120、亜鉛105、大豆99、天然ガス92、 すず91、木材82、銀63 (輸入) 中間財489、資本財424、消費財281		

(出典：1997年度版中南米諸国便覧 (外務省中南米局監修) p.68～p.69. 社団法人ラテンアメリカ協会)

## 2. ボリヴィアへの日本人移住の歴史

明治31年の第1回ペルー移住者が耕主側の契約不履行、意思疎通困難などから脱出騒ぎとなり、このうちの移住者91人が、サン・アントニオのゴム園に就労のため明治32年（1899年）9月ボリヴィアへ再移住したことがボリヴィア邦人移住の始まりとされる。この移住も結局は成功せず同国残留者は2人を数えるのみとなった。明治30年代の終りになるとペルー在住の日本人の中からマードレ・デ・ディオス河を下ってリベラルタ地域のゴム採取労働従事のためボリヴィアへ転住する邦人が増えてきた。

日本から直接ボリヴィアへの最初の移住者は、外務省の「移住統計」（昭和39年7月刊）によれば1916年である。戦前の移住者の大部分はペルーからの再移住者であり、日本からは自由呼寄せ移住者でその数は僅かなものであった。また、ほとんどの移住者は独身男性でボリヴィアの女性と家庭を持ってボリヴィア社会に同化するようになった。

野生ゴム採取事業がマレー半島その他の栽植ゴムに取って代わられるようになると、日本人はラ・パス、コチャバンバ、トリニダ等に広がり農業、雑貨輸入販売商、理髪店、飲食店等に転業する者も多くなった。1932～1935年のパラグアイとのチャコ戦争などで経済力を大きく延ばす邦人も多かった。また、蓄えた資金を持って日本に帰国したり、ブラジル、アルゼンティン、ペルー等へ転住した者もあった。国土は広くとも人口・経済規模は小さく、さらに海岸線を持たないため輸送コストが高く、ボリヴィアの移住者受入れ国としての限界から日本人移住者は終始500～600人程度であった。（第1次大戦で一時的に復活したゴム景気もすぐに衰微した結果、1918年の833人をピークに漸減している）。

日本と連合国との間で太平洋戦争が開始された翌年早々の1942年1月、ボリヴィアは日本と国交を断絶し、同年4月枢軸国に対し宣戦布告を行ったが、連合国側に協力し枢軸国の主要人物の監視、弾圧、また資金凍結令を出して日本人の商業活動を妨害した。さらに29人の日本人が北米に連行・抑留された。

戦後のボリヴィア移住は、外務省旅券発給統計によれば昭和26年の3名を嚆矢とするが、移住史上では昭和27年の「うるま」移住第1陣の269名となっている。引き続き、サン・ファン移住の先駆けとしての「西川移民」が昭和30年に入植し、両移住地を中心とするボリヴィア移住が開始された。両移住地とも土地はボリヴィア政府の所有地の払下げで、この点では日本側の直営移住地ではないが、サン・ファン移住地についてはサンタ・クルス農業開発協同組合からオキナワ移住地については「うるま」移住組合を経て琉球政府ボリヴィア駐在事務所から日本海外協会連合会（事業団の前身）が管理を引き継ぎ、受入れ援護事業を行ってきた。

なお、昭和31年8月、日ボ両国政府は移住協定を締結し、5ヵ年間に1,000家族または6,000人の受入れが認められ、この協定期間は延長されてきている。

## ボリヴィア在留邦人及び日系人数統計

総数 (1+2)			1. 長期滞在者			2. 永住者			3. 日系人推定数 (注1)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1,330	1,358	2,688	133	104	237	1,197	1,254	2,451			6,700

出典：平成9年版海外在留邦人数調査統計（平成8年10月1日現在）

(注1) 日系人推定数は永住者+2世以降の日系人で、各種統計等より推定。(平成10年1月、外務省領事移住部)

# サンファン移住地

所在地	サンタ・クルス県イチロ郡サン・カルロス村 Colonia San Juan de Yapacani, Canton San Carlos, Provincia Ichilo, Departamento Santa Cruz (W63°51'S17°21')	
面積	全移住地面積 27,132ha. 1 区画平均 50ha.	
沿革	<p>1953年8月、ボリヴィア国政府は、在ペルー日本公使館(当時ボリヴィア兼務)に対し、日本人移住者受入歓迎を表明した。これを受け、日本政府は翌1954年1月、先方政府の意向確認及び現地状況調査のため調査団を派遣した。ボリヴィア政府はこの調査団に対し「日本人移住者の歓迎、入植土地選択の自由、移住者に対する援助」を約束した。調査団は在留邦人有志の助言もあり、入植候補地としてサンタ・クルス県サンファンを選定した。</p> <p>一方、1954年8月ジャワで製糖事業の経験を持つ西川利通氏(神奈川県出身)が外務省の指導を受け現地を視察し、製糖事業を企画、サンタ・クルス市にサンタ・クルス農業開発協同組合を設立するとともに事業地としてサンファンを選定、ボリヴィア政府に対し、土地の払い下げ申請を行った。翌年7月、海協連が募集した14家族(85名)及び単身(3名)計88名が初めてサンファン移住地に入植する。この移住者を通称「西川移民」または、その後の計画移住に対し「第0次移民」と呼んでいる。</p> <p>1956年12月サンタ・クルス農業開発協同組合が解散し、新たにボリヴィア移住促進組合が創設され、移住者受入業務を実施するため海協連職員が派遣されその業務に当たることとなった。翌年6月21日各都道府県海外協会を通じて全国公募した計画移住者第1次25家族159名が入植した。以来、1992年2月最終入植までに、53次に亘り299家族(1,625名)及び単身(51名)計1,676名が入植した。入植初期の段階には、立地条件不良等々の理由もあり、多くの転耕者があり、これらの多くが伯国、亜国へ転住したが、現在は、大型機械化で夏作は陸稲栽培、冬作大豆栽培が盛んの他永年作として柑橘類、マカダミヤナッツが増えている。現在230家族(753名)が定住している。</p>	
自然環境	地形	大部分は平坦で小川により浅谷がほぼ南から北に走っている。 標高 240 ~ 300m。平均勾配 1 / 800。(陸軍地理局 = I.G.M.)
	地質・土壌	ヤパカニ河、スルツ河の沖積層台地で砂土～粘土が混交、pH5.0～6.5 (サンファン試験場分析)
	植生・林相	ビボシ、オチヨオ、マホガニ、アルメンドリーリョ、タヒーボ、パロマリヤ、クルパウ、ゲツケイロ等の高木熱帯樹木が繁茂し、直径30cm以上のものが1 ha 当たり 220 ~ 250 本程度、樹高平均 25m。
	気候	雨期 11 ~ 4 月、乾期 5 ~ 10 月、平均気温 24.1℃、最高平均 29℃、最低平均 18.7℃、年間降雨量平均 1,895.3mm (1960 ~ 1996 年の 37ヶ年平均)、年間最高 1981 年 3,264.1mm、年間最低 1988 年 1,015.9mm、月間最高 1981 年 6 月 601.6mm、月間最低 1988 年 8 月 0mm、日降水最高 275mm (1981 年 5 月 25 日)



社 会 環 境	最寄都市(1) (該当するもの■)	名称：サンタ・クルス市 距離・138km (うち未舗装14km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス ■不定期バス 所要時間：4時間 人口：約90万人
	最寄都市(2) (該当するもの■)	名称：モンテローロ市 距離：84km (うち未舗装14km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス ■不定期バス 所要時間：3時間0分 人口：約12万人
	大都市 (該当するもの■)	名称：ラ・パス市 距離：940km (うち未舗装14km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：24時間 人口：約120万人
	行政インフラ	役所 (プエナビスタ) 公証人役場 (プエナビスタ) 警察 (ビーリャ・ブッシュ) 交通警察 (ビーリャ・ブッシュ) 郵便局 (日本協会) 電話局 (地区内)
	社会インフラ (該当するもの■)	【公共施設】 ■公民館 ■体育館 ■運動場 ■その他 (ミニフットボール) 【教育】 <input type="checkbox"/> 保育園 ■幼稚園 ■小 ■中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 【日語校】 教師数 人、生徒数 人、教室 ( <input type="checkbox"/> 専用 ■共用 <input type="checkbox"/> 個人宅) 教室数 室、学級 ( <input type="checkbox"/> 単式 <input type="checkbox"/> 複式) 【保健・医療】 <input type="checkbox"/> 保健所 ■診療所 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 薬局 ■検査所 ・医師：■常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 ・看護婦：■常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 ・その他 (検査技師) 【警察】 ■派出所 <input type="checkbox"/> 定期巡回 <input type="checkbox"/> 不定期 <input type="checkbox"/> その都度
	産業インフラ (該当するもの■)	【農業用水】 <input type="checkbox"/> 公営灌漑用水 <input type="checkbox"/> 域内灌漑用水 <input type="checkbox"/> 河川水 <input type="checkbox"/> 地下水 <input type="checkbox"/> 溜池 ■天水
	生活インフラ (該当するもの■)	【移住地内幹線道路】 <input type="checkbox"/> 舗装 <input type="checkbox"/> 一部舗装 ■砂利舗装 <input type="checkbox"/> 盛土道路 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 【電気】 ■全戸電化 <input type="checkbox"/> 一部電化 ■自家発電 <input type="checkbox"/> なし 【飲料水】 ■水道 ■井戸水 <input type="checkbox"/> 雨水 <input type="checkbox"/> 市販水 (水質： ■飲用可 ■要煮沸 <input type="checkbox"/> 飲用不可) 【電話】 ■普通電話 ■携帯電話 ■公衆電話 <input type="checkbox"/> なし

入植者状況	入植者戸数	直接入植者戸数 299戸（うち非居住者2戸） 現地入植者戸数（日系人）14戸（うち非居住者100戸） （非日系人）500戸 *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者
	日系人入植者	農業専業：143戸 農業兼業：（加工業）2戸、（修理業）2戸、（商業）4戸、（サービス業）2戸、（被雇用者）6戸、修理業：2戸、商業：10戸、サービス業：4戸
農業現況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積（単位：ha）
	雑穀	稲（水稲、陸稲）104ha、大豆104ha、ソルガム1.8ha、とうもろこし0.5ha
	果樹	柑橘（オレンジ/みかん）9ha、マンゴ0.1ha、マカダミヤナッツ3.4ha
	畜産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 養鶏（鶏卵）8250羽、養豚0.9頭、肉牛46頭
その他	主生産物販売取扱機関	農業協同組合、商社等仲買業者、生産農家自身（小売）
	金融機関	事業団、農業協同組合、民間銀行、商社
支援事業	主な支援事業は164～166頁参照。その他に、移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。	

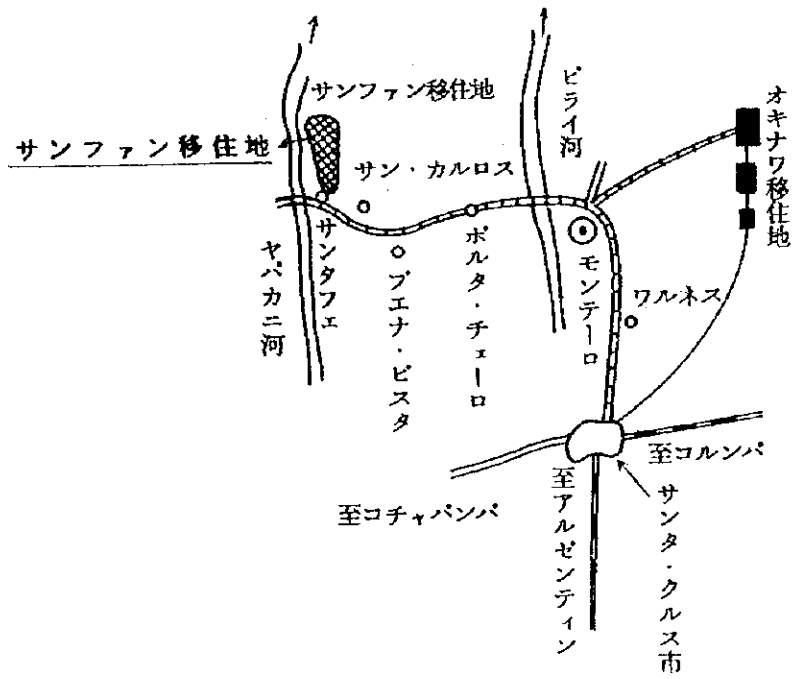
サンファン移住地向け事業団支援事業

事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
農業基盤整備	試験農場	昭和38～59年	サンファン試験農場	
	本邦農業専門家派遣事業	昭和52～60年		
	営農改善特別対策事業	昭和41～42年	生産振興必要設備整備 農業機械（トラクター等）	購入費与
		昭和57年	生産振興必要設備整備 種子貯蔵サイロ	2/3
生活環境整備	道路対策	昭和59～60年	生産振興必要設備整備 鶏病センター	2/3～全額
		昭和63年	生産振興必要設備整備 鶏卵種鶏場	1/2～全額
		昭和38～43年	地区外道路補修工事	全額
		昭和46～49年	排水溝浚渫工事	全額
	昭和50～54年	域内幹線道路工事	全額	
	昭和55～57年	域内準幹線道路補修工事、域内準幹線道路補修工事用機械	全額	
	平成元年	道路工事用機械（ブルドーザー）	全額	
	平成2～3年	水害対策	全額	
	平成4～8年	車輛・機械整備計画（6カ年計画）	全額	
	平成5～8年	水害対策	全額	
	電化対策	昭和49年	打込井戸（141基）	2/3
	飲料水対策	昭和55～57年	日水交流会館	2/3
公民館建設	平成7年	市街地排水（御溝・河口・暗渠）	2/3	
下水道等対策	昭和58～60年	市街地排水管理用機械設備	1/2	
	昭和63年	治安事務所1棟	全額	
	昭和40年	オートバイ2台	全額	
	昭和41年	治安事務所1棟（26km）	全額	
治安対策	昭和42年	オートバイ（更新）2台	全額	
	昭和50年		全額	

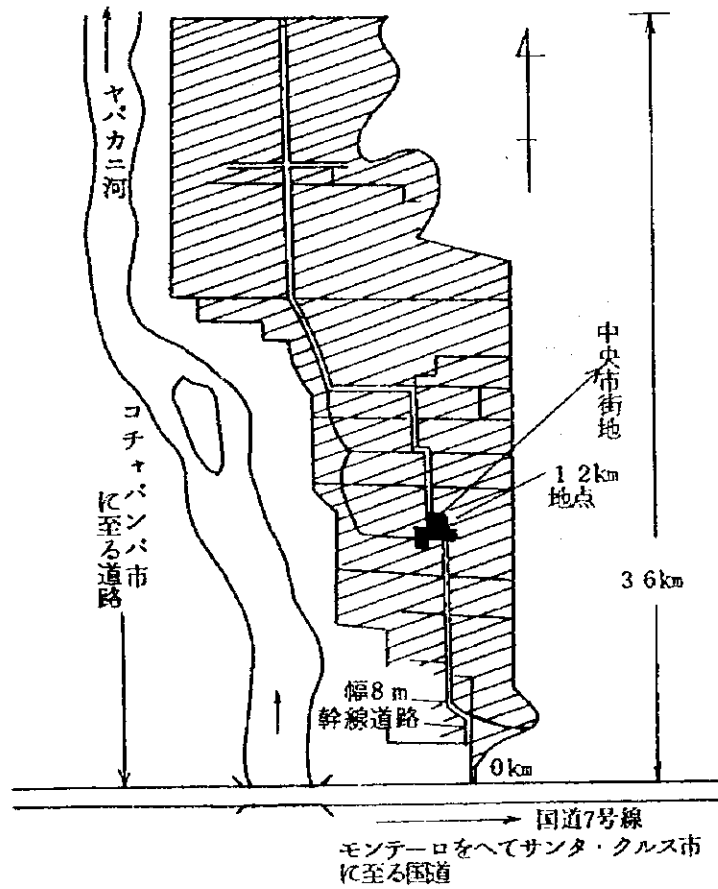
事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
生活環境整備	治安対策	昭和53年	オートバイ(更新)2台	全額
		昭和58年	警官宿舎1棟	全額
		昭和59年	警官宿舎1棟	全額
		昭和60年	オートバイ(更新)2台	全額
医療衛生環境整備	診療施設・設備	昭和36年	診療所1棟、診療所病棟1棟	全額
		昭和39年	医師宿舎1棟、看護婦宿舎1棟、水槽	全額
		昭和43～53年	手術・準備室、機器	全額
		昭和54年	医師宿舎1棟、機器	全額
		昭和55～57年	看護婦宿舎1棟、機器	全額
		昭和58～59年	隔離病棟1棟、分娩室、機器	全額
		平成2年	救急車1台(更新)、機器	全額
		平成4～7年	診療所増築、機器	全額
		平成7～8年	救急車1台(更新)、機器	全額
		昭和38～平成9年	本邦・現地医師派遣、運営費・看護婦給与助成	全額
		教育環境整備	診療所運営助成 移住地内教育施設・設備	昭和38年
昭和39年	小学校校舎1棟			全額
昭和43年	教員宿舎			全額
昭和44年	小学校校舎1棟			全額
昭和47年	スクールバス1台			全額
昭和49年	スクールバス1台			全額
昭和51年	小・中学校校舎1棟			全額
昭和54年	教員宿舎1棟			全額
昭和55年	教員宿舎1棟			全額
昭和58年	教員宿舎1棟			全額
昭和59年	教員宿舎1棟			全額
昭和62年	特別教室			全額

事業名	項目	事業年度	事業内容
開発青年、 日系社会青年 ボランティア (派遣年度) 21名	農林水産	(6名)	稲作(昭和61年)、農業機械(昭和62年)、果樹(平成2年〔2名〕)、食肉加工(平成4年)、醸造技術者(平成6年)
	医療衛生・福祉 教育・文化・その他	(4名) (11名)	看護婦(昭和60年、平成元年、5年、8年) 幼稚園教師(昭和60年、平成9年)、日本語教師(昭和60、63年、平成元、3、5、8年)、 団体系務(平成7年)、電気(平成4年)、コンピューター(平成6年)
移住シニア専門家、 日系社会シニア ボランティア (派遣年度) 4名	日本語教育	(3名)	(平成5、7、9年)
	医療衛生・福祉	(1名)	(平成5年)

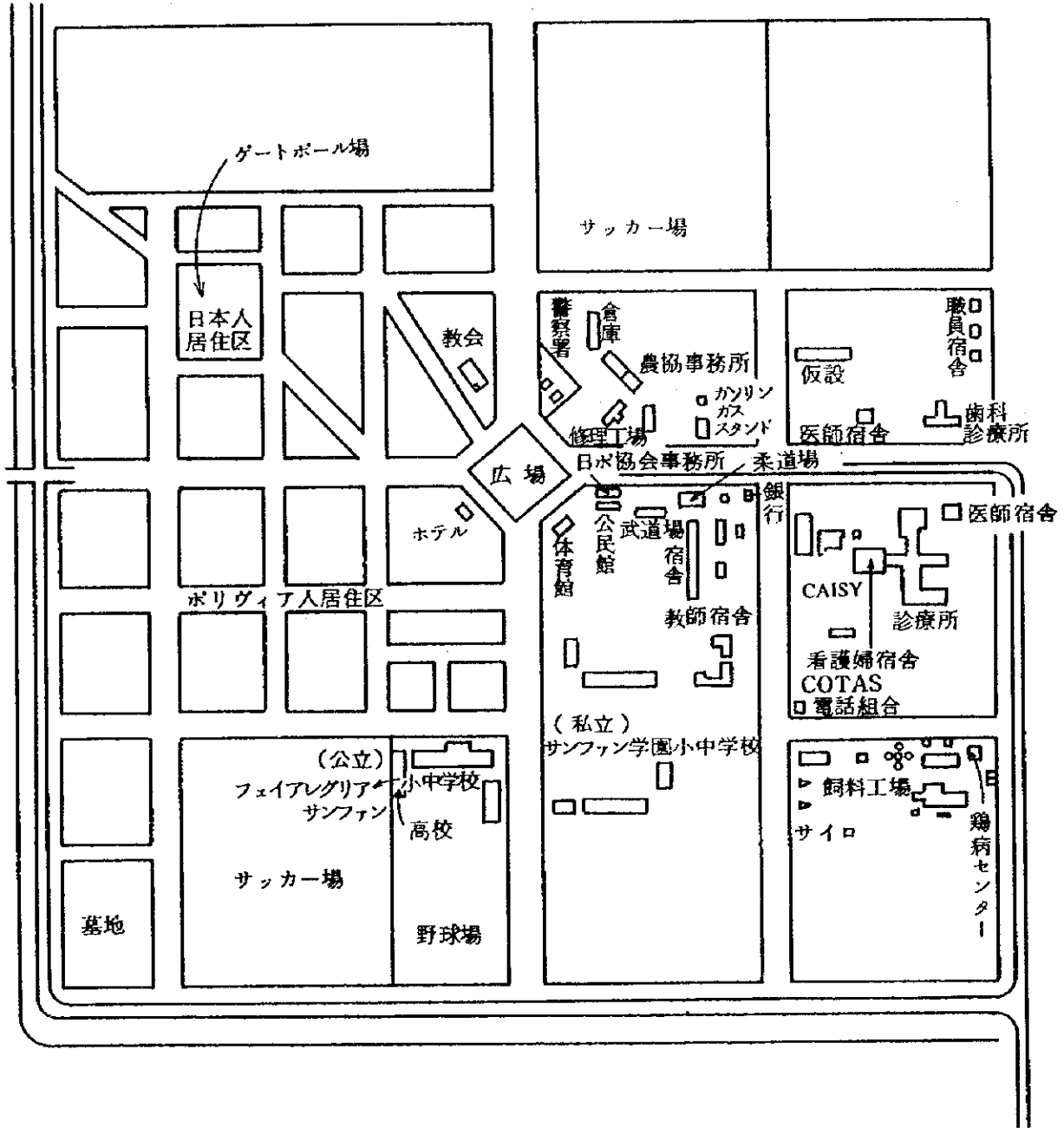
移住地略図



サンファン移住地略図



サンファン中央市街地略図



## オキナワ移住地 (第1、第2、第3)

所在地	<p>オキナワ第1：サンタ・クルス県ワルネス郡ロス・チャコス村 Canton Los Chacos, Provincia Warnes, Departamento Santa Cruz</p> <p>オキナワ第2：サンタ・クルス県ワルネス郡トコメチ村 Canton Tocomechi, Provincia Warnes, Departamento Santa Cruz</p> <p>オキナワ第3：サンタ・クルス県ワルネス郡トコメチ村 Canton Tocomechi, Provincia Warnes, Departamento Santa Cruz</p>	
面積	<p>全移住地面積46,890ha。オキナワ第1：21,800ha、オキナワ第2：16,744ha、オキナワ第3：8,346ha 1区画平均50ha。</p>	
沿革	<p>1953年、ボリヴィア国リベラルタ市の沖縄出身在留邦人は、「古今未曾有の大戦争の激戦地になった沖縄の同胞を援護することは人道上の必然的義務である」という趣旨のもとに沖縄県人のボリヴィア移住促進計画を策定、「うるま農産組合」を結成して、ボ国政府に働きかけ、1954年サンタ・クルス県に国有地の私下げを受け、移住地を創設したのが「うるま植民地」である。琉球政府より調査員を派遣、ボ国政府と交渉し移住地の調査を実施した結果、移住開始が確定した。この「うるま植民地」には、1954年8月第1次278名、同年9月第2次127名が入植したが、間もなく病名不明の熱病が流行し犠牲者も出たため、地区の移転を計画し、ボ国政府と折衝し、1955年同県のパロメティーリャへ全員移転した。三転して1955年現在地に移転を開始、翌年9月移転を完了した。</p> <p>オキナワ第1：1956年第5次移住者までが入植する。1957年8月、最初の団体地権15,000haが交付されて、第1移住地の基礎が確立する。</p> <p>オキナワ第2：1957年9月、オキナワ第1移住地の南方約22kmのワボモーというところの土地の払い下げ申請を行い、1959年に確保し、第6次以降第13次移住者までが入植する。</p> <p>オキナワ第3：1961年9月、オキナワ第2次移住地の南方約16kmからはじまる土地の払い下げ申請を行い、1962年4月第14次移住者から入植している。</p> <p>第1次入植以降、1985年3月入植の第49次までに583家族(3,236名)及び単身145名計3,381名が入植したが転耕者も多く出ている。</p> <p>1959年1月、琉球政府の「ボリヴィア移住地駐在事務所」が開設され、また1963年6月「琉球海外移住公社ボリヴィア出張所」が開設された。この移住地は、従来琉球政府が経営主体となり指導、援護を行っていたが、1967年7月沖縄県の祖国復帰に先駆けて事業団に移管し、今日に至っている。入植定住者は現在214戸である。</p> <p>当初の営農は陸稲が中心であったが作付面積は減少し、最近は大豆が主作で他に小麦、トウモロコシ、ソルゴ等の雑作栽培のほか乳牛、肉牛飼育、養鶏、養豚である。</p>	
自然環境	地形	<p>アマゾン河の一流流リオ・グランデの沖積土壌の平坦な地形で、移住地の南西(第3移住地)より北(第1移住地)に向かって1/300～1/2000の傾斜を持っている。移住地内には、パイロン河水系の小河川があるが、雨期のみ流水し、乾期は枯渇している場合が多い。</p>



自 然 環 境	地質・土壌	リオ・グランデ沖積層土壌で埴土、埴壤土、壤土、砂壤土からなり、中性～弱酸性土壌である。
	植生・林相	オキナワ第1：北部は、樹高20～30mのアホー、サバイモーション、ブランキリヨ、モタクー、オチヨオ、南部は、クーチ、クルパウなどの闊葉樹に大別される。浸水地帯の再生林では、二次的にサウセ等が密生している。 オキナワ第2：一般にブランキリヨ、サバイモーション、コモモシ、パーロサント、カリカリが多く樹高20～25mであるが、低湿地帯では矮小化しており、樹高10～15mと低い。草はクラバター（野生パイナップル）、ウンギーリヨ（ガマの木）等が多い。一般地には、森林地に多肉植物、再生林にイネ科、ナス科植物が多く植生している。 オキナワ第3：クルパウ、タヒーボ、モラーウ、クータ、クセー、イチトリキ、ワヤカン、ブランキリヨが多く樹高20～30m。低湿地または湿地には草性ガラバター、アロシーリヨが目立つ。なお、原生林は開発により全体の10%で大樹は少なくなってきた。
	気候	雨期10月～4月、乾期5月～9月年平均気温23.9℃前後であり、過去の最高月平均気温は29.8℃、最低月平均気温は18.1℃、雨期は高温多湿、乾期は比較的気温は低く乾燥しており、降雨量は584～2,129mmと年による変動が大きい。年間平均すると1,251.3mm（20年間）程度であるが、降雨の時期は10月～4月に集中するが、乾期（5月～9月）でも集中豪雨が発生する場合がある。降雨量は月間0～200mm程度である。
	社 会 環 境	最寄都市（1） （該当するもの■）
最寄都市（2） （該当するもの■）		名称：市 距離： km（うち未舗装 km） 交通手段：□鉄道□定期バス □不定期バス 所要時間： 時間 分 人口：約 万人
大都市 （該当するもの■）		名称：サンタ・クルス市 距離：100km（うち未舗装5km） 交通手段：□鉄道□不定期バス ■乗合タクシー 所要時間：2時間 分 人口：約90万人
行政インフラ		役所（オキナワ移住地） 公証人役場（サンタクルス市） 警察（オキナワ移住地） 交通警察（モンテローロ市） 郵便局（モンテローロ市） 電話局（オキナワ移住地）

社 会 環 境	社会インフラ (該当するもの■)	<p>[公共施設]  <input checked="" type="checkbox"/>公民館   <input checked="" type="checkbox"/>体育館   <input checked="" type="checkbox"/>運動場   <input checked="" type="checkbox"/>その他(文化会館)</p> <p>[教育]  <input type="checkbox"/>保育園   <input checked="" type="checkbox"/>幼稚園   <input checked="" type="checkbox"/>小   <input type="checkbox"/>中   <input checked="" type="checkbox"/>高   <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p>[日語校]  教師数17人、生徒数112人、教室(<input type="checkbox"/>専用 <input type="checkbox"/>共用 <input type="checkbox"/>個人宅)  教室数20室、学級(<input checked="" type="checkbox"/>単式 <input type="checkbox"/>複式)</p> <p>[保健・医療]  <input type="checkbox"/>保健所   <input checked="" type="checkbox"/>診療所   <input type="checkbox"/>病院   <input checked="" type="checkbox"/>薬局   <input checked="" type="checkbox"/>検査所  ・医師：<input checked="" type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤  ・看護婦：<input checked="" type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤  ・その他(臨床検査技師、薬剤師)</p> <p>[警察]  <input checked="" type="checkbox"/>派出所   <input type="checkbox"/>定期巡回   <input type="checkbox"/>不定期   <input type="checkbox"/>その都度</p>
	産業インフラ (該当するもの■)	<p>[農業用水]  <input type="checkbox"/>公営灌漑用水   <input checked="" type="checkbox"/>域内灌漑用水   <input checked="" type="checkbox"/>河川水   <input type="checkbox"/>地下水   <input type="checkbox"/>溜池   <input type="checkbox"/>天水</p>
	生活インフラ (該当するもの■)	<p>[移住地内幹線道路]  <input type="checkbox"/>舗装   <input type="checkbox"/>一部舗装   <input checked="" type="checkbox"/>砂利舗装   <input type="checkbox"/>盛土道路   <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p>[電気]  <input checked="" type="checkbox"/>全戸電化   <input type="checkbox"/>一部電化   <input type="checkbox"/>自家発電   <input type="checkbox"/>なし</p> <p>[飲料水]  <input checked="" type="checkbox"/>水道   <input type="checkbox"/>井戸水   <input type="checkbox"/>雨水   <input type="checkbox"/>市販水  (水質：<input checked="" type="checkbox"/>飲用可   <input type="checkbox"/>要煮沸   <input type="checkbox"/>飲用不可)</p> <p>[電話]  <input checked="" type="checkbox"/>普通電話   <input checked="" type="checkbox"/>携帯電話   <input checked="" type="checkbox"/>公衆電話   <input type="checkbox"/>なし</p>
入 植 者 状 況	入植者戸数	直接入植者戸数 214戸(うち非居住者6戸) 現地入植者戸数(日系人) 戸(うち非居住者戸) (非日系人) 戸 *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者
	日系人入植者	農業専業： 176戸 農業兼業(修理業) 2戸、(商業) 13戸、(サービス業) 4戸、被雇用者19戸
農 業 現 況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積(単位：ha)
	雑穀	稲(水稻、陸稲) 9.3ha、小麦46.7ha、大豆126ha、とうもろこし14ha、ヒマワリ9.3ha

農業現況	畜産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 養鶏（鶏卵）70羽、養豚24頭、肉牛（乳牛含む）40頭
その他	主生産物販売 取扱機関	農業協同組合
	金融機関	農業協同組合
支援事業	主な支援事業は173～175頁参照。その他に、移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。	

### オキナワ移住地向け事業団支援事業

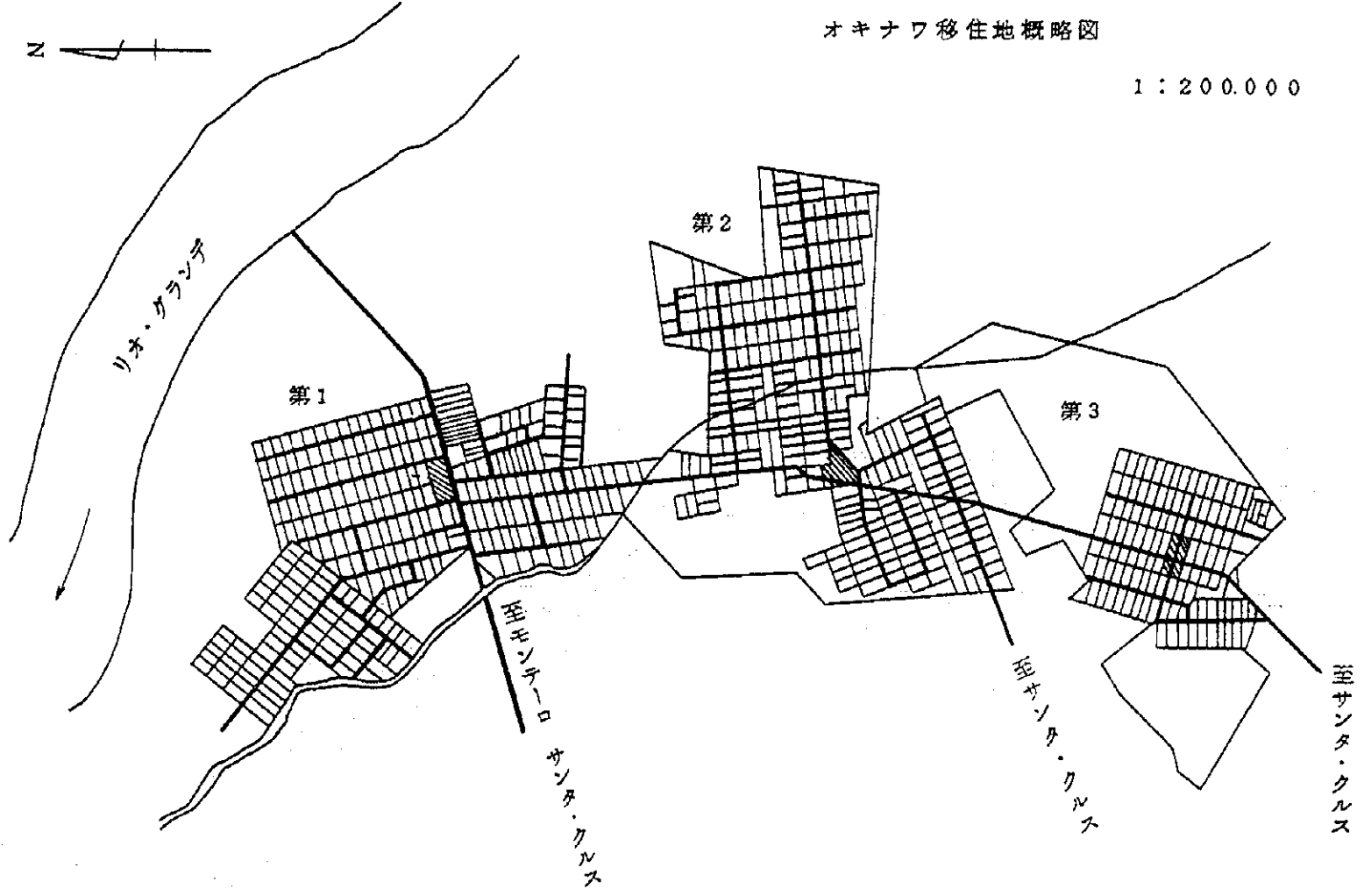
事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
農業基盤整備	試験農場	昭和45年	畜産センター	
		昭和46～60年 昭和61～平成2年 平成2～8年	ヌエバ・エスヘランサ畜産試験農場 ポリヴィア畜産総合試験農場 ポリヴィア農業総合試験農場	
	本邦農業専門家派遣事業	昭和52～平成8年		
農業改善特別対策事業		昭和49～50年	農地開発、設備促進、開発用機材（ブルドーザー、ロームブラウ等）	購入貸与 全額
		昭和52年	農業用水整備、深井戸掘削（1基）	
		昭和52～54年	産品開発必要整備装備 綿収穫機（4台）、操綿前処理機	購入貸与 2/3
		昭和58年	生産振興必要整備装備 種子貯蔵サイロ	2/3
		昭和62年	生産振興必要整備装備 家畜診療所	2/3
生活環境整備	道路対策	昭和44～49年	域内道路補修工事、域内道路工専用機械	全額
		昭和54年	道路工専用機械	全額
		昭和58年	域内道路補修工事、域内道路工専用機械	全額
		昭和58～63年	域内準幹線道路補修工事、域内準幹線道路補修工専用機械	全額
		平成元年	道路工専用機械	全額
		平成2～3年	水害対策	
		平成3～4年	域内幹線道路補修工事	全額
		平成4～8年	車輛・機械整備計画（6ヵ年計画）	全額
	平成5～8年	水害対策	全額	
	飲料水対策	昭和44～47年	打込井戸（190基）	全額
公民館建設		昭和54年	第1移住地1棟	2/3
		昭和57年	第2移住地1棟	2/3
		平成6年	第3移住地1棟	2/3

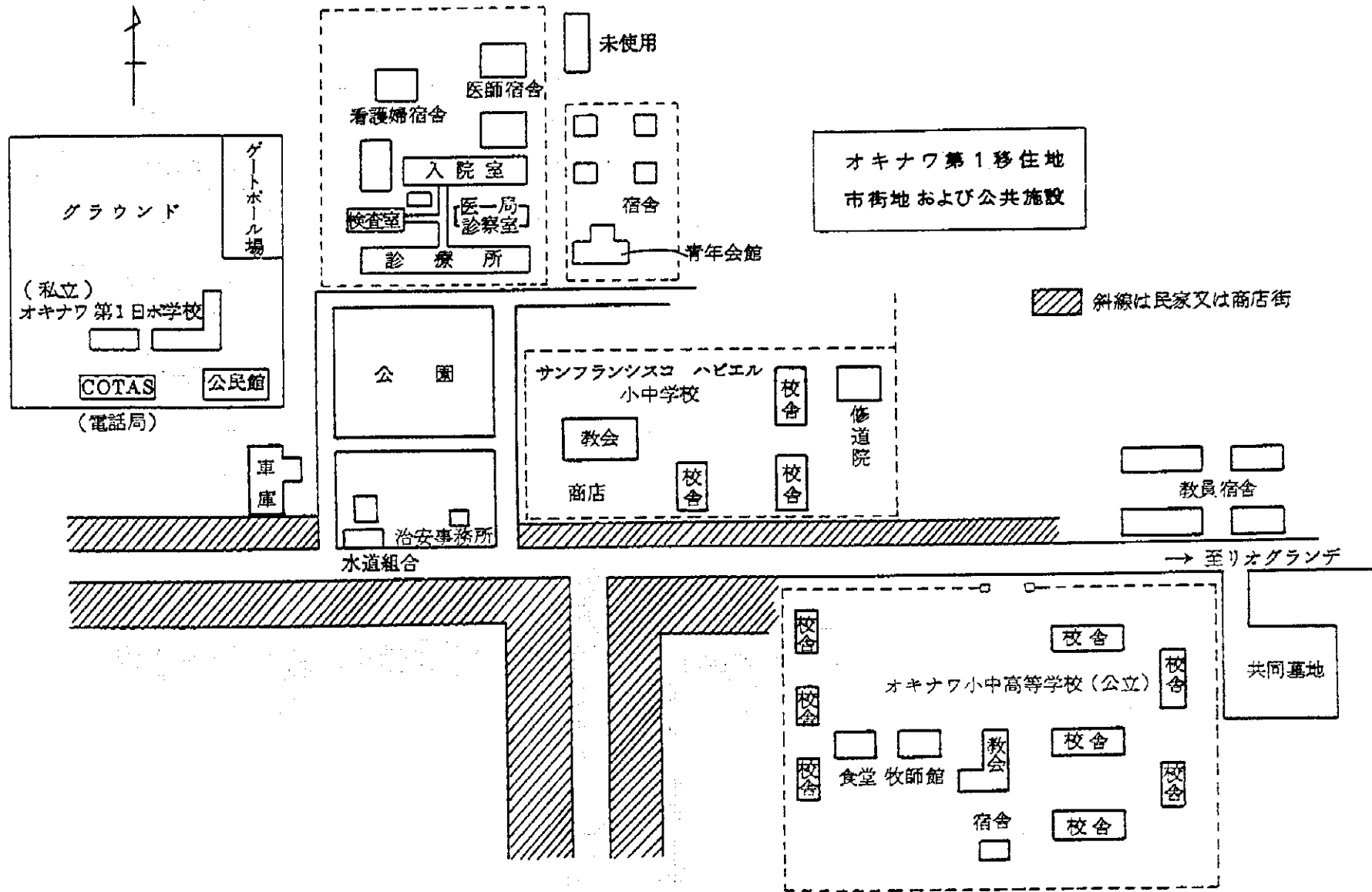
事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
生活環境整備	下水道等対策	昭和63～平成元年	下水道整備	2/3
	自治体牧場造成事業	昭和54年		
	治安対策	昭和42年	オートバイ3台	全額
		昭和45年	治安事務所(第3移住地)1棟	全額
		昭和47年	治安事務所(第2移住地)1棟、オートバイ(更新)3台	全額
		昭和49年	治安事務所(第1移住地)1棟	全額
		昭和51年	オートバイ(更新)2台	全額
		昭和52年	オートバイ(更新)1台	全額
		昭和55年	オートバイ(更新)1台	全額
昭和56年	オートバイ(更新)1台	全額		
昭和60年	オートバイ(更新)2台	全額		
医療衛生環境整備	診療施設・設備	昭和43年	救急車1台	全額
		昭和46～47年	水槽、機器	全額
		昭和49～50年	救急車(更新)1台、機器	全額
		昭和53年	救急車1台、機器	全額
		昭和55年	診療所改築、医師宿舎1棟、機器	全額
		昭和56年	看護婦宿舎1棟、機器	全額
		昭和57年	看護婦宿舎1棟、機器	全額
		昭和59年	医師宿舎増築、機器	全額
		昭和60年	救急車(更新)1台、機器	全額
		昭和61年	医師宿舎1棟	全額
		昭和62年	看護婦宿舎1棟	全額
		昭和63年	病棟増築	全額
		平成2～5年	診療所増改築、救急車(更新)1台、機器	全額
平成6～8年	救急車(更新)1台、機器	全額		

事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
	診療所運営助成	昭和42～平成8年	本邦・現地医師派遣、運営費・看護婦給与助成	全額
教育環境整備	移住地内教育施設・設備	昭和45年	教員宿舎（オキナワ第2移住地）1棟、小中学校校舎（オキナワ第1移住地）1棟	全額
		昭和46年	スクールバス（オキナワ第2移住地）1台	全額
		昭和47年	小中学校校舎（オキナワ第1移住地）1棟、スクールバス（オキナワ第1移住地）1台	全額
		昭和49年	小中学校校舎（オキナワ第2移住地）1棟、スクールバス（オキナワ第3移住地）1台	全額
		昭和50年	小中学校校舎（オキナワ第2移住地）1棟	全額
		昭和53年	教員宿舎（オキナワ第1移住地）1棟、教員宿舎（オキナワ第2移住地）1棟	全額
		昭和55年	教員宿舎（オキナワ第1移住地）1棟	全額
		昭和56年 昭和59年	教員宿舎（オキナワ第2移住地）1棟 教員宿舎（オキナワ第1移住地）1棟	全額 全額
		昭和63～平成元年	特別教室（オキナワ第2移住地）1棟、小学校増築（オキナワ第1移住地）	全額
開発青年、 日系社会青年 ボランティア （派遣年度）19名	農林水産（7名）	農業土木（昭和60年）、稲作、畜産（昭和61年、平成元年）、食肉加工（平成3年）、養豚（平成6年）、農業機械（平成8年）		
	医療衛生・福祉（3名）	看護婦（昭和60、63年、平成8年）		
	教育・文化・その他（9名）	日本語教師（平成3、4、7年〔2名〕）、団体事務（平成5、6、8年〔2名〕） コンピューター（平成7年）		
移住シニア専門家、 日系社会シニア ボランティア （派遣年度）4名	日本語教育（3名）	（平成5、6、7、8年）		
	医療衛生・福祉（1名）	（平成7年）		

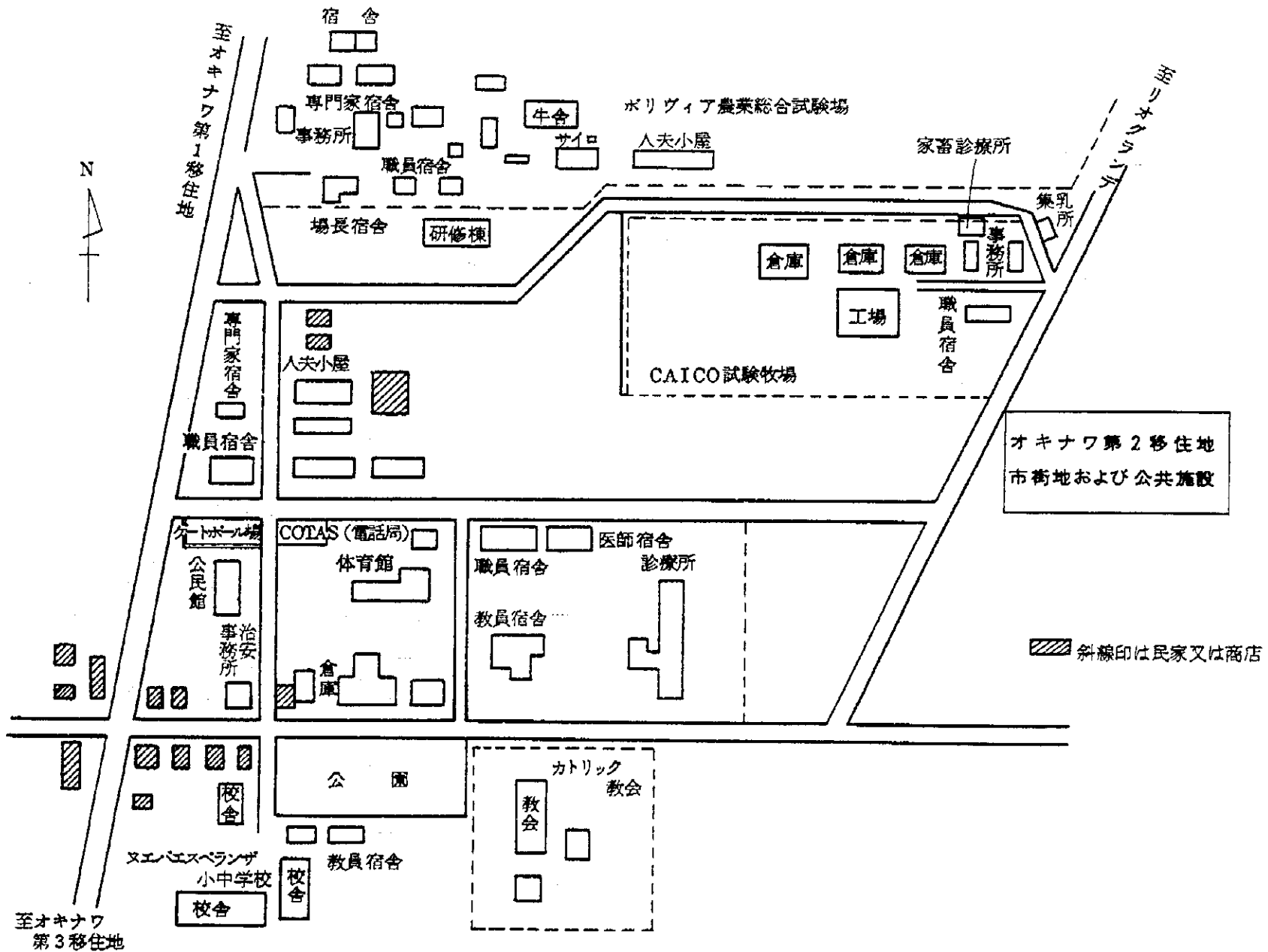
オキナワ移住地概略図

1 : 200.000










至オキナワ第2移住地

N



 斜線印は  
民家又は商店

オキナワ第3移住地  
市街地および公共施設



COTAS (電話局)

ゲートボール場

旧校舎

 宿舎

教会



集会所

 倉庫

CAICO  
支所



診療所建物



治安事務所

体育館



↓  
至メノニータ(経由)サンタクルス

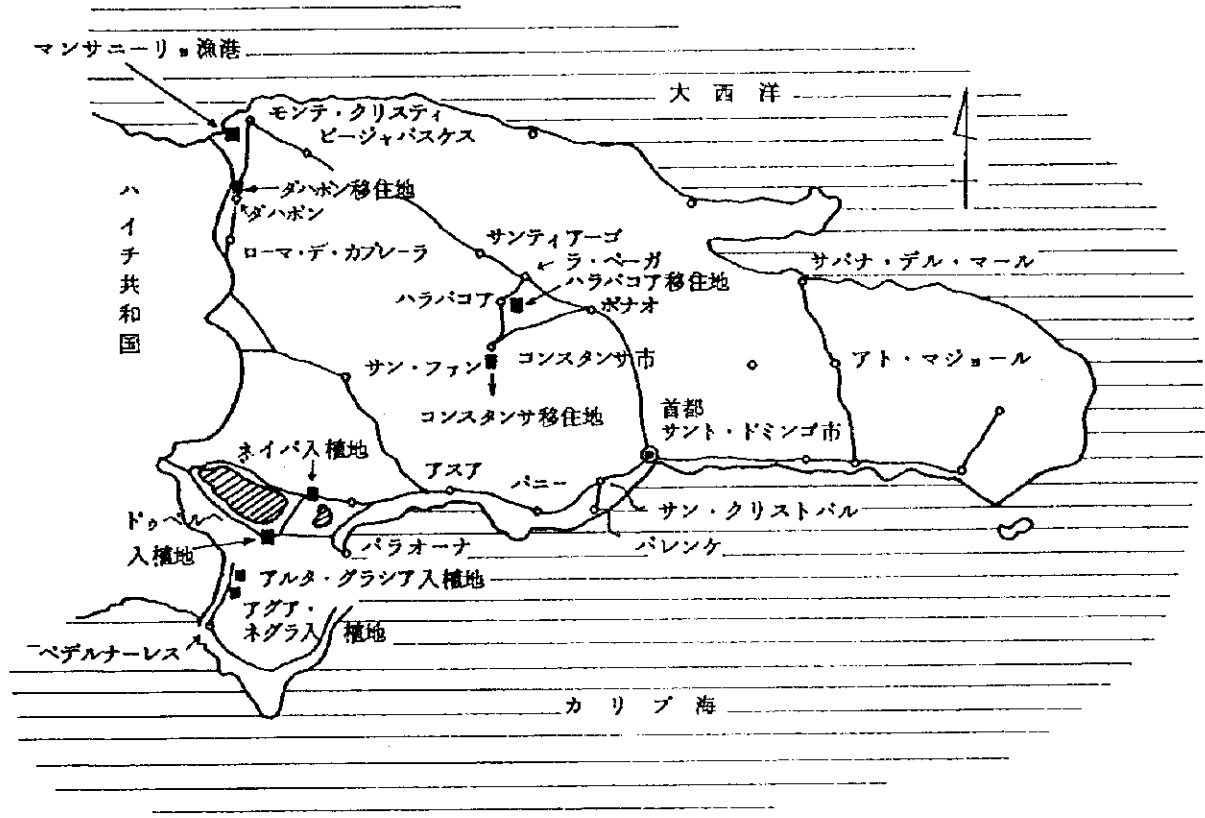
団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
サンファン日ボ協会 ASOCIACIÓN BOLIVIANO- JAPONESA SAN JUAN DE YAPACANI	会長 池田篤雄 1998年12月まで (2年間)	CASILLA DE CORREO NO- 464, SANTA CRUZ, BOLIVIA 0934-7055/7024 0934-7055 sanjuan@abjsan. scz. com	有 1977年8月1日 (役員)18名、(職員) 11名、(従業員)12名 (日語20名、診療所 22名)	事務所、倉庫、交流会 館、公民館、運動場、保 育館、バスケットコー ト、テニスコート、学校 施設、診療所施設、ガソ リンスタンド	日語校、青年部、婦人 部、敬老会、診療所、ガ ソリンスタンド、道路 工事班、防犯組織	成人式、グンスパー テイ(新年、カーニバ ル、クリスマス)、米祭 り、スポーツ交歓会 (学生・青年部)、独立 記念日、父の日、母の 日、サンファンの日、 サンタクルースの日、 入植記念日(西川区)、 サンファン祭(運動 会、盆おどり、農産物・ 手芸展示会)、孤児院 慰問、敬老会	機関紙： A・B・J通信 300部
サンファン農牧総合協同組合(CAISY) COOPERATIVA AGROPECUARIA INTEGRAL COLONIAS SAN JUAN DE YAPACANI	組合長 加藤重則 1999年6月まで (2年間)	CASILLA DE CORREO NO- 1098, SANTA CRUZ, BOLIVIA 0934-7006/7063/7044 0934-7115 なし	日系営農者(地区 内) 115名 有 1971年12月	事務所、サンタクルー ス事務所、ラパス支店、 飼料工場、精米所、ふ卵 場、直営農場、処理工 場、乾燥機、種子選別工 場	販売、購買、サイロ、 飼料工場、ふ卵場、種 子選別、農場、精米 所、修理工場、乾燥機	農産物展示会	機関紙： 組合だより 200部
サンファン学園 UNIDAD EDUCATIVA TÉCNICO- HUMANÍSTICA SAN JUAN DE YAPACANI	校長 Carlos Rios Martinez 1997年12月まで	CASILLA DE CORREO NO- 464, SANTA CRUZ, BOLIVIA 0934-7054, (幼) 0934-7068 0934-7055	国籍問わず 187名 有 1986年11月 20名(先生)	校舎、音楽室、工作室、 運動場、体育館、小ホー ル		入学(園)式、ひな祭 り、父の日、海の日、母 の日、子供の日、先生 の日、遠足、村内オリ ンピック、端午の節 句、スポーツ交歓会、 運動会、学生の日、作 品コンクール、音楽 祭、保育展示(作品) 祭、合同お話し大会	機関紙： 学園だより 200部

団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
オキナワ日ボ協会 ASOCIACIÓN BOLIVIANO- JAPONESA DE OKINAWA	会長 具志堅興貞 1998年2月まで(2 年間)	CASILLA 582, OKINAWA 1, SANTA CRUZ, BOLIVIA 0923-7020 0923-7029 abjok@em.daitec-bo.com	移住地に居住する家 族の戸主 223名 有 1981年2月 12名、5名	文化会館、重機修理工 場、診療所	日語校、青年部、婦人 部、敬老会、運動部、第 1、第2、第3各地域	自治活動、道路維持管 理、診療所運営、学校 教育・育英事業運営、 その他地域住民に必要 な便宜供与。年中行 事：運動会、敬老会、成 人式、駅伝、ソフト ボール、相撲大会、入 植祭(慰霊祭等)	
コロニア沖縄農牧総合協同組合 COOPERATIVA AGROPECUARIA INTEGRAL COLONIAS OKINAWA LTDA	組合長 山城 忠 1999年9月まで(2 年間)	CALLE ANTONIO VACA DIEZ NO. 255, SANTA CRUZ CAS. 828 (03)32-6410,(03)33-1374 (03)32-3733 iseki@em.daitec-bo.com	移住地内で農業を営 み50町歩以上の農 地を持つもの 150名 有 1971年8月 12名、151名	サイロ、搾油工場、飼料 工場、種子選別工場、種 子保管倉庫、農業機械 修理工場、家畜診療所、 直営農場、牛乳集積 施設、スーパーマー ケット	販売、購買、サイロ、飼 料工場、ガソリン・ポ スト		機関誌： CAIKO NEWS 250部
オキナワ第1日ボ学校 COLEGIO CENTRO BOLIVIANO- JAPONESA	運営委員長 中田喜正	CASILLA 582, OKINAWA 1, SANTA CRUZ, BOLIVIA 0923-7122 0923-7122 なし	無 1名、1名	校舎、校庭		運動会、駅伝大会、お 話し大会、母の日、父 の日、生徒の日、先生 の日他	
スエバ エスペランサ小中学校 COLEGIO NUEVA ESPERANZA	運営委員長 津嘉山修	CASILLA 321, OKINAWA 2, SANTA CRUZ 0923-4131 0923-4131 なし	無	校舎、校庭		運動会、駅伝大会、お 話し大会、母の日、父 の日、生徒の日、先生 の日他	

団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
サンタクルス州日ボ協会 ASOCIACIÓN BOLIVIANA JAPONESA DE SANTA CRUZ	会長 根間玄真 1998年12月まで	CASILLA CORREO Nº 2006 SANTA CRUZ 03-33-1452 03-33-1452 なし	州内日系人 約2,000名 有 1994年6月 9名、2名	学生寮 (JICA 貸与)	サンファン、オキナ ワ、サンタクルス日本 人団体	スポーツ交歓会、学生 寮関係	
ボリビア日系協会連合会 FEDERACIÓN NACIONAL DE ASOCIACIONES BOLIVIANO- JAPONESA	会長 根間玄真 1998年12月まで(3 年間)	CASILLA CORREO Nº 2006 SANTA CRUZ, BOLIVIA 03-33-1452 03-33-1452 なし	無 13名、2名		ラ・パス日本人会、サ ンファン日ボ協会、オ キナワ日ボ協会、サン タクルス中央日本人 会、サンタクルス州日 ボ協会、トリニダ日系 人会、リベラルタ日系 人会、ルレナバケ日系 人会	ボリビア日系人移住 100周年記念式典準備 委員会、ボリヴィア日 本語教育研究委員会	

# ドミニカ共和国







## 1. 移住先国別データ

### (1) 基礎指標

正式国名	ドミニカ共和国
首都	サント・ドミンゴ
面積	48,442km <sup>2</sup>
人口	7,820,000人 (95年国連)
独立年月日	1844年2月27日
政体	共和制
宗教	カトリック
言語	スペイン語
民族・人種構成	混血系(白人・黒人) 73%、白人系 16%、黒人系 11%

### (2) 経済指標

年 度	1993	1994	1995
GNP (世銀・百万ドル)	8,039	10,109	N.A.
一人当たりGNP (世銀・ドル)	1,230	1,320	N.A.
GDP成長率 (国連・%)	2.2	4.3	4.7
インフレ率 (国連・%)	2.8	14.3	9.2
失業率 (国連・%)	20.1	20.7	N.A.
対外債務残高 (IMF・百万ドル)	4,833	4,293	N.A.
経常収支 (IMF・百万ドル)	▲447	▲68	▲125
通貨・交換レート (IMF・ペソ)	12.767	13.064	13.465
輸出 (IMF・百万ドル)	551	743	911
輸入 (IMF・百万ドル)	3,714	3,441	3,850
商品別貿易実績 (94年中銀・百万ドル)	(輸出) フェロニッケル 183、砂糖 関連 145、コーヒー 63、カカオ 22、 金銀合金 19 (輸入) 石油関連品 521、小麦粉 35、食料品 5		

(出典：1997年度版中南米諸国便覧(外務省中南米局監修) p. 82～p. 83. 社団法人ラテンアメリカ協会)

## 2. ドミニカ共和国への日本人移住の歴史

外国人移住の発端は、当時政権の座にあったトルヒーリョ大統領がドミニカ国の経済の主軸である農業の開発計画の遂行・促進の見地から単に労働力の供給源としてのみならず、国内農民に対する刺激剤として、また農業知識、技術の向上、生活水準の引上げを目的として外国人移住を積極的に推進したもので、この企画のもとに計画移住者として導入されたものは、スペイン人、ユダヤ人、ポルトガル人、ハンガリア人及び日本人である。

日本人移住は、親日家であるトルヒーリョ大統領の発意により、ド国農務大臣から吉田公使宛書簡をもって日本人受入れに関する条件(主たるものは、農耕地、住宅、家具、種子の提供、生活補助金の支給及び携行機械の免税措置等)の提示があり、当時としてはブラジル、パラグアイ等他国の受入条件より極めて好条件であったことから、日本側はこれを歓迎し、1956年7月から1959年の9月までの3ヵ年間に13回にわたり、8入植地に249家族1,319名の農業移住者が入植した。そのうち5家族32名が漁業移住者である。

しかし、ド国の国営入植地の多くのもが降雨量の少ない西南及び西北のハイチとの国境に設定されているため、ド国政府は灌漑施設に巨費を投じて農業用水の確保を図ったが、水量不足の上、配分された耕地内に礫が多く、かつ国内の市場も遠く、また、入植時約束された土地も上限面積の配分を受けられなかった。このため換地を希望する者が続出し、1959年5月までに、およそ50家族300名が転住したが、必ずしも満足すべき転住先ではなかった。

このような時期にトルヒーリョ大統領の指示があったのではないかと云われているヴェネズエラ大統領暗殺未遂事件が発生し、1960年6月ド国政府は米州機構20ヵ国による外交断絶、経済封鎖等の制裁を受け、さらに翌1961年5月には権力者であったトルヒーリョ大統領が暗殺されて極度の政情不安、経済、治安が悪化し、日本人移住者に対する迫害等が発生して移住者は動揺を來たし、母国への帰国、南米への転住希望の陳情が激しくなった。

これに対して日本政府も内外に与える影響を考慮して、集団帰国と南米転住のあっせんを行い、また残留を希望する者に対し、営農資金の融資を実施して事態の収拾を図った。これにより帰国した者133家族611名、南米への転住70家族376名、ド国残留者約45家族230名となった。

その後、若手軍人グループによる反乱があり、一時内戦状態となったが、OAS軍の駐留、停戦協定、暫定政府の樹立を経て、1966年にはバラゲル政権が誕生、政情も安定化に向かい、移住者も混乱期から脱出して現在に至っている。

現在、移住者・日系人総数は約200世帯800名であり、約40%がサント・ドミンゴ首都圏に居住しており、職業別では、農業、自営業が多い。

## ドミニカ共和国在留邦人及び日系人数統計

総数 (1+2)			1. 長期滞在者			2. 永住者			3. 日系人推定数 (注1)		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
329	304	633	83	81	164	246	223	469			800

出典：平成9年版海外在留邦人数調査統計（平成8年10月1日現在）

(注1) 日系人推定数は永住者+2世以降の日系人で、各種統計等より推定。(平成10年1月、外務省領事移住部)

# ダハボン移住地

所在地	ダハボン県ラ・ビヒア Colonia La Vigia, Dajabon	
面積	全移住地面積 1,200ha. 1区画平均 3ha.	
沿革	国境地帯開発のため創設された国営移住地で、1956年（昭和31年）7月29日、28戸185名の日本人移住者が初めて入植した。しかし、募集要項どおりの土地配分がなされなかったこと、灌漑水の絶対量が不足したこと、さらに動乱等により転出者が続出し、かつては日本人移住地として、最盛期には58戸入植したが、現在は5戸が定住して、他はダハボン市に居住している。	
自然環境	地形	一部小丘を除き概ね平坦であるが、南から北へわずかな傾斜をなしている。
	地質・土壌	酸性暗色の埴壤土または埴土であるが、河沿い低地帯は肥沃である。
	植生・林相	河川沿いに乾燥地帯特有の灌木林があるが、他は耕作地である。
	気候	最高平均気温（8月頃）28.4℃、最低平均気温（1月頃）22℃、夏期は相対的に暑い、夜は比較的涼しく凌ぎやすい。平均年間降雨量1,200～1,300mm、1月～3月は乾期で、降雨量は極端に少ない。
社会環境	最寄都市（1） （該当するもの■）	名称：ダハボン市 距離：5km（うち未舗装0km） 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：15分 人口：約2.5万人
	最寄都市（2） （該当するもの■）	名称：サンティアゴ市 距離：150km（うち未舗装0km） 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：2時間30分 人口：約49万人
	大都市 （該当するもの■）	名称：サント・ドミンゴ市 距離：305km（うち未舗装0km） 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：4時間30分 人口：約131万人
境	行政インフラ	役所（ダハボン市） 公証人役場（ ） 警察（ダハボン市） 交通警察（ダハボン市） 郵便局（ダハボン市） 電話局（ダハボン市）
	社会インフラ （該当するもの■）	【公共施設】 ■公民館 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> その他（ ）

社 会 環 境	社会インフラ (該当するもの■)	<p><b>【教育】</b>  <input type="checkbox"/>保育園 <input type="checkbox"/>幼稚園 <input type="checkbox"/>小 <input type="checkbox"/>中 <input type="checkbox"/>高 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p><b>【日語校】</b>  教師数1人、生徒数8人、教室 (<input type="checkbox"/>専用 ■共用 <input type="checkbox"/>個人宅)  教室数1室、学級 (<input type="checkbox"/>単式 ■複式)</p> <p><b>【保健・医療】</b>  ■保健所 <input type="checkbox"/>診療所 <input type="checkbox"/>病院 <input type="checkbox"/>薬局 <input type="checkbox"/>検査所  ・医師：<input type="checkbox"/>常勤 ■非常勤  ・看護婦：<input type="checkbox"/>常勤 ■非常勤  ・その他 ( )</p> <p><b>【警察】</b>  <input type="checkbox"/>派出所 <input type="checkbox"/>定期巡回 <input type="checkbox"/>不定期 ■その都度</p>
	産業インフラ (該当するもの■)	<p><b>【農業用水】</b>  ■公営灌漑用水 <input type="checkbox"/>域内灌漑用水 <input type="checkbox"/>河川水 ■地下水 <input type="checkbox"/>溜池 <input type="checkbox"/>天水</p>
	生活インフラ (該当するもの■)	<p><b>【移住地内幹線道路】</b>  ■舗装 <input type="checkbox"/>一部舗装 <input type="checkbox"/>砂利舗装 ■盛土道路 <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p><b>【電気】</b>  ■全戸電化 <input type="checkbox"/>一部電化 <input type="checkbox"/>自家発電 <input type="checkbox"/>なし</p> <p><b>【飲料水】</b>  ■水道 <input type="checkbox"/>井戸水 <input type="checkbox"/>雨水 <input type="checkbox"/>市販水  (水質：<input type="checkbox"/>飲用可 ■要煮沸 <input type="checkbox"/>飲用不可)</p> <p><b>【電話】</b>  <input type="checkbox"/>普通電話 <input type="checkbox"/>携帯電話 <input type="checkbox"/>公衆電話 ■なし</p>
入 植 者 状 況	入植者戸数	直接入植者戸数 8戸 (うち非居住者3戸) 現地入植者戸数 (日系人) 0戸 (うち非居住者0戸) (非日系人) 49戸 *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者
	日系人入植者	農業専業 3戸 農業兼業：(加工業) 3戸、(商業) 2戸
農 業 現 況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)
	雑穀	稲 (水稲、陸稲) 26.3ha
	果樹	ブドウ 13ha
	畜産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 養豚150頭、肉牛60頭

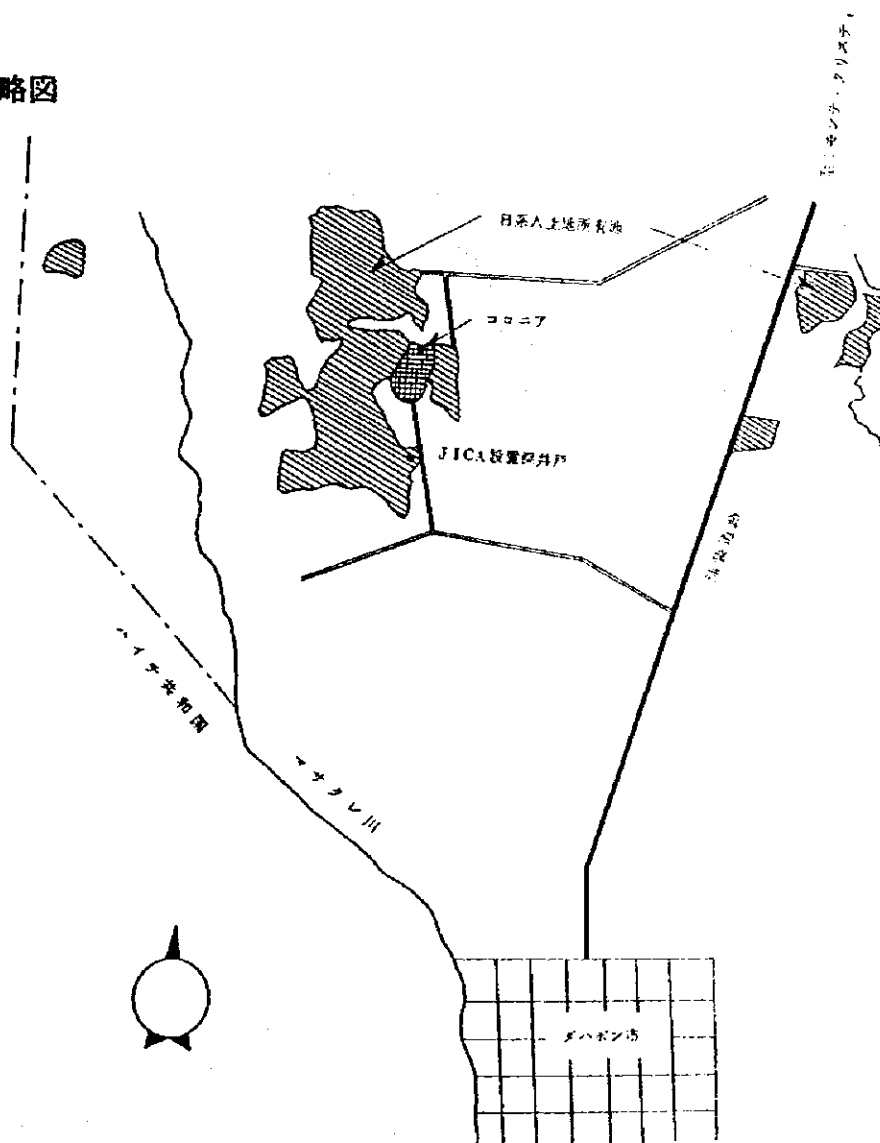
その他の	主生産物販売 取扱機関	加工業者、生産農家自身（小売）
	金融機関	事業団

### ダハボン移住地向け事業団支援事業

事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
農業基盤整備	営農改善特別対策事業	昭和48年	深井戸	全額
生活環境整備	公民館建設	平成4年		2/3

この他に、移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。

#### 移住地略図



# コンスタンサ移住地

所在地	ラ・ベール県コンスタンサ Colonia Japonesa Constanza, La Vega	
面積	全移住地面積900ha. 1区画平均3ha. 前後	
沿革	1956年初めて日本人移住者35家族220名が入植したが、それ以前には、スペインからの移住者も入植している。当地は蔬菜を充足するため設定した蔬菜園芸移住地で、最初の土地配分が狭小のため転住者を募って土地を確保し、土地問題は解決したが、ハラバコア移住地が蔬菜を作ることによって生産過剰となり、また連作による地力消耗ならびに投機的作付によって行き詰まり、トルヒーリョ將軍暗殺後、帰国ならびに南米転住者が続出した。現在の入植戸数は12戸となっている。	
自然環境	地形	この国の中央山脈内のコンスタンサ盆地にあり、標高1,300mの高原地帯である。
	地質・土壌	土壌は黒色または黒褐色の粘土で酸性である。
	植生・林相	周辺の山々の樹木は松が一般に多いが乱伐が激しく、減少の一途をたどっている。山以外は耕地である。
	気候	年間平均20℃前後で風光明媚の景勝の地である。 最高平均気温25.8℃、最低平均気温10.9℃、年平均18.3℃。 雨期5月～10月、乾期11月～4月、年間平均降雨量1,060mm。
社会環境	最寄都市(1) (該当するもの■)	名称：コンスタンサ市 距離：2km (うち未舗装0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：20分 人口：約5.3万人
	最寄都市(2) (該当するもの■)	名称：サンティアゴ市 距離：70km (うち未舗装0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 定期バス ■不定期バス 所要時間：1時間30分 人口：約49万人
	大都市 (該当するもの■)	名称：サント・ドミンゴ市 距離：150km (うち未舗装0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 定期バス ■不定期バス 所要時間：3時間 分 人口：約131万人
	行政インフラ	役所 (コンスタンサ市)      公証人役場 (                      ) 警察 (コンスタンサ市)      交通警察 (コンスタンサ市) 郵便局 (コンスタンサ市)      電話局 (コンスタンサ市)

社 会 環 境	社会インフラ (該当するもの■)	<p>[公共施設]  <input checked="" type="checkbox"/>公民館 <input type="checkbox"/>体育館 <input type="checkbox"/>運動場 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[教育]  <input type="checkbox"/>保育園 <input type="checkbox"/>幼稚園 <input type="checkbox"/>小 <input type="checkbox"/>中 <input type="checkbox"/>高 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[日語校]            教師数 1 人、生徒数 18 人、教室 (<input type="checkbox"/>専用 <input checked="" type="checkbox"/>共用 <input type="checkbox"/>個人宅)            教室数 2 室、学級 (<input type="checkbox"/>単式 <input checked="" type="checkbox"/>複式)</p> <p>[保健・医療]  <input type="checkbox"/>保健所 <input type="checkbox"/>診療所 <input type="checkbox"/>病院 <input type="checkbox"/>薬局 <input type="checkbox"/>検査所            ・医師：<input type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤            ・看護婦：<input type="checkbox"/>常勤 <input type="checkbox"/>非常勤            ・その他 ( )</p> <p>[警察]  <input type="checkbox"/>派出所 <input type="checkbox"/>定期巡回 <input type="checkbox"/>不定期 <input type="checkbox"/>その都度</p>
	産業インフラ (該当するもの■)	<p>[農業用水]  <input checked="" type="checkbox"/>公営灌漑用水 <input type="checkbox"/>域内灌漑用水 <input type="checkbox"/>河川水 <input checked="" type="checkbox"/>地下水 <input checked="" type="checkbox"/>溜池 <input type="checkbox"/>天水</p>
	生活インフラ (該当するもの■)	<p>[移住地内幹線道路]  <input type="checkbox"/>舗装 <input type="checkbox"/>一部舗装 <input type="checkbox"/>砂利舗装 <input checked="" type="checkbox"/>盛土道路 <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[電気]  <input checked="" type="checkbox"/>全戸電化 <input type="checkbox"/>一部電化 <input type="checkbox"/>自家発電 <input type="checkbox"/>なし</p> <p>[飲料水]  <input checked="" type="checkbox"/>水道 <input type="checkbox"/>井戸水 <input type="checkbox"/>雨水 <input type="checkbox"/>市販水            (水質：<input type="checkbox"/>飲用可 <input checked="" type="checkbox"/>要煮沸 <input type="checkbox"/>飲用不可)</p> <p>[電話]  <input checked="" type="checkbox"/>普通電話 <input type="checkbox"/>携帯電話 <input type="checkbox"/>公衆電話 <input type="checkbox"/>なし</p>
入 植 者 状 況	入植者戸数	<p>直接入植者戸数 8 戸 (うち非居住者 2 戸)            現地入植者戸数 (日系人) 17 戸 (うち非居住者 14 戸)            (非日系人) 21 戸            *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者</p>
	日系人入植者	<p>農業専業：15 戸            農業兼業：(商業) 5 戸、(被雇用者) 1 戸、歯科医他 3 戸、商業：1 戸</p>
農 業 現 況	主たる農業	1 戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)
	果 樹	ブドウ 0.3ha、柿 2.0ha、杏/スモモ 3.0ha
	工芸作物	コーヒー 5.0ha



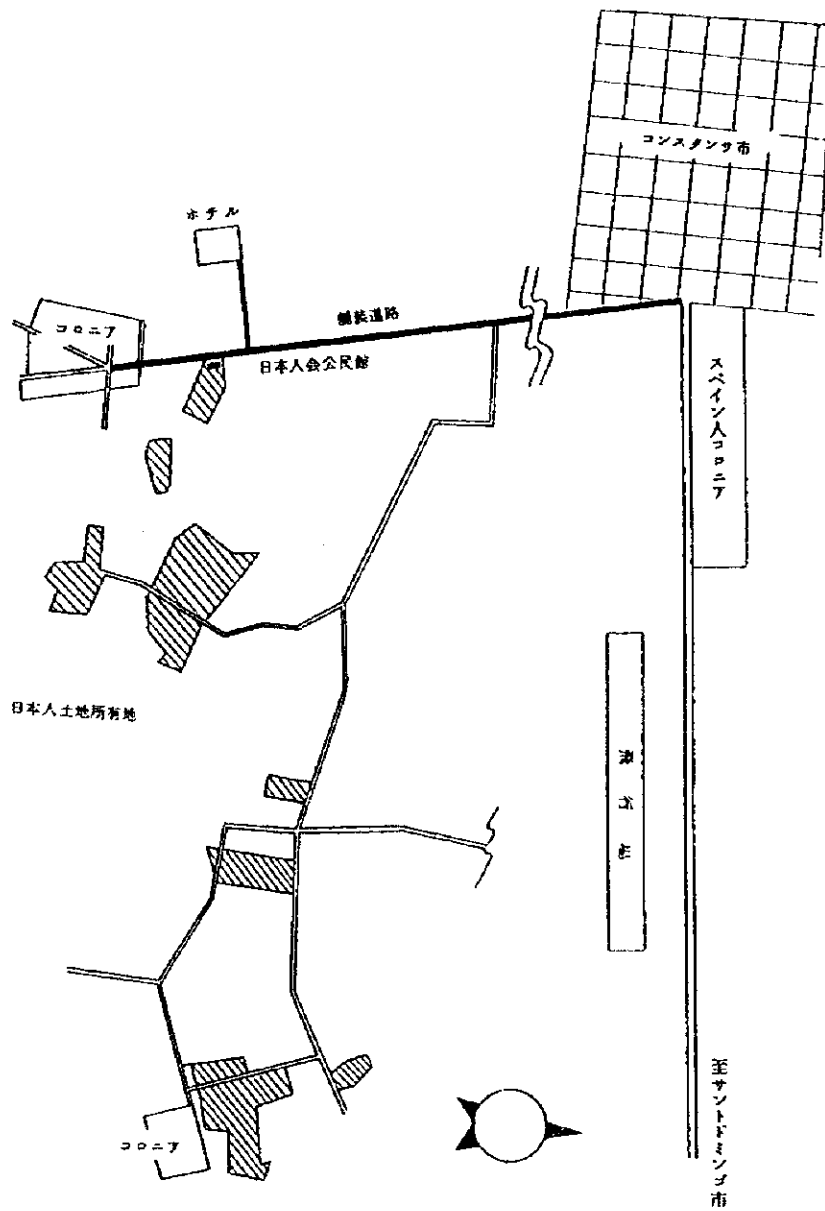
農業現況	蔬 菜	ニンジン2.4ha、ニンニク3.0ha、馬鈴薯2.5ha、玉ネギ、ブロッコリ他1.3ha
	畜 産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 肉牛3.0頭
その他	主生産物販売 取扱機関	
	金 融 機 関	事業団

### コンスタンサ移住地向け事業団支援事業

事業名	項 目	事業年度	事業内容	助成率
生活環境整備	公民館建設	昭和56年		2/3
開発青年、 日系社会青年 ボランティア (派遣年度)1名	農林水産 (0名) 医療衛生・福祉 (0名) 教育・文化・その他 (1名)	日本語教師 (平成7年)		

この他に、移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。

移住地略図



## ハラバコア移住地

所在地	ラ・ベール県 Colonia Japonesa Jarabacoa, La Vega	
面積	全移住地面積 470ha. 1区画平均 5ha.	
沿革	中央山脈内のハラバコア盆地に位置し、気候に恵まれ交通の便もよい。1957年コンスタンサ移住地より転住者13戸により入植が始まった。野菜指定移住地でトマト、ナスを主作とし、気候が良い理由で転入者は多く一時は86家族までとなったが、市場の伸び悩みと用水路の完成によって水稲が栽培されるようになった。 ここでも過剰入植と動乱から転出者が続出、現在は8戸となっている。	
自然環境	地形	セントラル山脈内の標高600～700mの谷間の台地で傾斜が多い。
	地質・土壌	表土40～50cmで黒褐色の壤土または埴壌土で酸性。 石灰岩質の礫が含まれている所もある。
	植生・林相	本地区周辺は、樹高20m以上の木からなる森林地帯であり、ヤシ類が多い。
	気候	雨期5～10月、乾期11～4月、年間平均降雨量1,456mmで年間平均しているが、特に5月が最も多い。 最高平均気温29.3℃、最低平均気温16.3℃、年平均22.8℃。
社会環境	最寄都市(1) (該当するもの■)	名称：ハラバコア市 距離：0.5km (うち未舗装0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：5分 人口：約4.8万人
	最寄都市(2) (該当するもの■)	名称：ラ・ベール市 距離：29km (うち未舗装0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 定期バス ■不定期バス 所要時間：30分 人口：約19.5万人
	大都市 (該当するもの■)	名称：サント・ドミンゴ市 距離：155km (うち未舗装0km) 交通手段： <input type="checkbox"/> 鉄道■定期バス <input type="checkbox"/> 不定期バス 所要時間：2時間 人口：約156万人
	行政インフラ	役所 (ハラバコア市) 公証人役場 ( ) 警察 (ハラバコア市) 交通警察 (ハラバコア市) 郵便局 (ハラバコア市) 電話局 (ハラバコア市)
	社会インフラ	[公共施設] <input type="checkbox"/> 公民館 <input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 運動場 <input type="checkbox"/> その他 ( )

社 会 環 境	社会インフラ (該当するもの■)	<p>[教育]</p> <input type="checkbox"/> 保育園 <input type="checkbox"/> 幼稚園 <input type="checkbox"/> 小 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <p>[日語校]</p> 教師数1人、生徒数 人、教室 ( <input type="checkbox"/> 専用 ■共用 <input type="checkbox"/> 個人宅) 教室数1室、学級 ( <input type="checkbox"/> 単式 ■複式) <p>[保健・医療]</p> <input type="checkbox"/> 保健所 <input type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 薬局 ■検査所 ・医師： <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 ・看護婦： <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 ・その他 ( ) <p>[警察]</p> <input type="checkbox"/> 派出所 ■定期巡回 <input type="checkbox"/> 不定期 <input type="checkbox"/> その都度
	産業インフラ (該当するもの■)	<p>[農業用水]</p> <input checked="" type="checkbox"/> 公営灌漑用水 <input type="checkbox"/> 域内灌漑用水 <input type="checkbox"/> 河川水 <input type="checkbox"/> 地下水 <input type="checkbox"/> 溜池 <input type="checkbox"/> 天水
	生活インフラ (該当するもの■)	<p>[移住地内幹線道路]</p> <input type="checkbox"/> 舗装 ■一部舗装 <input type="checkbox"/> 砂利舗装 <input type="checkbox"/> 盛土道路 <input type="checkbox"/> その他 ( ) <p>[電気]</p> <input checked="" type="checkbox"/> 全戸電化 <input type="checkbox"/> 一部電化 <input type="checkbox"/> 自家発電 [ ]なし <p>[飲料水]</p> <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 井戸水 <input type="checkbox"/> 雨水 <input type="checkbox"/> 市販水 (水質： [ ]飲用可 ■要煮沸 <input type="checkbox"/> 飲用不可) <p>[電話]</p> <input checked="" type="checkbox"/> 普通電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 公衆電話 <input type="checkbox"/> なし
入 植 者 状 況	入植者戸数	直接入植者戸数 2戸 (うち非居住者0戸) 現地入植者戸数 (日系人) 6戸 (うち非居住者2戸) (非日系人) 25戸 *非居住者とは、農地を所有するも移住地外に居住する者
	日系人入植者	農業専業： 3戸 農業兼業：(商業) 2戸、出稼ぎ、無職5戸、修理業：1戸
農 業 現 況	主たる農業	1戸当たり耕作平均面積 (単位：ha)
	雑穀	稲 (水稲、陸稲) 1.4ha、大豆0.4ha、アビチウエラ0.9ha
	蔬菜	キュウリ0.7ha、ナス、トウガラシ、他2.2ha
	畜産	1戸当たりの平均飼養成頭羽数 肉牛13頭、乳牛30頭

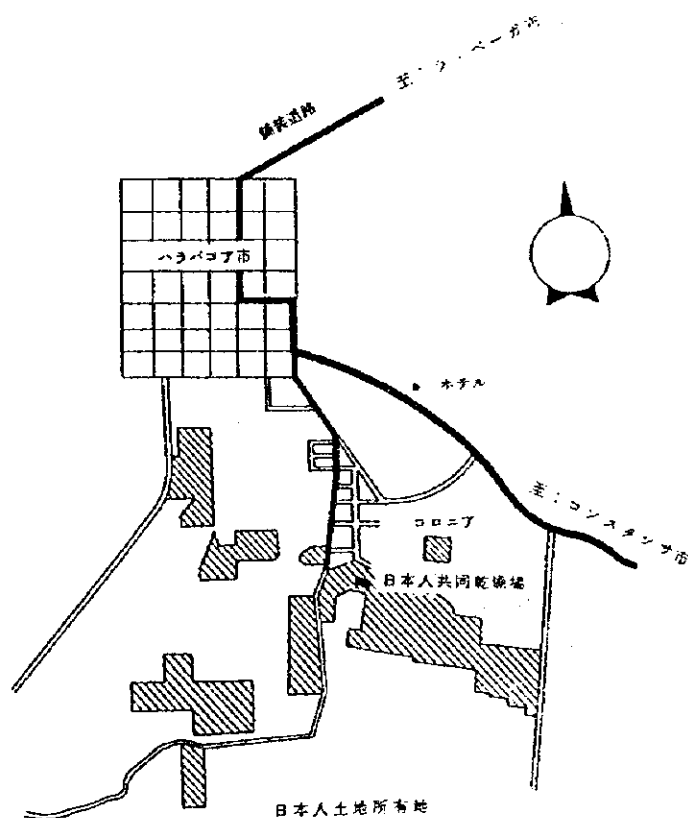
その他	主生産物販売 取扱機関	商社等仲買業者、生産農家自身（卸売市場）
	金融機関	事業団

### ハラバコア移住地向け事業団支援事業

事業名	項目	事業年度	事業内容	助成率
農業基盤整備	営農改善特別対策事業	昭和50年	生産振興必要設備装備 初共同乾燥場	1/2

この他に、移住者子弟・中堅移住者の本邦技術研修等の人材育成事業、営農普及・指導等の農業分野の支援事業、生活改善普及・指導等の生活環境整備事業、移住者子弟育英・日本語教師育成等の教育環境整備事業などにより支援を実施してきた。

### 移住地略図



団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容・ 年中行事	備考
ダハボン日本人会 ASOCIACIÓN JAPONESA DE DAJABON	会長 重留公夫 1997年12月まで (1年間)	COLONIA JAPONESA LA VIGIA DAJABON REP. DOMINICANA なし なし なし	12名 無 3名、0名	公民館			
コンスタンサ日本人会 ASOCIACIÓN JAPONESA DE CONSTANZA	会長 佐藤康勝 1998年3月まで(1 年間)	CALLE ANTONIO MA. GARCIA #56. CONSTANZA. LA VEGA. REP. DOMINICANA (809)539-2245 (809)539-2244 なし	25名 無 3名(役員)	公民館			
ハラバコア日本人会 ASOCIACIÓN JAPONESA DE JARABACOA	会長 日高武昭 1997年12月まで(1 年間)	COLONIA AGRÍCOLA JARABACOA, LA VEGA, REP. DOMINICANA (809) 574-6316 なし なし	9名 無 3名(役員)				
ドミニカ日系人協会 ASOCIACIÓN DE JAPONESES EN LA REPUBLICA DOMINICANA	会長 大瀬良 勲 1998年3月まで(1 年間)	CALLE FRANCISCO PRAT RANIRE#106. ENS. PIANTINI, SANTO DOMINNGO, R.D. (809) 596-4685 なし なし	会費を納入する移住 者及びその子弟 76名 有 1986年5月 9名(役員)	日本学習センター、学 生寮、慰霊碑	サント・ドミンゴ日本 人会、他3地区の日本 人会	親睦活動(スポーツ 等)、敬老会、その他	機関誌： 日本人誌(発行 80部)

団体名称：(和文) ：(欧文)	代表者： 職名 氏名 任期	連絡先(手紙)： 電話 FAX Eメール	会員の資格： 会員数 法人格取得(有無)： 年月(日) 専従：役員、職員	諸施設	傘下組織	活動内容- 年中行事	備考
ドミニカ日本人会 ASOCIACIÓN NACIONAL DE JAPONESES INC	会長 鎌釜 徹 1998年3月まで (1年間)	AV. WINSTON CHURCHILL #71, SANTO DOMINGO, REP. DOMINICANA (809)566-6436 なし なし	46名 有 1996年10月 13名(役員)				
ドミニカ共和国日本語学校運営委員 会 COMISION DE INICIATIVA DE LA ACADEMIA DE IDIOMA JAPONÉS	会長 笠原義昭 1998年3月まで(1 年間)	CALLE FRANCISCO PRAT RAMITES #106, ENS PLANTINI, SANT DOMINGO R. D. (809)541-5069 (809)541-5069 なし	75名 無 11名、1名	日本学習センター	ドミニカ全土に8校 の分校あり	ドミニカ全域の日系人 (197戸)の子弟を対象 に日本語教育を実施。 運動会、学習発表会、 教師合同研修ほか。	機関紙： 青いスケージュに 100部
ドミニカ日系人農業経営研究会 SOCIEDAD DOMINICO-JAPONESA DE ESTUDIOS AGROPECUARIOS INC	会長 宝代 巖 1998年3月まで (1年間)	CARRETERA DUARTE KM75, SONADOR BONAO MONSEÑOR NOUEL, REP. DOMINICANA (809)525-5712 なし なし	移住者子弟で会費を 納入する者 33名 無 10名(役員)			日系人の営農向上を目的とする農業技師受入れ、研修、その他	





JICA